

防災意識調査の結果と今後の取り組みの方向性について

< 目 次 >

(2-1)猪名川沿川住民の防災意識調査結果

(2-2)防災意識向上に向けた取組の方向性

(2-3)取組方針の具体化事例集(ソフト対策)

(2-4)取組方針の具体化事例集(タイムライン)

(2-1)猪名川沿川住民の防災意識調査結果

アンケート調査概要①

□ 今回の住民意識調査は、住民の防災意識レベル(フェイズ)がどの段階に到達しているかを判定する視点を踏まえた評価項目(質問)を設定し、5つのフェイズ区分の概念を軸に評価して、地域住民の防災意識の現状と特性を把握したうえで意識向上方策検討への反映を目的とする。

＜防災意識の評価(意識調査)の視点＞

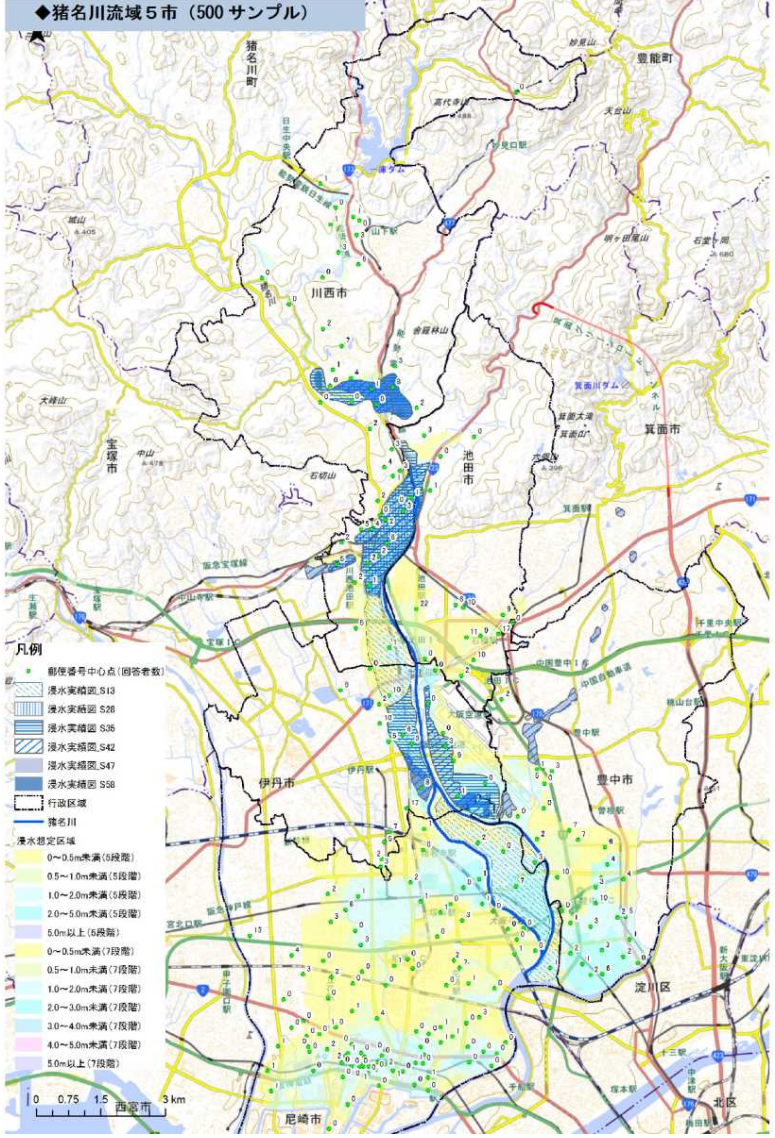


出典)住民の防災意識水準に応じた教育プログラム策定手法に関する研究

■防災意識のPhase区分

防災意識		評価(アンケート)の観点
災害リスクの認知度向上が必要	Phase1	■リスクの存在を知る必要がある
	Phase2	■リスクの存在に気付く必要がある
	Phase3	■リスクを深く理解する必要がある ・洪水発生可能性の認識・洪水リスク内容の理解
状況情報の活用力向上が必要	Phase4	■対処方法を理解する必要がある ・避難の事前計画・避難行動に関する防災情報 ・避難開始のタイミング・避難手段、避難準備時間
	Phase5	■対処行動を実行する必要がある

＜対象地域＞

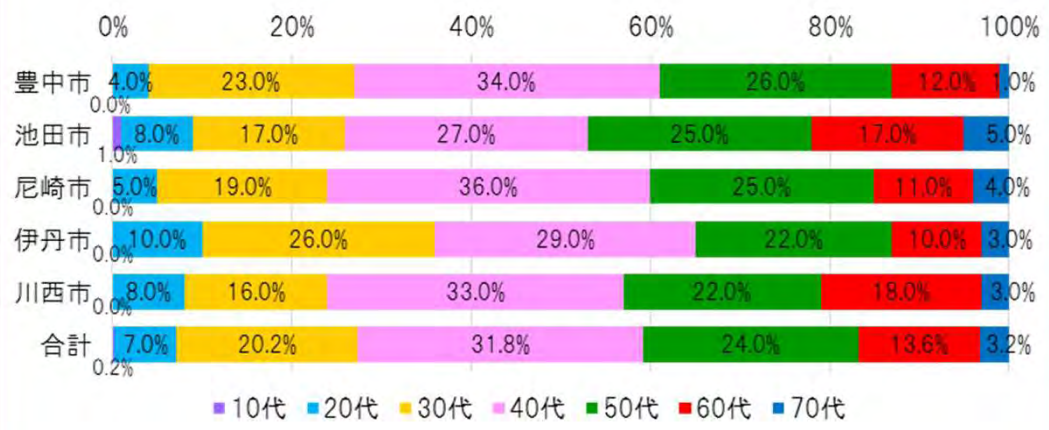


アンケート調査概要②

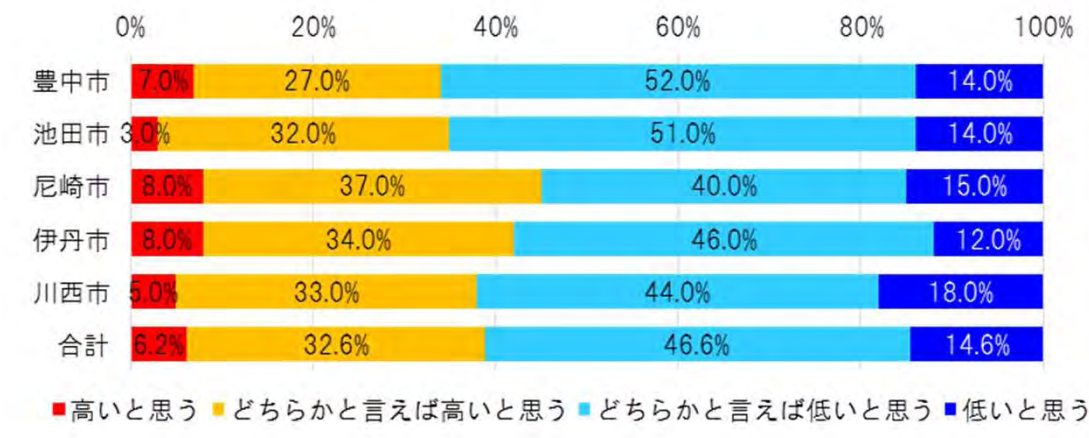
- 5市を対象にwebアンケート形式で実施し、各市で100サンプル回収。
- 回答者の年齢構成は、40代を中心に20～70代まで一定数確保。
- 「防災意識(自己評価)が高い人が多い」等の偏りは無く、防災に対して興味がない人からの回答も得られている。

項目	内容
対象市町	①大阪府豊中市、②大阪府池田市、③兵庫県尼崎市、④兵庫県伊丹市、⑤兵庫県川西市の5市
調査方法	・Webアンケート (防災に興味がない場合にも回答してもらえるため、リスクの存在に気づいていない住民の回答を得ることができる)
サンプル	500人(各市で100人を対象)信頼度95%
実施期間	平成28年12月16日～平成28年12月21日

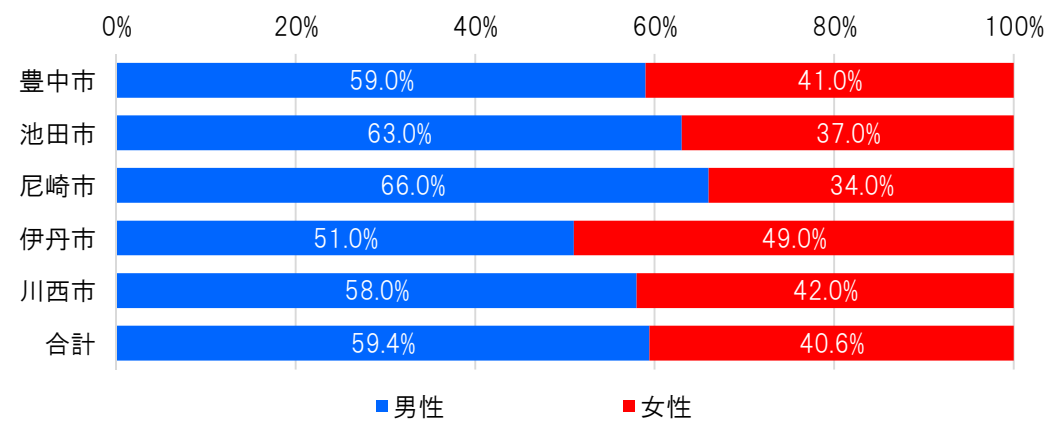
■年齢構成 40代を中心に20～70代まで一定数確保



■防災意識の自己評価



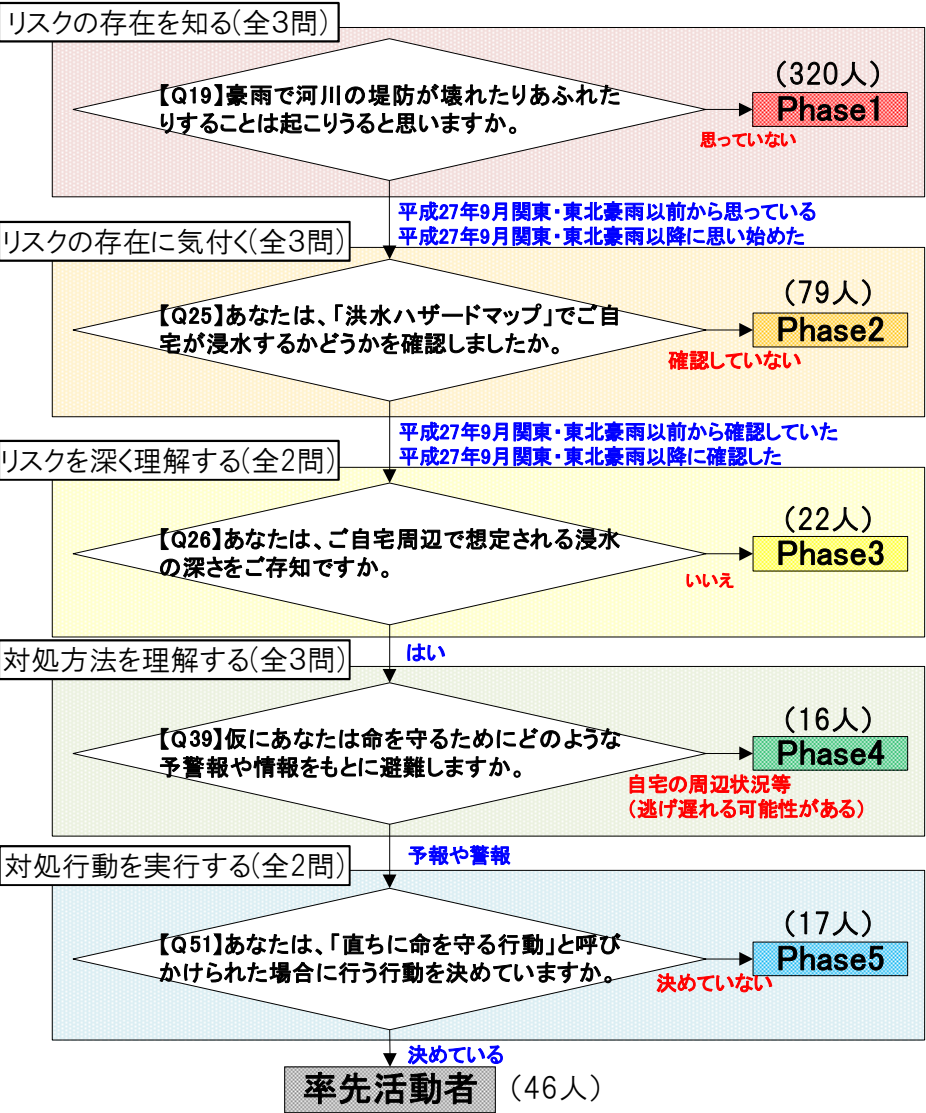
■男女構成比 男性:約59%・女性:約41%



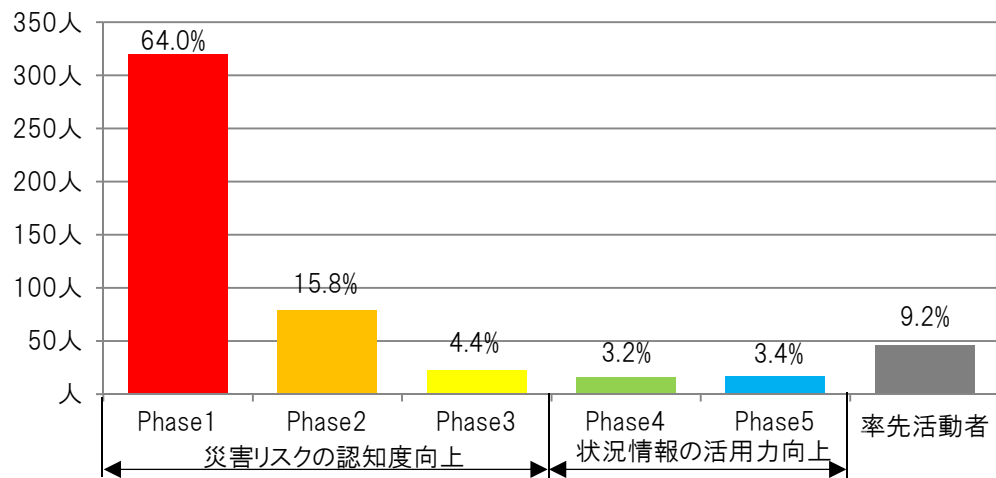
フェイズ分類による住民に関する現状把握

□住民(500人)のフェイズ分類の結果、Phase1に分類される住民が半数以上を占めるが、率先活動者に分類される住民も約10%存在していることが確認できた。

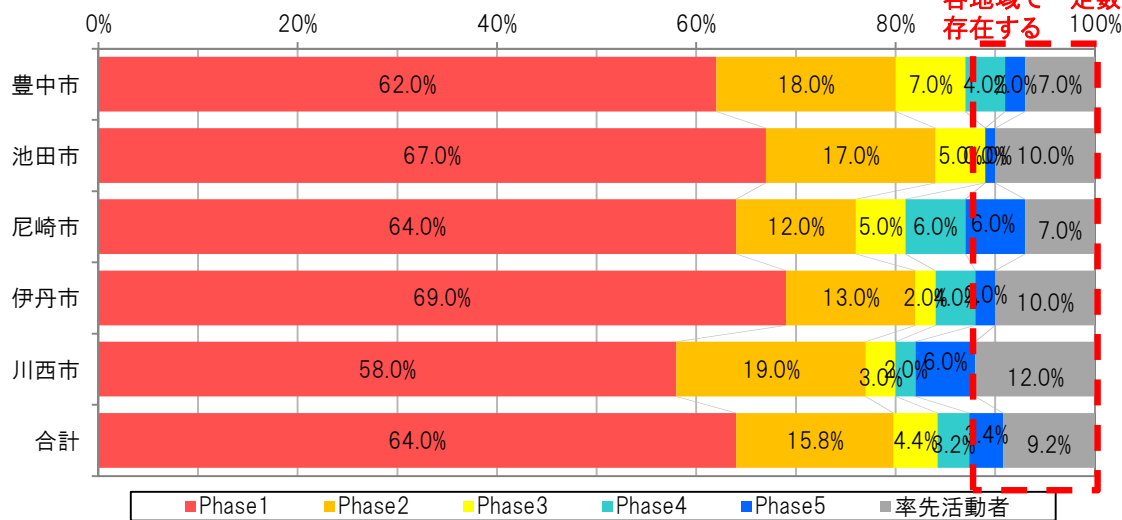
■質問例



■フェイズ分類結果(5市500人)



■フェイズ分類結果(市別各100人)



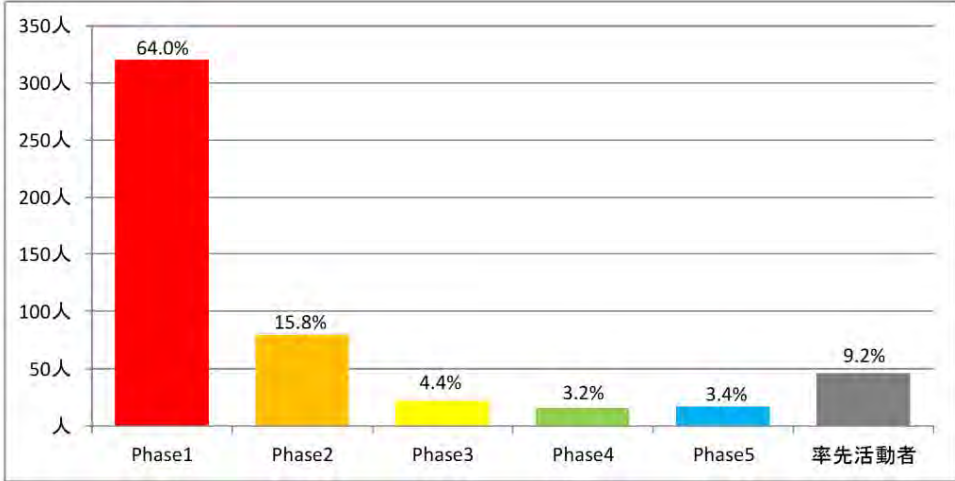
浸水リスク等によるフェイズ区分の差異

- 3ケースのアンケート(猪名川流域5市、浸水リスクの高低、要配慮者利用施設従事者)結果について、それぞれの防災意識の整理(Phase分類)を実施した。
- 浸水リスクが高い地域であってもリスクの認知度が低く、また、災害時に率先的に活動する必要がある要配慮者利用施設従事者であっても防災意識の低い人が多く、今後、要配慮者利用施設へのリスクの認知等の援助が必要であると考えられる。

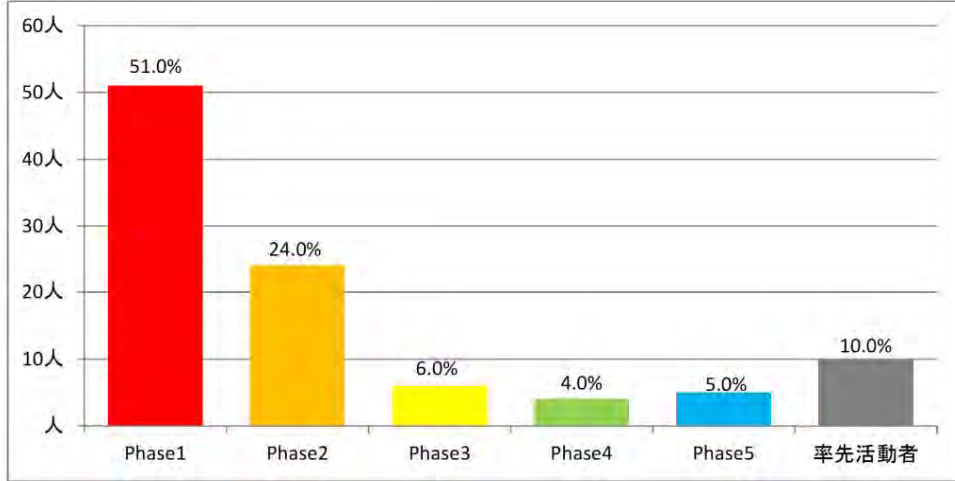
アンケートケース

分類	調査対象	サンプル回収数
①猪名川流域5市	池田市	100
	豊中市	100
	尼崎市	100
	伊丹市	100
	川西市	100
②浸水リスクの高低	浸水リスクが高い地区(想定浸水深2.0m～5.0m以上)	100
	浸水リスクが低い地区(想定浸水深0.0m～0.5m)	100
③要配慮者利用施設従事者	要配慮者利用施設従事者(病院、保育所、老人・介護福祉等)	100

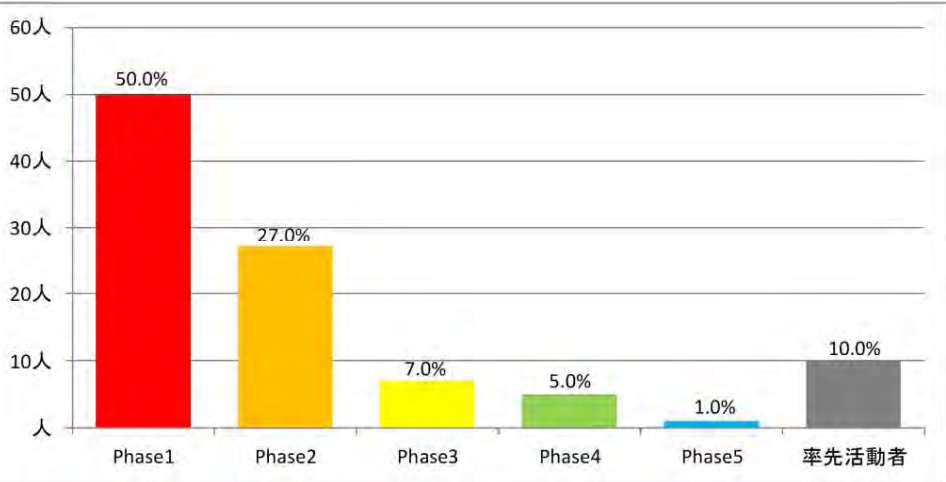
Phase分類(猪名川流域5市の住民500人)



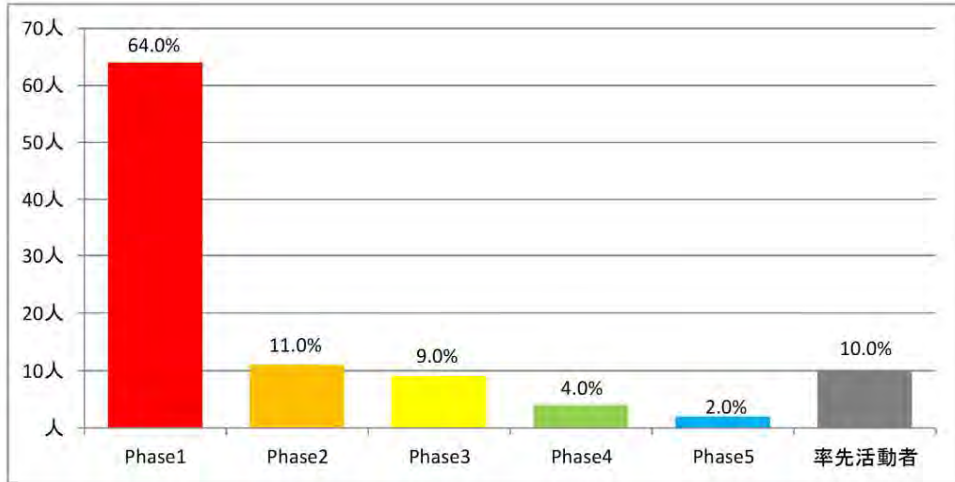
Phase分類(要配慮者利用施設従事者100人)



Phase分類(想定浸水深の小さい地域の住民100人)

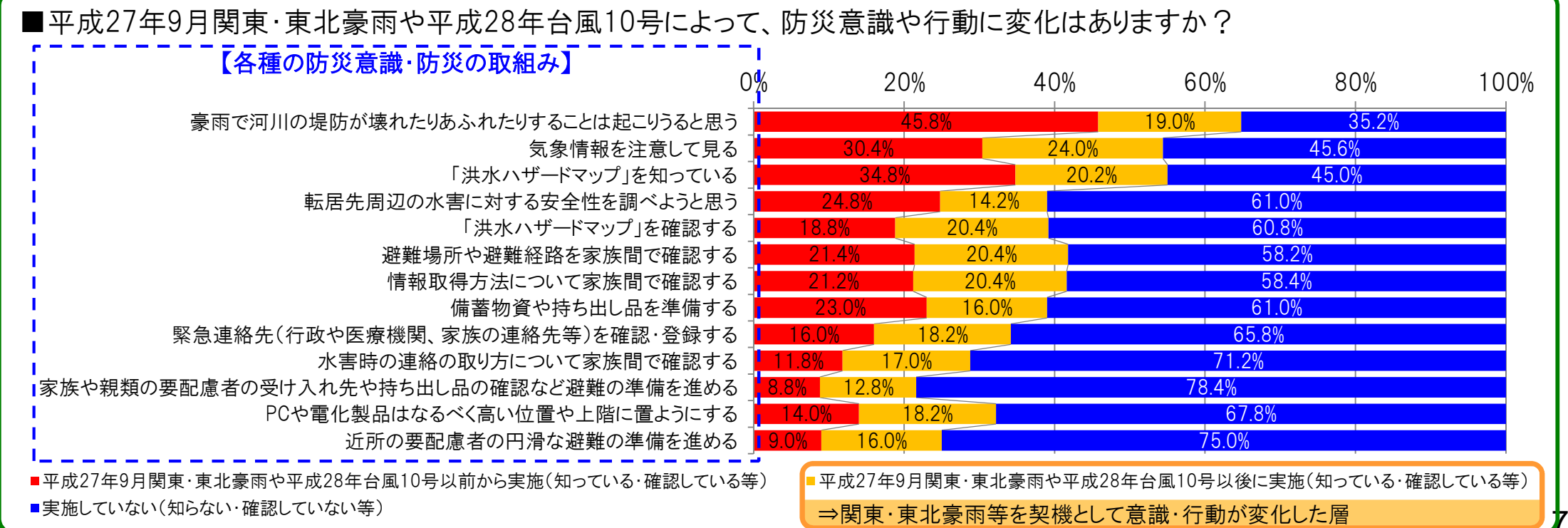
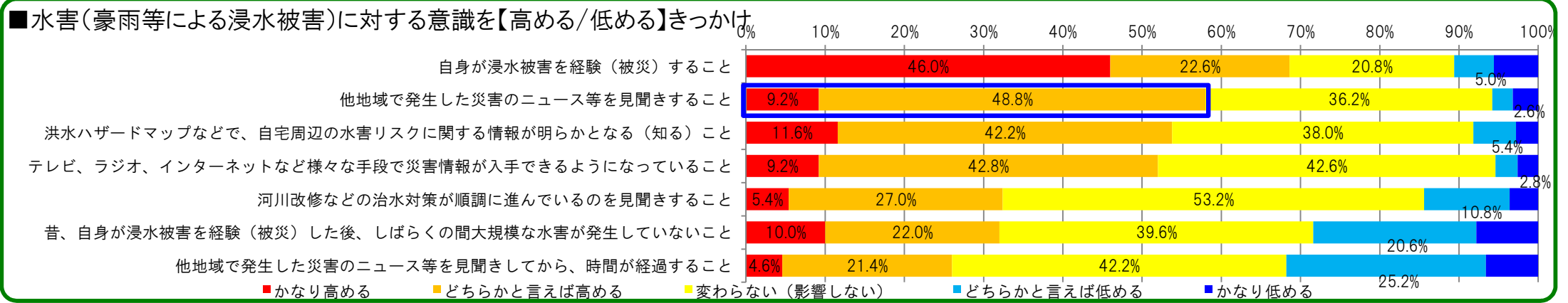


Phase分類(想定浸水深の大きい地域の住民100人)



平成27年9月関東・東北豪雨・平成28年台風10号を契機とした防災意識の変化

- 防災意識を高める要因として、「自身の被災経験(68.6%)」に次いで「他地域で発生した災害のニュース等を見聞きすること」が高い結果(58.0%)となっている。
- 平成27年9月関東・東北豪雨や平成28年台風10号により、防災意識や防災の取組みが変化(向上)した層が一定割合(20%程度)いる。
→ 実経験でなくとも、災害の被災状況を見知ることが防災意識・行動の向上に資する可能性がある。

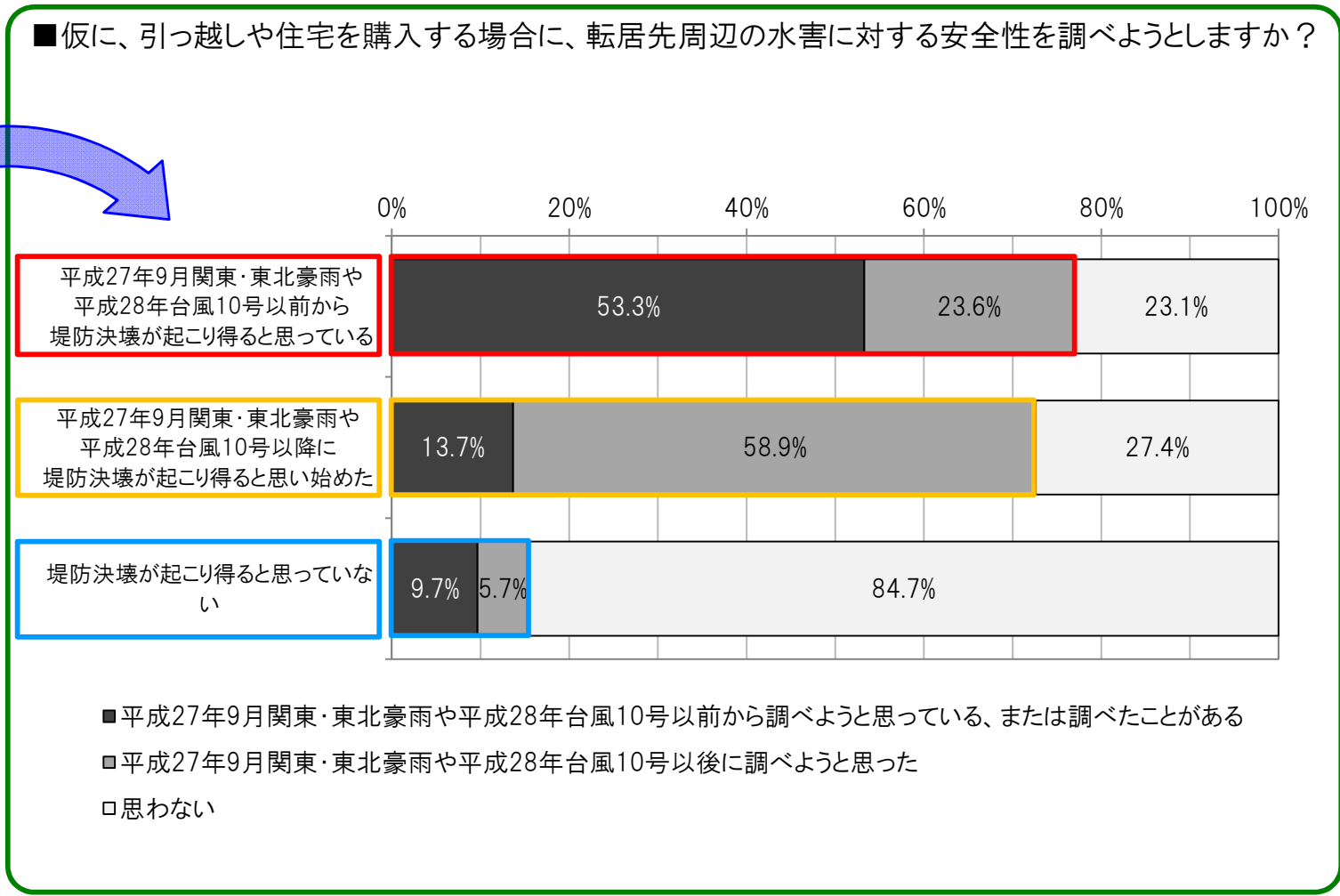
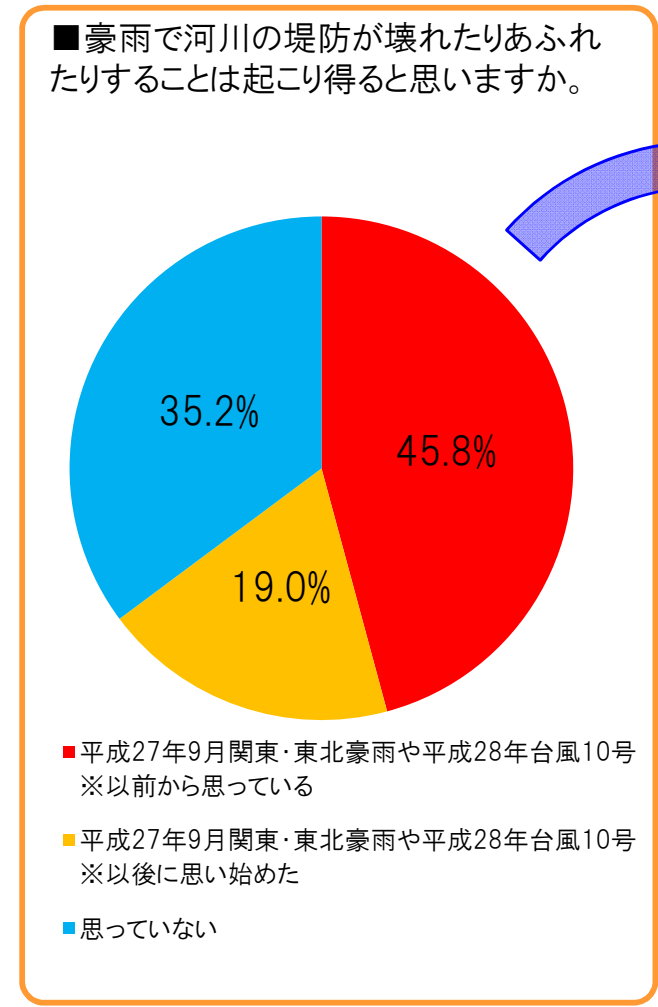


堤防決壊の可能性の認知と水害リスクへの関心

□引っ越しや住宅を購入する場合に、転居先の安全性(水害リスク)を調べる人の割合は、「堤防の決壊は起こり得る」と思っている人は80%程度に対して、「堤防の決壊は起こり得る」と思っていない人は15%程度に留まった。

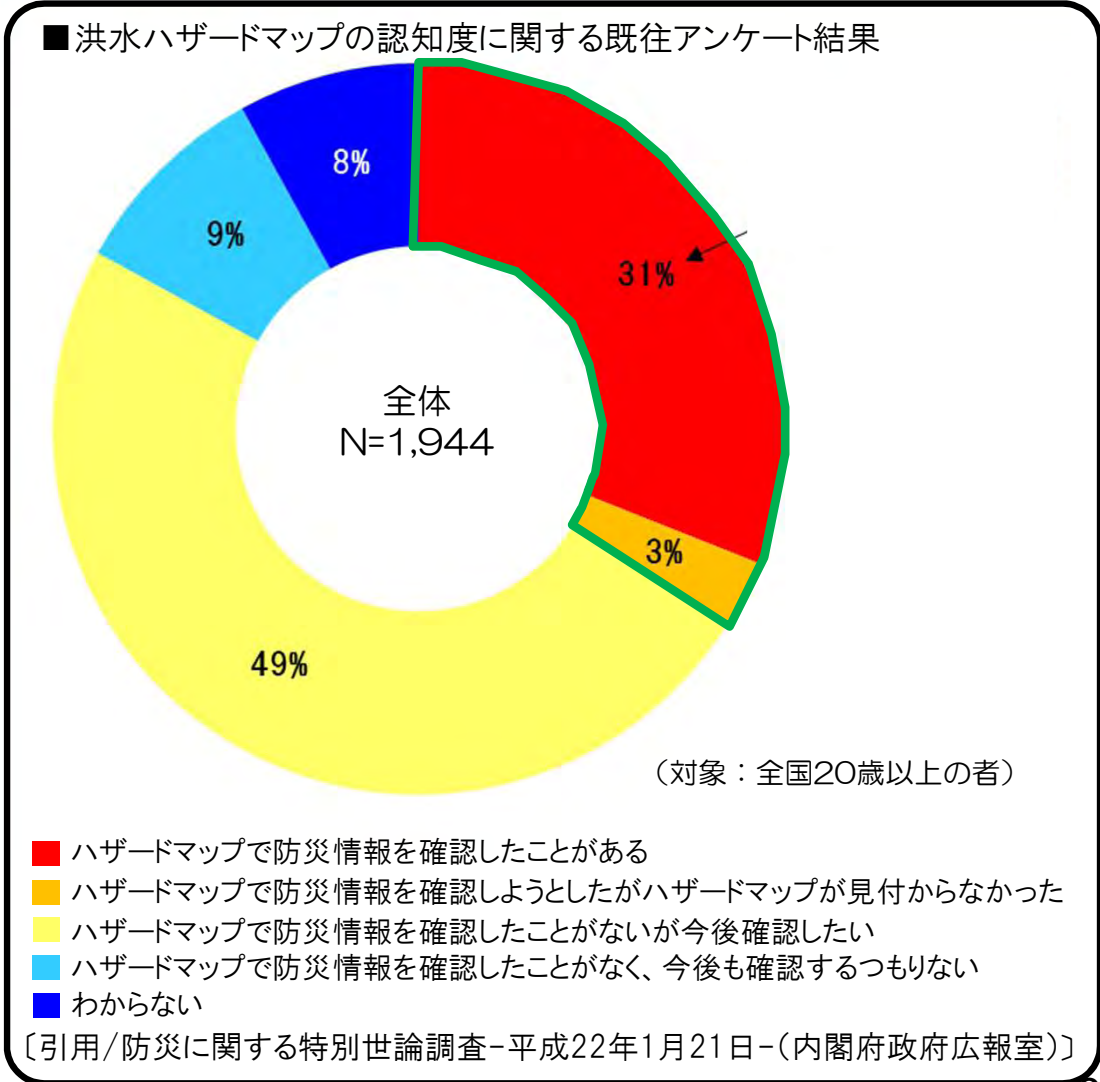
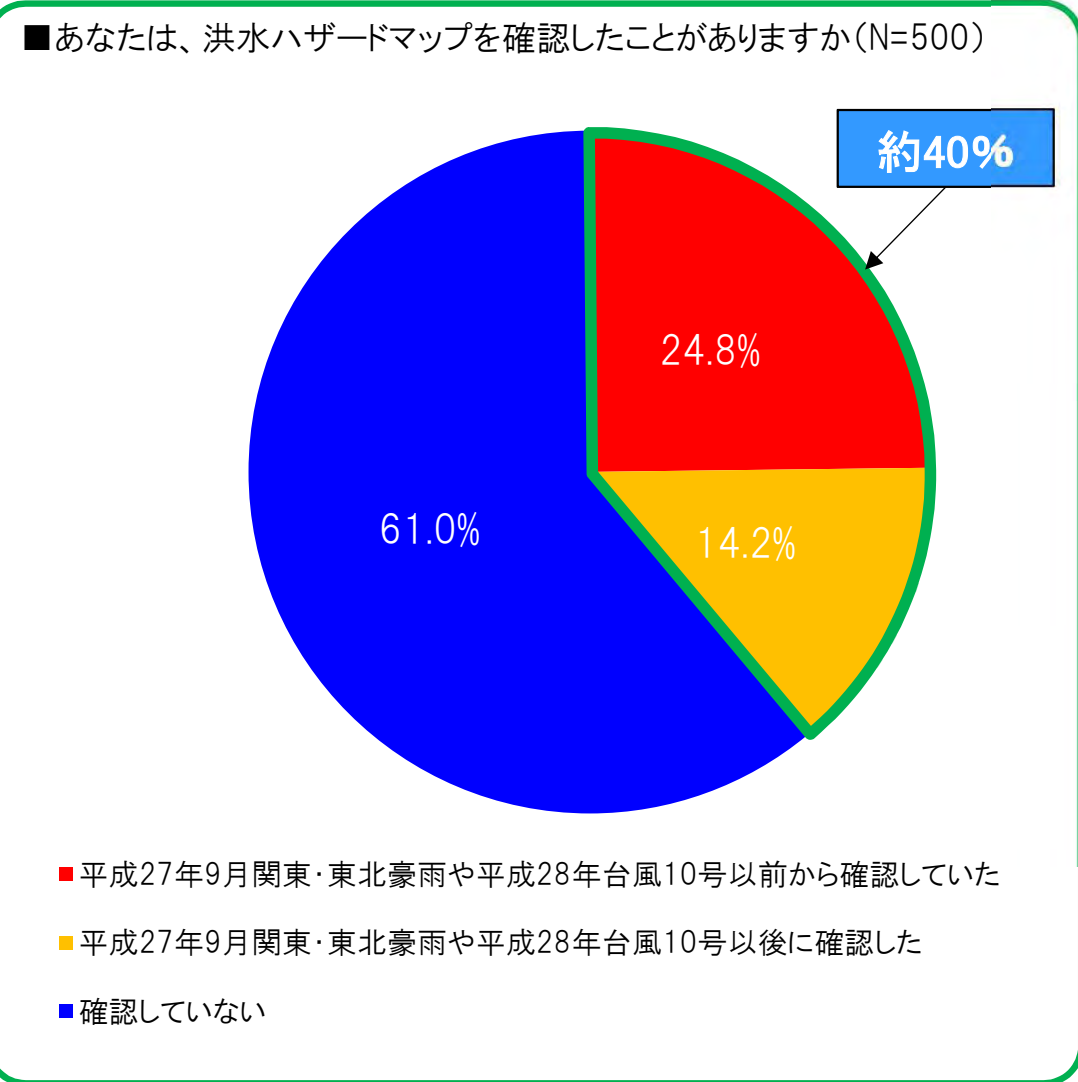
□「堤防の決壊は起こり得る」と思っている人の水害リスクへの関心は高く、「堤防の決壊や洪水等の可能性」の理解度によって、防災行動(リスクを自ら調べる)に顕著な差が見られた。

→洪水について、堤防決壊の可能性等まで『一步踏み込んだ理解』が防災行動に繋がる可能性がある。



水害リスクに対する関心

- 洪水ハザードマップが作成され10数年が経過するが認知率は24.8%（関東・東北豪雨や平成28年台風10号以後に約40%まで増加）に留まっている。既往の全国アンケートでも同様に認知率が低い結果が得られている。
 - 洪水ハザードマップは、防災意識や防災行動の基礎的な情報であるが認知状況自体に課題があり、その原因の把握や認知率の推移の把握が必要である。
- リスクの認知度向上のために洪水ハザードマップの認知率を上げていく必要がある。



まるごとまちごとハザードマップの認知度

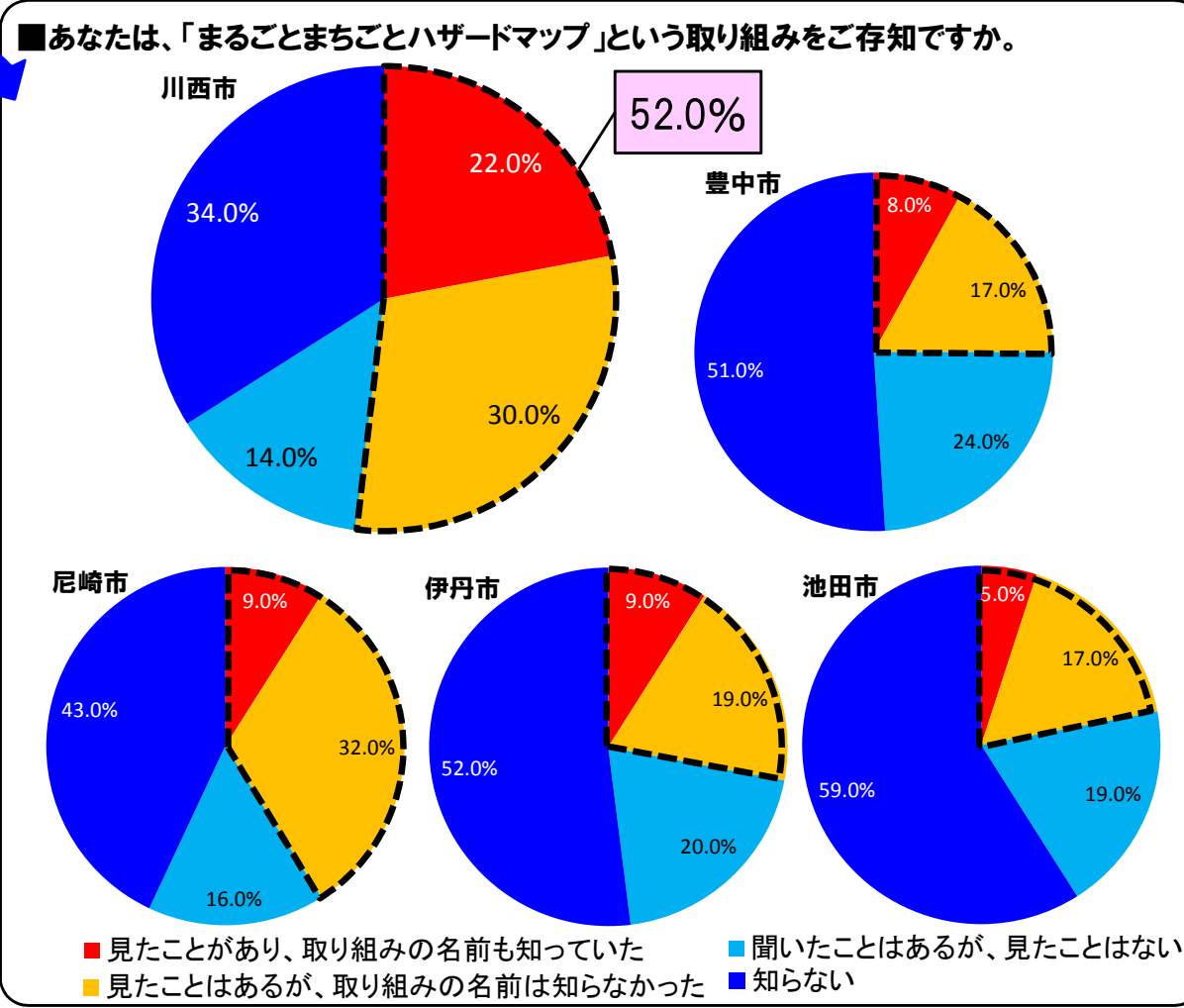
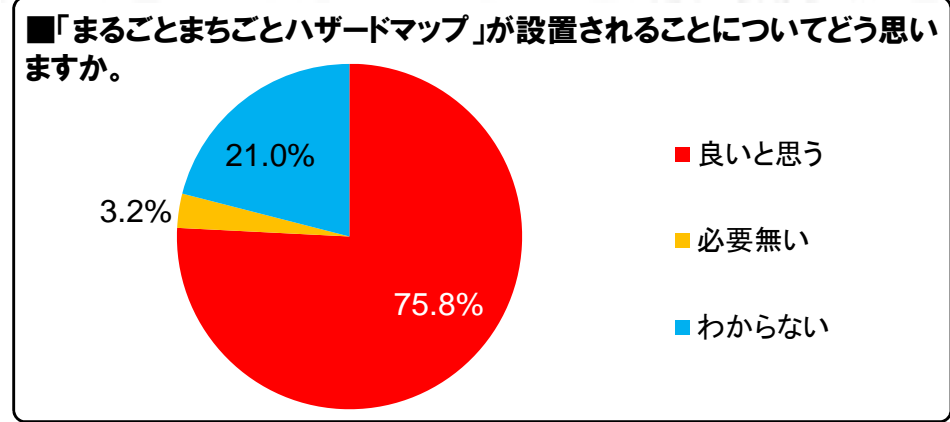
□「まるごとまちごとハザードマップ」の認知度を確認した結果、「まるごとまちごとハザードマップ」の設置数の多い川西市では、他の自治体に比べて「まるごとまちごとハザードマップ」の認知度が高いという結果となり、取組を実施していくことで、浸水リスクを伝えることに繋がることを確認できた。

□また、「まるごとまちごとハザードマップ」が設置されることについてどう思いますか。という質問に対して、**75.8%の人が「良いと思う」と回答**しており、「まるごとまちごとハザードマップ」に対する**抵抗感はほとんど無い**ことが示唆された。

■まるごとまちごとハザードマップの実施状況

	昭和58年既往洪水 浸水実績聞き取り調査		効果 標示板設置数		
	聞き取り 調査箇所数	実績浸水深確認 箇所数	昭和58年	平成23年度	平成25年度
尼崎市	10	10	9	9	9
伊丹市	19	19	5	5	6
川西市	95	94	20	19	27
宝塚市	7	0	0	0	0
猪名川町	10	2	0	0	0
豊中市	10	8	0	0	0
箕面市	10	0	0	0	0
池田市	13	13	5	4	5
豊能町	7	0	0	0	0
能勢町	11	2	0	0	0
計	192	148	39	37(※1)	47

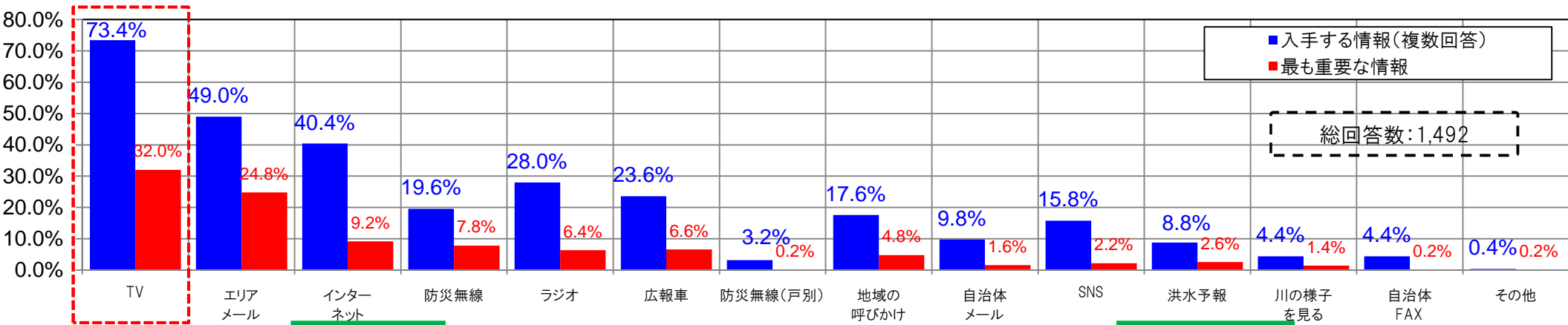
※1 土地の改変等で2ヶ所減少



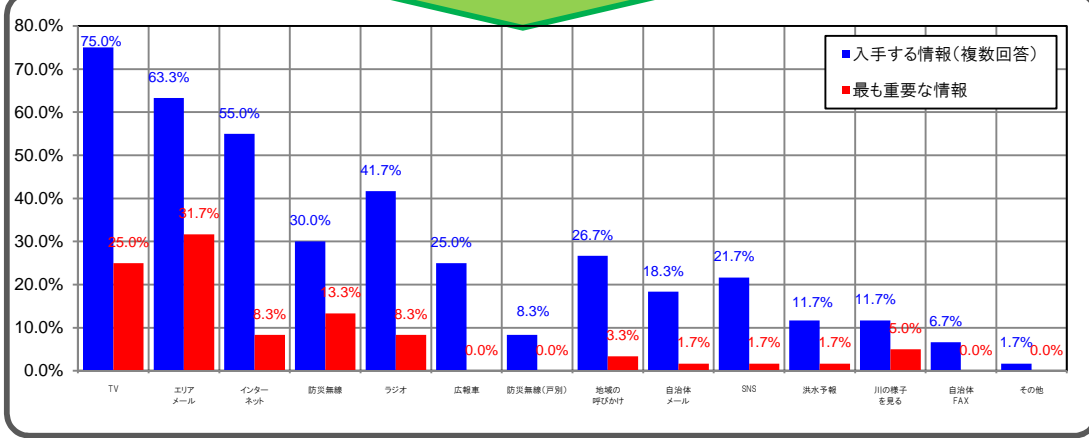
防災情報を入力する手段

- 防災情報を入力する手段として「TV」の割合が最も高い。
- 特に、防災情報への関心が低い層（無関心層）の多くはテレビを最も重要な情報入手手段としている。
- 災害時の避難行動を促す情報をテレビから伝えることで、無関心層にも届く可能性がある。

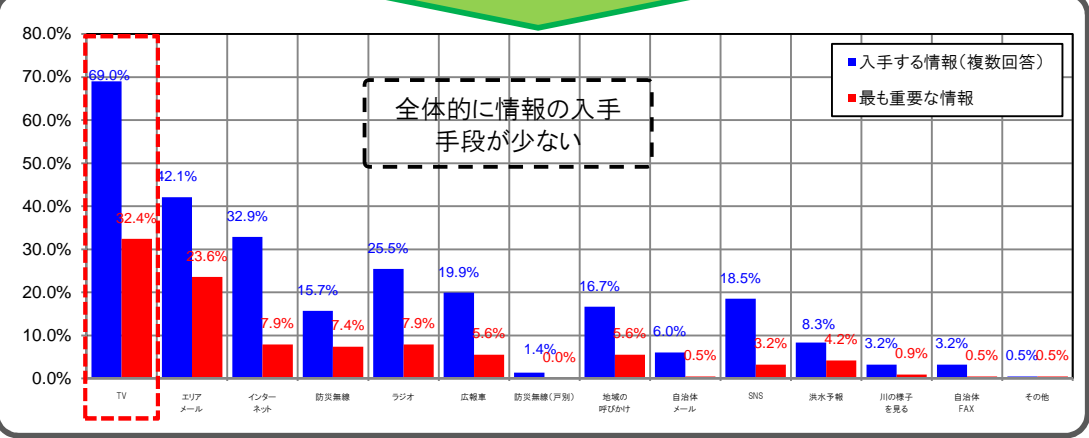
■ 洪水や豪雨時に防災情報を何から入手しますか（複数回答）？（内、最も重要な情報は？）【500人】



関心層 n=60



無関心層 n=216



関心層：右の質問に対してすべて「確認したことがある・知っている」と回答した人
無関心層：「確認したことがない・知らない」と回答した人

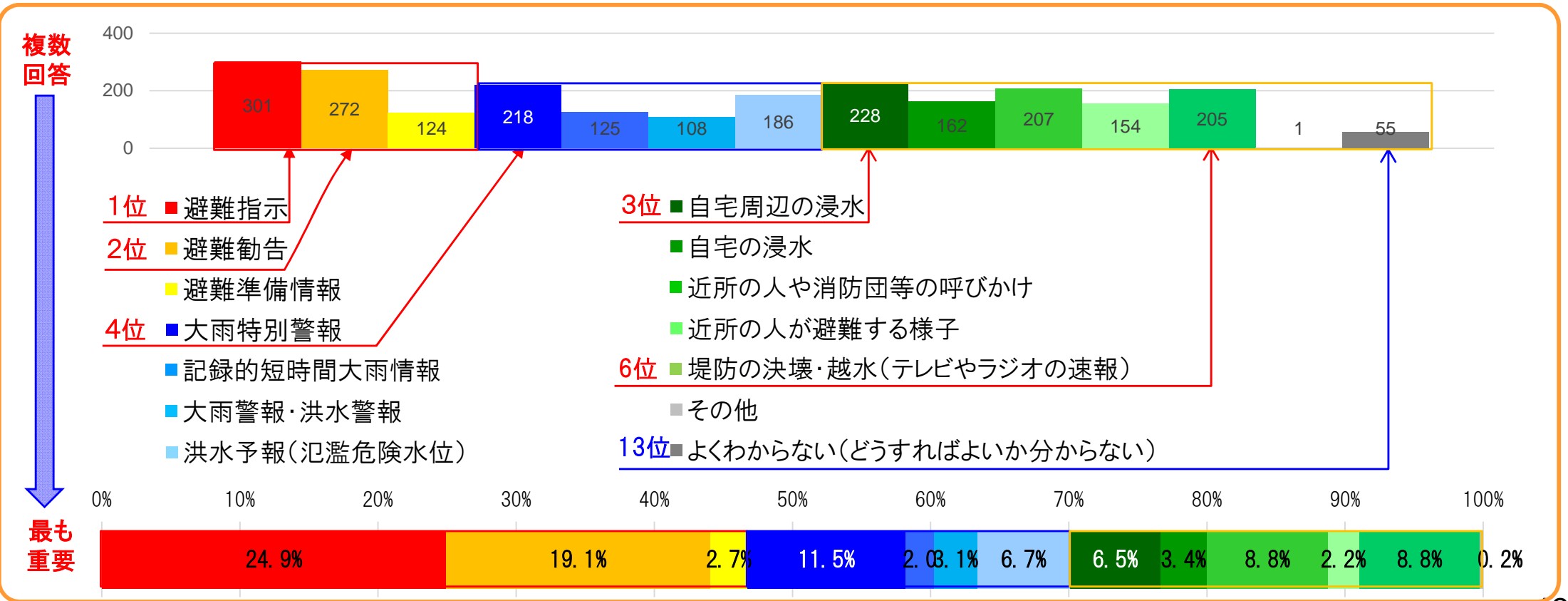
- Q:「ハザードマップ」を確認したことがありますか。
- Q:「川の防災情報」を見たことがありますか。
- Q:データ放送で水位・雨量情報が見られることを知っていますか。

避難しないと命を守ることができない状況下での避難行動のトリガー情報

□避難誘導や避難指示や警報等により自主的な避難に繋がる情報が重要と回答した人が70%存在する。

□一方で、トリガーとする情報にバラツキが大きい状況にあり、また、自宅周辺の浸水等をトリガーとする層(＝要救助者となる可能性)も一定割合存在している。また、「避難しないと命を守ることができない」にもかかわらず「よくわからない」とする回答者も存在している。「自宅周辺の浸水(3位;複数回答)」や、「堤防決壊・越水(6位;複数回答)」等の避難の遅れになる情報の選択率の高さと併せて課題である。

→情報の選択が比較的『ばらけた』傾向にあり、避難のタイミングが遅い情報や「わからない」が上位に位置していることから、災害時の情報収集を極力シンプル化することが防災行動の判断の適正化に繋がる可能性がある。

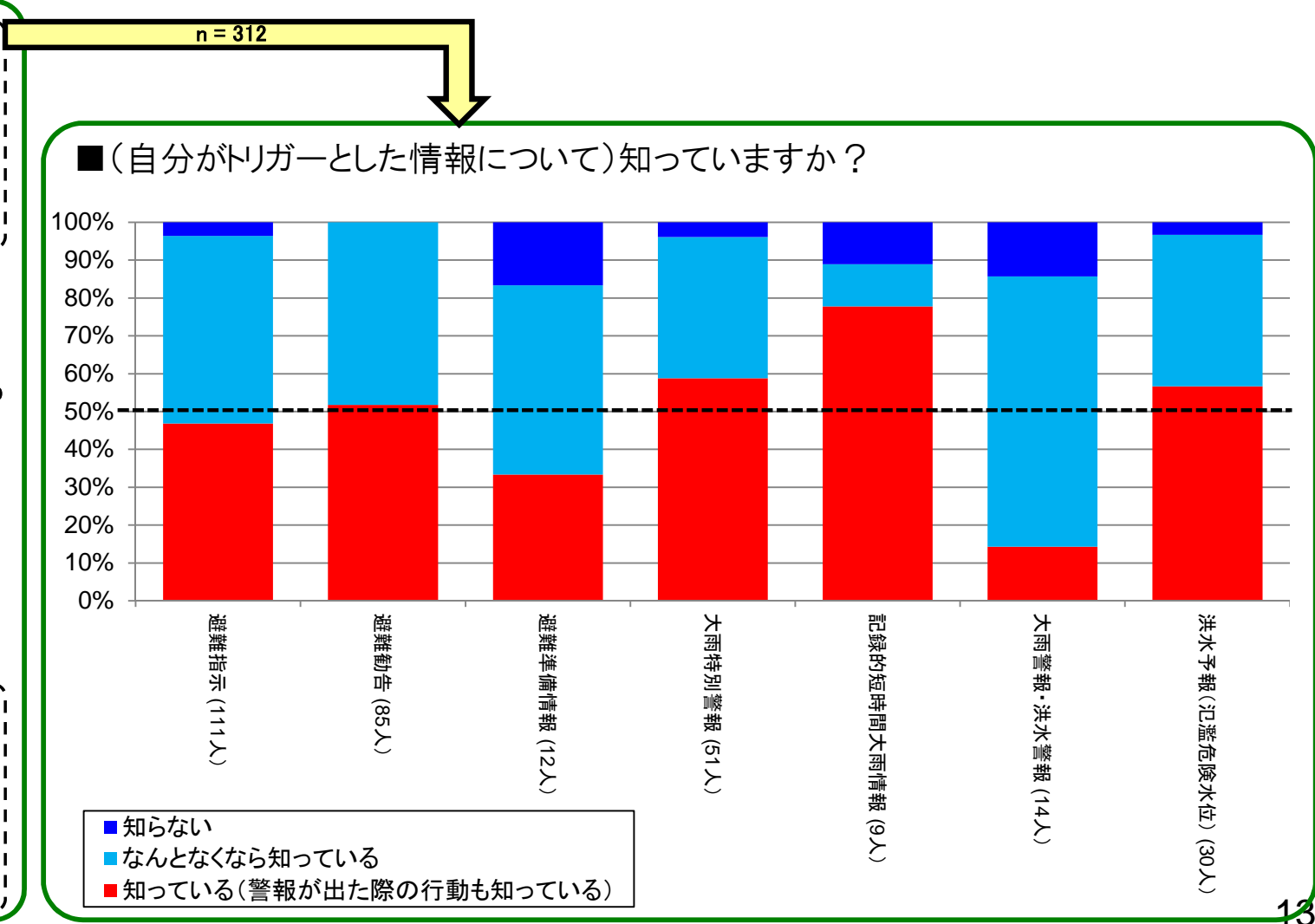
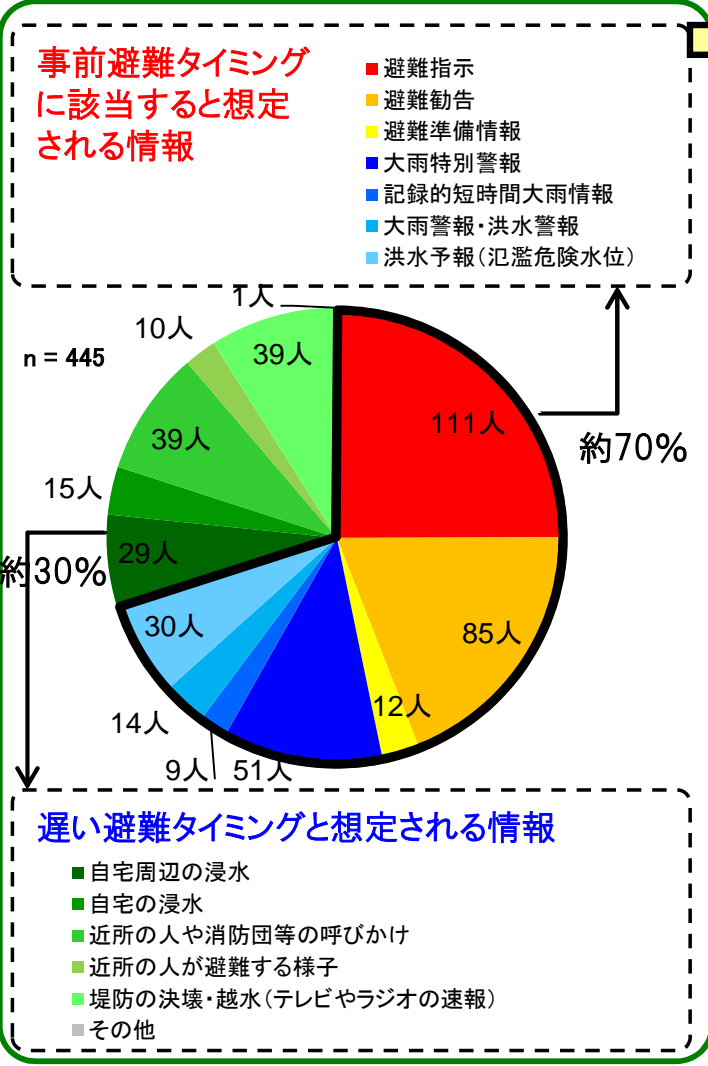


避難のトリガー情報に対する理解度

□避難行動の判断のトリガー情報の内、事前避難のタイミングに該当する情報(避難指示・勧告等)を選択する住民における理解度について、約半数は「何となく理解」の状況にある。

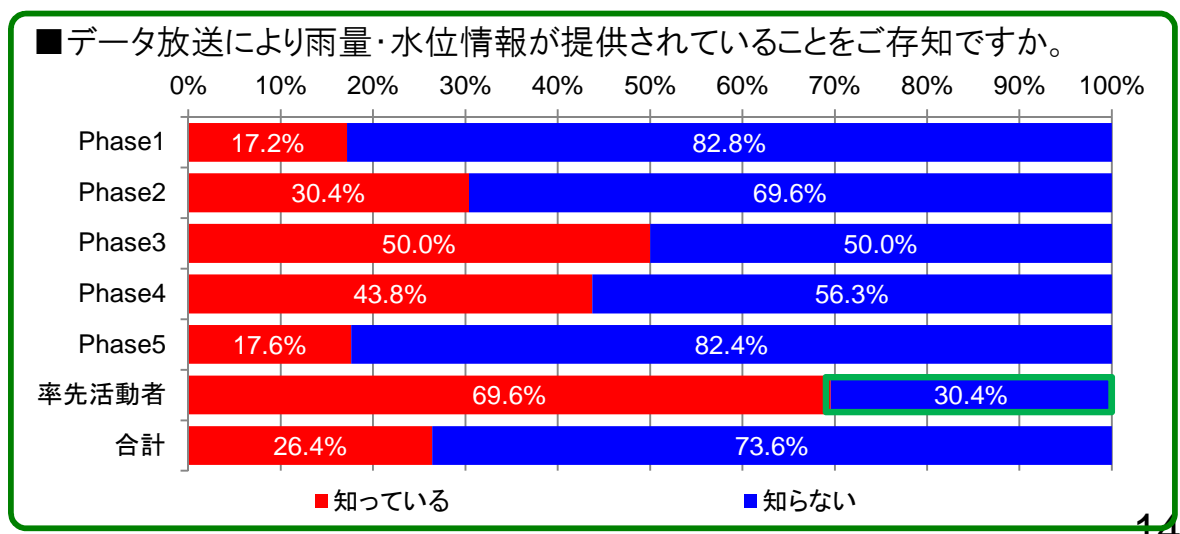
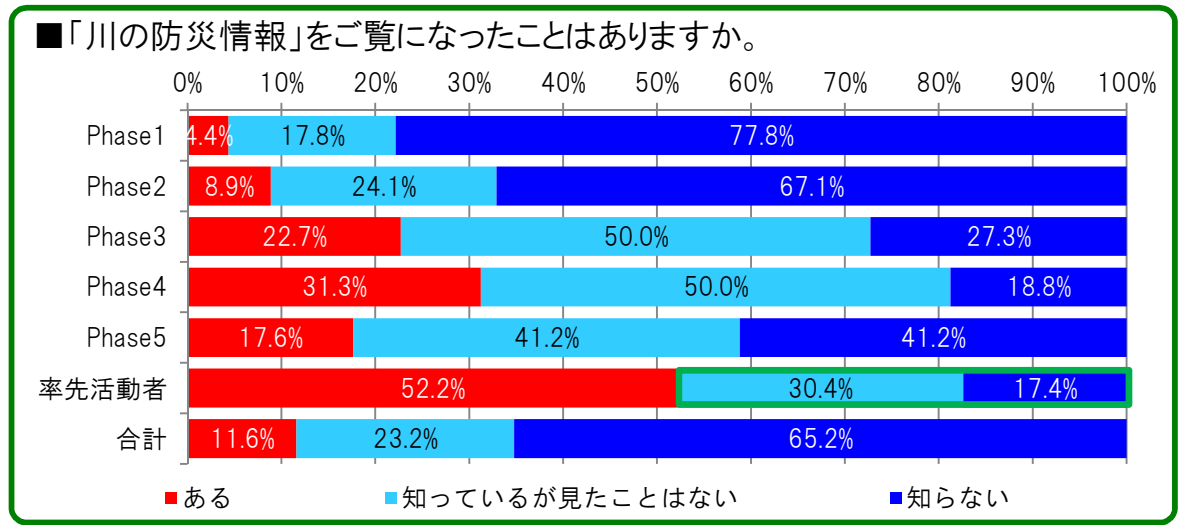
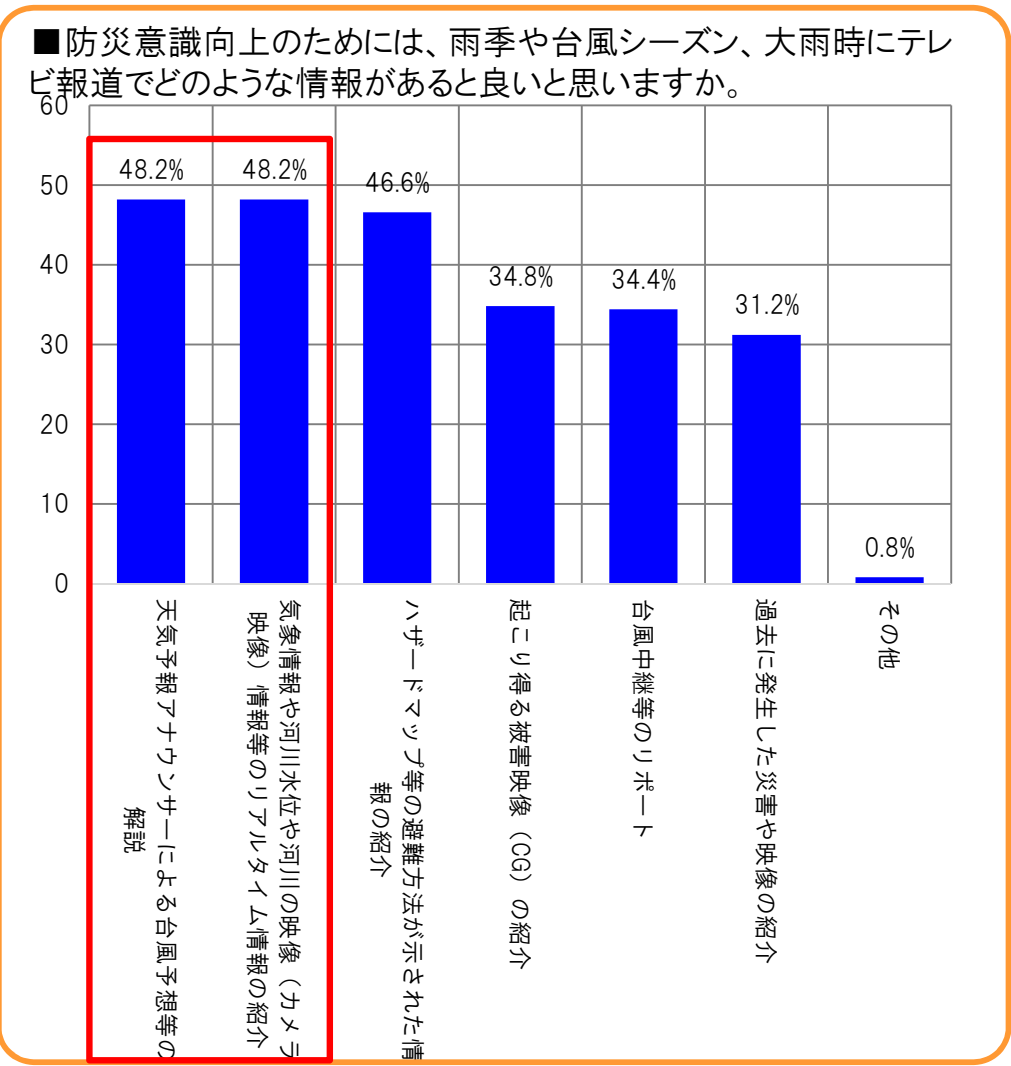
□各トリガー情報の理解度が高いとはいえない条件下で、各種災害情報を提供する際に、避難を促す伝え方の工夫が必要となる。

→断続的なトリガー情報の提供の仕方を工夫することで、逼迫度を下げずに伝えられる可能性がある。



防災情報の提供コンテンツの認知率

□避難のための情報として気象情報や河川水位等のリアルタイム情報が必要と回答している人が多い。
□一方で、率先活動者の中でも、「川の防災情報」を知らない人が約半数、「データ放送による情報伝達」がされていることを知らない人も一部(30%程度)存在する。
→率先活動者に防災情報を簡便に提供することで、主体的な避難等の防災行動が促され、周辺住民の防災行動にも波及効果を与える可能性がある。

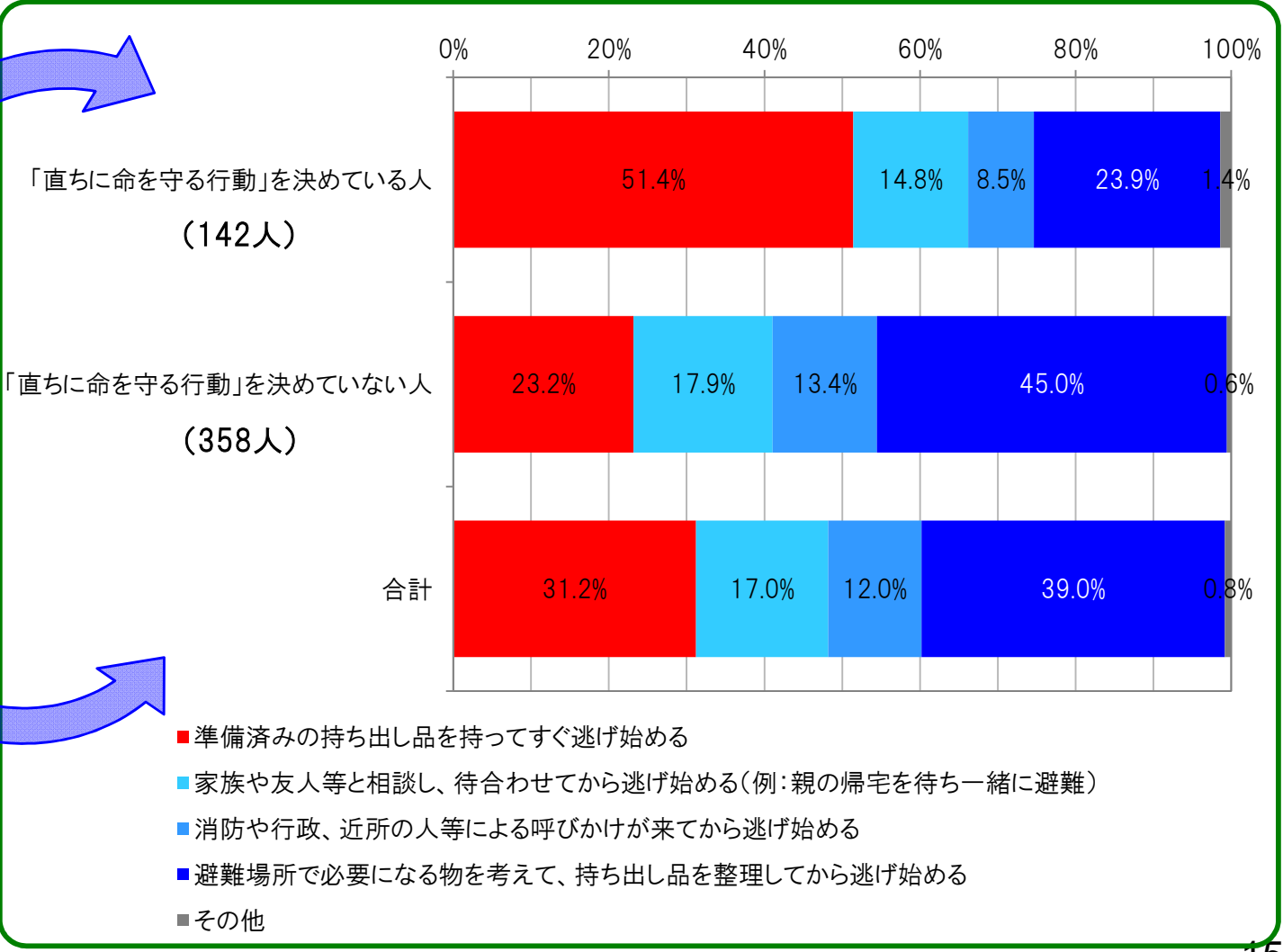
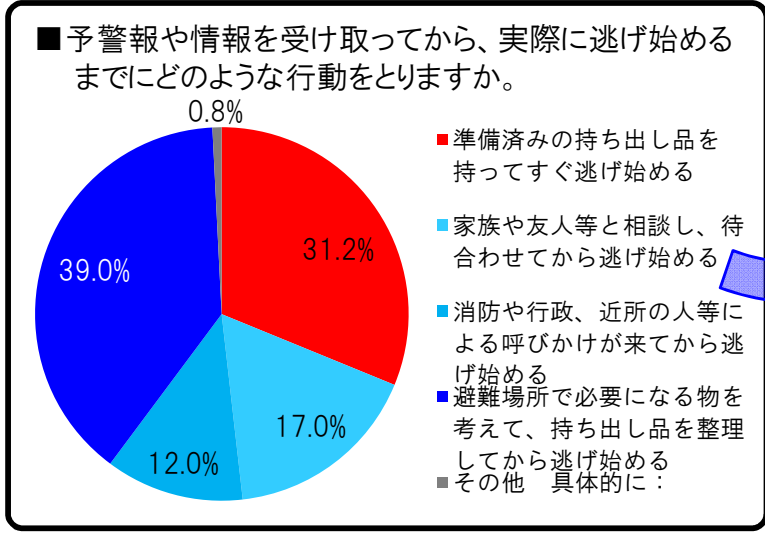
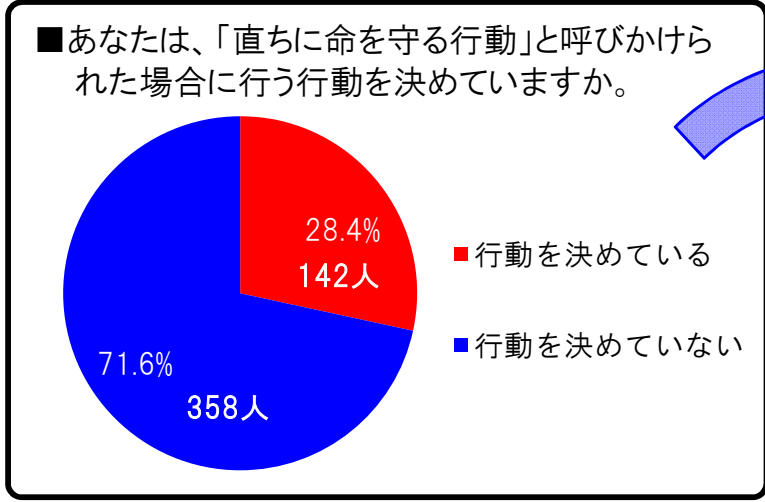


逃げ遅れないための準備

□「直ちに命を守る行動」を決めている住民は28.4%、避難することを決めてから実際にすぐに避難できる(持ち出し品準備済み)住民の割合は、全体で31.2%となる。

□持ち出し品の準備状況は、「直ちに命を守る行動」を決めていることの有無で差があるが、決めている住民でも半数程度。

→避難を決めてから実際の避難開始までに一定のタイムラグの存在が想定されることから、平常時の備えの重要性に関する広報等が、避難行動の早期化に重要。



住民意識調査結果のまとめ

主なアンケート結果

- ①防災意識を高める要因として、他地域で発生した災害のニュース等を見聞きすることが高い割合(約60%)。平成27年関東・東北豪雨や平成28年台風10号で防災意識等が変化した層が約20%存在。
- ②「堤防の決壊は起こりうる」と思っている人は水害リスクへの関心が高い。
- ③洪水ハザードマップの認知率は約40%。防災行動の基礎的な情報であるが認知状況自体に課題。

- ①防災情報の入手手段として「TV」の割合が最も高く、防災情報への関心が低い層の人ほどテレビを重要視。
- ②避難行動のトリガー情報のバラツキが大きく(避難勧告・避難指示は約40%)、自宅周辺の浸水等をトリガーとする層(=要救助者となる可能性)も一定割合存在。
- ③避難指示・勧告等の理解度について、約半数は「なんとなく理解」の状況にある。その他のトリガー情報の理解度が高いとはいえない。

- ①防災情報を理解し、実際に行動している「率先活動者」が各市で一定数存在する。防災情報として気象情報や河川水位等のリアルタイム情報を重要視するが、率先活動者でも「川の防災情報」等の情報が知られていない。
- ②「直ちに命を守る行動」を決めている住民は約30%、避難することを決めてから実際にすぐに避難できる(持ち出し品準備済み)住民の割合も全体で約30%。

今後の方向性

災害を経験する、知る、イメージすることでリスク認知の向上を図る

避難のための情報と、その情報の意味をしっかりと届ける

適正な防災行動を具体化・後押しすることで、早期の防災行動に繋げる

(2-2)防災意識向上に向けた取組の方向性

今後の方向性と減災対策協議会の取組

基本的な方向性

I 災害を経験する、知る、イメージすることでリスク認知の向上を図る

II 避難のための情報と、その情報の意味をしっかり届ける

III 適正な防災行動を具体化・後押しすることで、早期の防災行動に繋げる

防災意識の向上に向けた取組みの方向性

- 過去の災害からの経験や他地域の被害の様子を活用する
- 堤防(決壊)や洪水等、それ自体の理解を深める
- リスク情報を知らせる・しっかり理解する手段を改善する

- 入る情報と他の防災情報を関連づける
- トリガー情報を明確化・わかりやすくする
- 災害情報と防災行動とを関連づける

- 率先活動者の活動を促進して共有する
- 指示待ちから主体的な防災行動の判断を促す

今後の方向性と減災対策協議会の取組

Ⅲ 適正な防災行動を具体化・後押しすることで、早期の防災行動に繋げる

Ⅱ 避難のための情報と、その情報の意味をしっかりと届ける

Ⅰ 災害を経験する、知る、イメージすることでリスク認知の向上を図る

	減災対策協議会 取組項目
Phase5 (対処行動を実行する)	・ 実践的な水害に対する避難訓練に努める。
Phase4 (対処方法を理解する)	・ 住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供やプッシュ型情報発信のための整備を行う。
	・ ライブ画像のHPでの公表拡大を推進する。
	・ コミュニティFM等の活用など多様なメディア・多層な伝達手段等を活用した災害情報伝達手段の確保を推進する。
Phase3 (リスクを理解する)	・ 想定最大外力を対象とした氾濫シミュレーションの提供を行う
	・ 洪水浸水想定区域図及び氾濫シミュレーションの活用方法について検討を進める。
Phase1～2 (リスクを知らない、リスクに気付く)	・ 洪水ハザードマップの促進及び洪水ハザードマップの周知に努める。
	・ 日常から水災害意識の向上を図り、迅速な避難を実現するため、まるごとまちごとハザードマップの周知に努める。
	・ 市報などの中で、水害に関する有益な情報を市民に発信していく。
	・ イベントなどの中で水害に関する有益な情報を市民に発信していく。

・ 小中学校における水災害も含めた防災教育の実施に努める。

・ 要配慮者施設において、策定している避難計画の対象災害の中に水害も加え、訓練実施に向けた支援を行う。

(2-3) 取組方針の具体化事例集(ソフト対策)

猪名川の基本的ルール設定

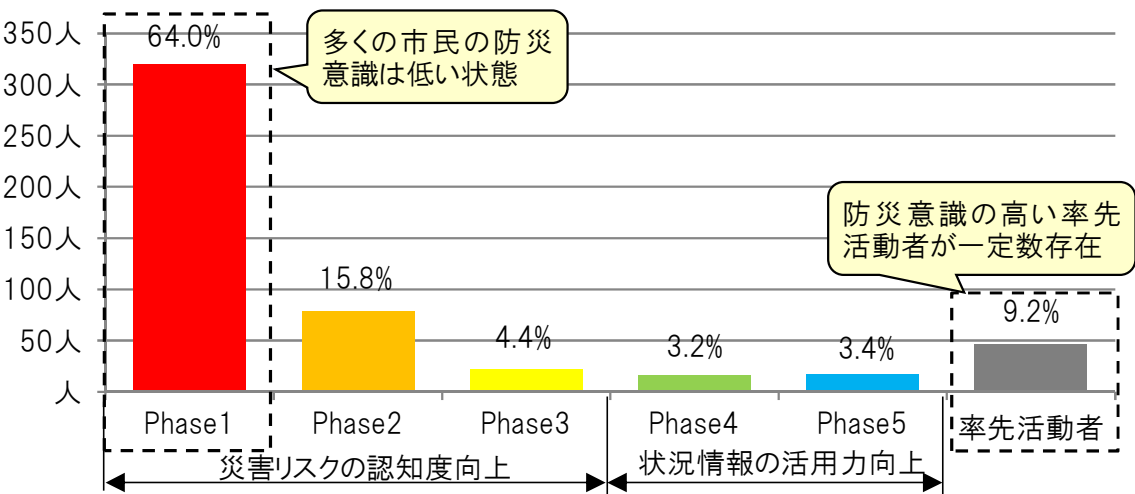
住民防災意識アンケート結果を踏まえて、猪名川流域の目指すべき方向性を提示する。

- ①猪名川流域の多くの市民は防災意識が低い状態であるため、フェイズに応じた情報提供を行い、住民防災意識の底上げを図り、地域に根付くサイクル型の防災理解促進を目指す(各フェイズのワンランクアップ程度を目指す)。
- ②防災意識の高い少数の率先活動者が存在する。避難は少数の率先活動者の有無により初動が影響されるため、防災リーダーによる避難誘導促進を目的として、率先活動者の住民を把握して、正確な情報とその意味を伝える取組促進を目指す。

■ 防災意識の評価(意識調査)の視点

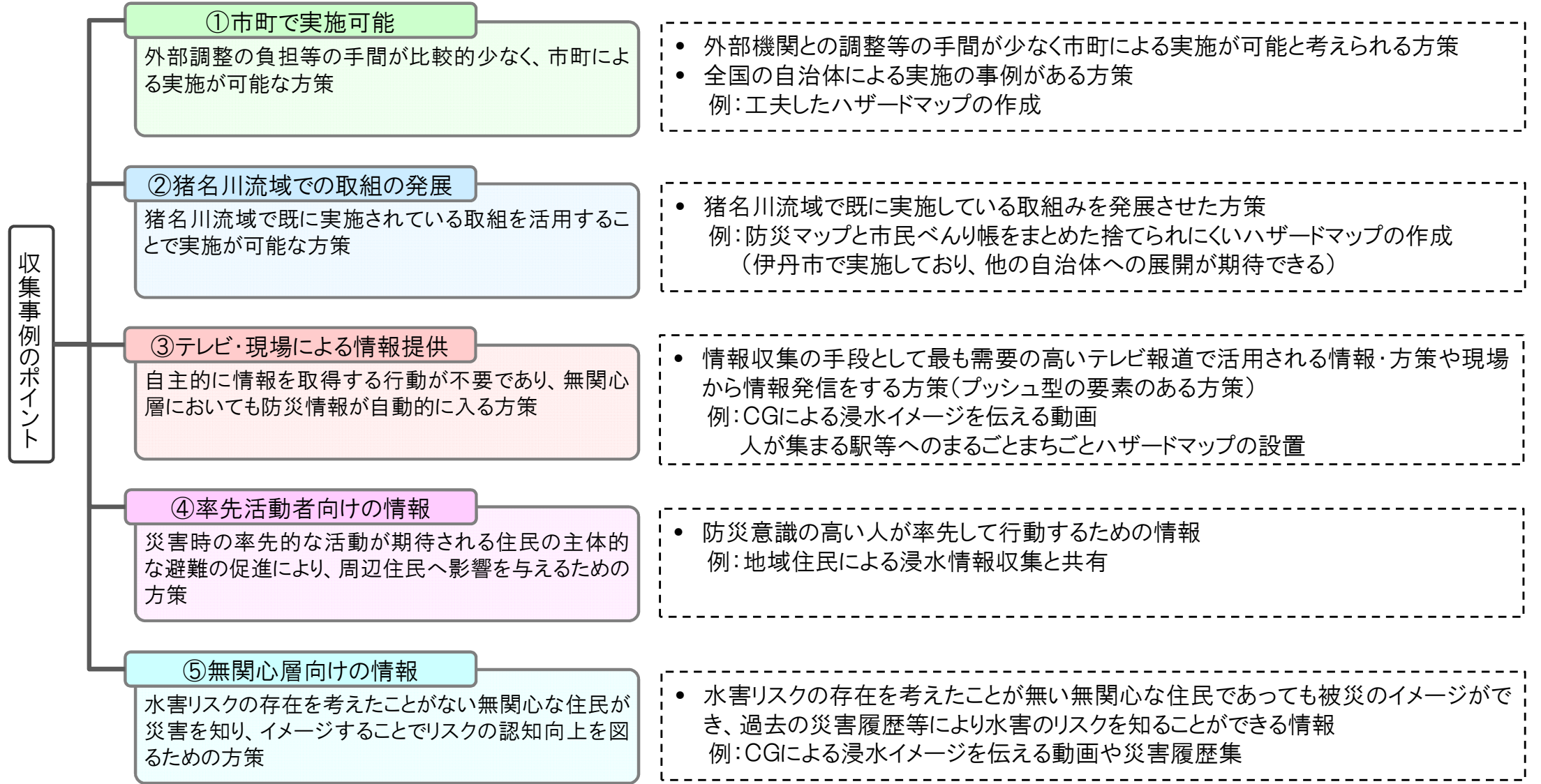
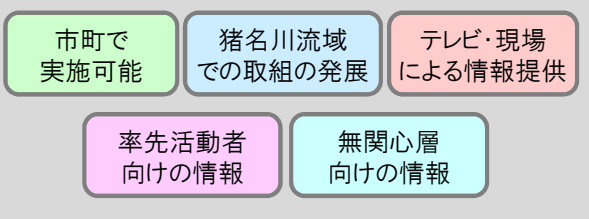


■ 猪名川流域のフェイズ分類結果



収集事例のポイント

取組方針に対する具体の進め方の参考となり得る事例について、次の5つの視点で整理した。
①市町で実施可能/②猪名川流域での取組の発展/③テレビ・現場による情報提供/④率先活動者向けの情報/⑤無関心層向けの情報



※取組方針に対する具体的な進め方の考え方としての参考事例であり、各事例の現状の活用状況や継続状況等の確認はできていない

(2) 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

■ハザードマップの作成・周知等

氾濫シミュレーションの活用:フィクションドキュメンタリー動画(荒川下流河川事務所)

浸水リスクの認知度を高めるための情報として、荒川の堤防が決壊した時にどうなるかをフィクションドキュメンタリー動画で紹介している。動画共有サービスで公開されており、平成27年関東・東北豪雨による鬼怒川決壊の際に報道で活用されていた。
テレビ報道での活用により、防災に無関心な人への浸水リスクの伝達が期待できる。

市町で
実施可能

猪名川流域
での取組の発展

テレビ・現場
による情報提供

率先活動者
向けの情報

無関心層
向けの情報

荒川決壊時のフィクションドキュメンタリー動画

災害に備えて

フィクションドキュメンタリー「荒川氾濫」

荒川の堤防が決壊した時にどうなるのかをフィクションドキュメンタリー動画で紹介しています。

フィクションドキュメンタリー「荒川氾濫」とは

地球温暖化などの環境変化が進む中、異常気象などが深刻な課題となっています。もしも未曾有の大雨によって「荒川の堤防が破堤した場合、どのような被害を及ぼすのか」を資料映像やCG映像などによって、フィクションドキュメンタリーとしてとりまとめるとともに、堤防決壊のメカニズムや水害時の避難先などの防災知識をわかりやすく提供します。

このDVDは、東京都北区のJR鉄道橋付近で堤防が決壊した場合と東京都足立区の鉄道橋付近で堤防が決壊した場合を想定し、作成していますが、これは、「この区間の堤防が決壊しやすい」や「その他の区間は安全」といったことを表現しているわけではありません。このDVDで想定しているような大規模な洪水が発生した場合には、荒川下流部のどの区間で堤防が決壊してもおかしくなく、沿川にお住まいの皆様は、水害に対する備えを講じていただくことが重要です。

上映時間:約15分間
制作年月:平成23年3月

視聴する

荒川氾濫(1/2)[外部サイト]

荒川氾濫(2/2)[外部サイト]



Video player showing a flooded city street scene.

死者数 3718人
浸水戸数 21014戸
孤立者数 318191人

荒川堤防決壊

Map showing the location of the breach and surrounding areas.

出典：荒川下流河川事務所HP「<http://www.ktr.mlit.go.jp/arage/arage00061.html>」

氾濫シミュレーションの活用：CG動画(水害に強い地域づくり協議会)

管理区間で破堤した場合の状況を空から見たイメージと人目線でみたイメージの2種類を3次元CG動画で作成し公開している。平成27年関東・東北豪雨による鬼怒川決壊の際に報道で活用されていた。

テレビ報道での活用により、防災に無関心な人への浸水リスクの伝達が期待できる。

市町で
実施可能

猪名川流域
での取組の発展

テレビ・現場
による情報提供

率先活動者
向けの情報

無関心層
向けの情報

◆ 氾濫シミュレーション3次元CG動画

氾濫シミュレーション結果をもとに、堤防が決壊した場合の状況を3次元CG動画で表現しており、氾濫水の流速、到達時間、浸水面上昇高度が疑似体験出来ます。3次元CG動画は視点を変えて、空から見たイメージと人目線でみたイメージの2種類があります。

対象洪水： 昭和28年8月洪水 W=1/200



破堤地点： 木津川2/600右岸



破堤地点： 木津川5/400左岸



破堤地点： 木津川 5/400 左岸



破堤地点： 淀川 9/200 左岸



出典：水害に強い地域づくり協議会（淀川河川事務所）「<https://www.yodogawa.kkr.mlit.go.jp/activity/comit/kyogikai/kyozai/cg.html>」

氾濫シミュレーションの活用：CGハザードマップ(兵庫県)

過去の浸水区域や浸水想定区域図、洪水イメージCG(フォトモンタージュ)、浸水被害の写真等がインターネットから閲覧でき、**水害リスクの存在を考えたことが無い防災に無関心な住民であっても、被災のイメージや水害リスクを認知することができる。**

市町で
実施可能

猪名川流域
での取組の発展

テレビ・現場
による情報提供

率先活動者
向けの情報

無関心層
向けの情報



兵庫県 CGハザードマップ

過去の洪水記録 (平成23年)

87.7	89.9	92.9	92.9	93.4	93.6	93.9	93.7
93.8	94.0	94.2	94.4	94.5	94.6	94.7	94.9
95.1	95.4	95.8	96.1	96.2	96.3	96.4	96.5
96.6	96.7	96.8	96.9	97.0	97.1	97.2	97.3

平成23年(2011)9月2日～4日 台風12号

平成23年(2011)9月19日～22日 台風15号

洪水イメージCG (3次元動画)

中央公園 (陸から)

破堤後
6時00分4秒

洪水イメージCG (フォトモンタージュ)

J R尼崎駅

最高浸水値
▼0.7m

最終

浸水実績がある水害の概要・災害写真が併せて閲覧できる

出典：兵庫県CGハザードマップ「<http://www.hazardmap.pref.hyogo.jp/>」

ハザードマップの工夫：洪水ハザードマップアニメーション(長野県 松本市)

浸水が進行する状況を時間経過ごとに表示するアニメーション型の洪水ハザードマップやCGによる浸水の様子等がインターネットから閲覧でき、**率先活動者は、自宅の洪水到達時間や浸水範囲から取るべき行動を考えることができ、無関心層は、CGにより浸水をイメージすることに期待できる。**

市町で
実施可能

猪名川流域
での取組の発展

テレビ・現場
による情報提供

率先活動者
向けの情報

無関心層
向けの情報

索引図画面

松本市防災マップ

MATSUMOTO Disaster Prevention Map

ホーム 防災マップ ハザードマップ 地区別マップ 浸水アニメーション 防災情報リンク

現在のページ: ホーム/浸水アニメーション

■浸水アニメーション

堤防決壊および越水による各地点の浸水状況や浸水の深さをアニメーションで見ることができます。一覧表 または 地図中の番号をクリックしてください。

■アニメーション地点一覧表

番号	地点名	堤防を想定する地点	番号	地点名	想定する洪水
①	並柳	牛伏川 右岸2.0K付近	⑥	松本市役所	女鳥羽川 右岸2.8K付近
②	桜橋東	薄川 右岸3.1K付近	⑦	松本駅	薄川 右岸0.7K付近
③	浅瀬	田川 左岸1.7K付近	⑧	新橋	奈良井川 右岸4.3K付近
④	中条	田川 右岸1.9K付近	⑨	信明中学校	奈良井川 右岸8.4K付近
⑤	市上	田川 右岸1.6K付近	⑩	新島々駅	梓川 右岸8.5K付近

■アニメーション地点 位置図

1時間経過

松本市防災マップ

MATSUMOTO Disaster Prevention Map

ホーム 防災マップ ハザードマップ 地区別マップ 浸水アニメーション 防災情報リンク

現在のページ: ホーム/浸水アニメーション/地点4:中条

■浸水アニメーション(地点4:中条 田川 右岸1.9K付近より堤壊を想定)

浸水想定区域の作成条件である、奈良井川流域に100年の1回の確率の降雨が発生し、田川 右岸1.9K付近の堤防が決壊した場合の浸水状況の広がり示すとともに、中条地域周辺の浸水の深さをアニメーションで表現しました。

注意①: 想定する降雨が発生した場合、「田川 右岸1.9K付近」以外の地点からも越水による洪水が発生する可能性があります。このアニメーションでは、越水による洪水災害についても合わせて表現しています。

注意②: 「田川 右岸1.9K付近」が堤壊する時間を0分としています。それ以前に越水による浸水が発生している箇所もあります。

■凡例

- × 破壊地点
- 写真位置
- 5.0m 以上
- 2.0m ~ 5.0m 未満
- 1.0m ~ 2.0m 未満
- 0.5m ~ 1.0m 未満
- 0.5m 未満

地点選択画面に戻る

個人情報保護の取扱いについて リンクについて お問い合わせ先 <くまねっとまつもと>

Copyright (C) Matsumoto City 1997-2014 ALL right reserved.

1時間45分経過

松本市防災マップ

MATSUMOTO Disaster Prevention Map

ホーム 防災マップ ハザードマップ 地区別マップ 浸水アニメーション 防災情報リンク

現在のページ: ホーム/浸水アニメーション/地点4:中条

■浸水アニメーション(地点4:中条 田川 右岸1.9K付近より堤壊を想定)

浸水想定区域の作成条件である、奈良井川流域に100年の1回の確率の降雨が発生し、田川 右岸1.9K付近の堤防が決壊した場合の浸水状況の広がり示すとともに、中条地域周辺の浸水の深さをアニメーションで表現しました。

注意①: 想定する降雨が発生した場合、「田川 右岸1.9K付近」以外の地点からも越水による洪水が発生する可能性があります。このアニメーションでは、越水による洪水災害についても合わせて表現しています。

注意②: 「田川 右岸1.9K付近」が堤壊する時間を0分としています。それ以前に越水による浸水が発生しています。

ハザードマップのアニメーションだけでなく、CGも同様の時間の流れで浸水する様子を表示。

出典：長野市防災マップHP「http://www.city.matsumoto.nagano.jp/hazard/04_anime/index.html」

ハザードマップのネット公開:姫路市webマップ(兵庫県 姫路市)

姫路市内の各河川の洪水ハザードマップと避難所を重ねて表示することができ、避難所の詳細や経路の検索が可能である。

率先活動者が、洪水時の避難行動を考えるための参考とすることに期待できる。

市町で
実施可能

猪名川流域
での取組の発展

テレビ・現場
による情報提供

率先活動者
向けの情報

無関心層
向けの情報



姫路市内の各河川の洪水ハザードマップと避難所を重ねて表示。

避難所の詳細表示。

経路検索が可能。

出典：姫路市Webマップ「<https://www.sonicweb-asp.jp/himeji/>」

ハザードマップの工夫：洪水ハザードマップアニメーション(兵庫県 姫路市)

浸水が進行する状況を時間経過ごとに表示するアニメーション型の洪水ハザードマップやCGによる浸水の様子等がインターネットから閲覧でき、率先活動者は、自宅の洪水到達時間や浸水範囲から取るべき行動を考えることができ、無関心層は、CGにより浸水をイメージすることに期待できる。

市町で
実施可能

猪名川流域
での取組の発展

テレビ・現場
による情報提供

率先活動者
向けの情報

無関心層
向けの情報



ひめじ防災プラザ



お知らせ
施設紹介
施設体験ツアー
ゲーム
ハザードマップ
気象情報
キッズコーナー
防災・危機管理講座
関係機関へのリンク集
消防局へ

トップ > ハザードマップ

ハザードマップ

ハザードマップとは、災害情報(被害の範囲や大きさ等)や避難情報(避難所の場所や緊急連絡先等)をわかりやすく掲載した地図です。
姫路市では、以下に示すように、洪水・高潮・津波のハザードマップを作成しています。日頃からこのハザードマップで学習しておけば、いざというときに早く安全な場所に避難することができます。



洪水から身を守る

姫路市内を流れる、揖保川・大津茂川・夢前川・船場川・市川・八家川・天川を掲載しています。

洪水ハザードマップ

河川別 (河川別に見ることができます)

小学校区別 (小学校区別に見ることができます)

洪水シミュレーション

アニメーション (いざというときの状況をみるすることができます)

浸水イメージ写真 (主な場所の浸水状況を写真で見ることができます)

浸水時間 (浸水している時間を見ることができます)

流速分布 (いざというときの水の流れる速さを見ることができます)

歩行困難度 (歩いて避難することが危険な場所を見ることができます)

洪水到達時間 (いざというときの水が到達する時間を見ることができます)



高潮

姫路市沿岸部の高潮の危険な箇所を掲載しています。

高潮ハザードマップ

地域別 (地域別に見ることができます)

アニメーション



市川氾濫アニメーション
破堤点 右岸 4.1km

市川氾濫後の経過時間 07:15

浸水イメージ写真

No.4 野里駅

最大浸水深...約130cm



◆普段の様子◆



◆浸水イメージ◆

歩行困難度



凡 例
歩行困難 不可能
歩行困難 困難

洪水到達時間



凡 例
30分
1時間
2時間
4時間
6時間
7時間以上

時間経過とともにどのように浸水が広がるかを、洪水ハザードマップ上でアニメーションにより再現。
氾濫河川ごとの歩行困難度、到達時間を表示。
主要施設の浸水イメージ写真を表示。

出典：ひめじ防災プラザ「<http://www.city.himeji.lg.jp/syoubou/plaza/hazardmap/index.html>」

29

ハザードマップの工夫:伊丹市防災マップ&市民べんり帳(兵庫県 伊丹市)

「伊丹市防災マップ&市民べんり帳」は市の防災情報、ハザードマップ、各種行政サービスについて1冊にまとめている。
複数の情報をまとめたことにより、ハザードマップのみより手元に置いておく工夫がされている。

市町で
実施可能

猪名川流域
での取組の発展

テレビ・現場
による情報提供

率先活動者
向けの情報

無関心層
向けの情報

伊丹市
Ifami City Guide Book 2016
防災マップ&市民べんり帳

伊丹市防災マップ

行政ガイド

医療ガイド・生活ガイド

伊丹市
株式会社サイネックス

防災マップ

伊丹市中部

伊丹市防災マップ

伊丹市中部

ごみの出し方

ごみの出し方

ごみの出し方

ドライブスルーで古着、布製品買い取ります!

ドライブスルーで古着、布製品買い取ります!

出典：伊丹市（伊丹市防災マップ&市民べんり帳）「http://www.city.itami.lg.jp/ITAMI_BENRI/KURASI_KANKYO/1393065093558.html」

ハザードマップの工夫:豪雨災害対応ガイドブック(新潟県 三条市)

「豪雨災害対応ガイドブック」は4種類のマップと災害に関する情報を掲載することで、災害発生時にそれぞれの地区で想定される状況ととるべき最適行動について表示している。「**行動指南型**」のハザードマップにより、**防災に関する知識が豊富でない住民の避難を促すことが期待できる。**

市町で
実施可能

猪名川流域
での取組の発展

テレビ・現場
による情報提供

率先活動者
向けの情報

無関心層
向けの情報



豪雨災害対応のQ&A

豪雨災害対応の Q&A

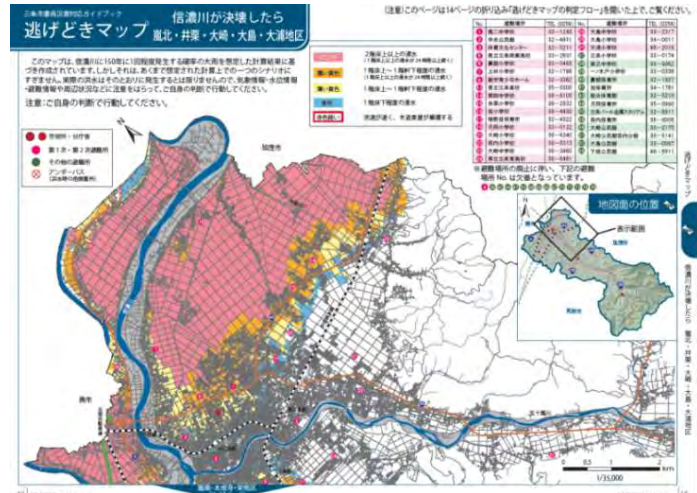
目次

- 7-13 本書の構成 3
- 1 浸水のしめ 4
- 2 浸水想定マップ 5
- 3 逃げどきマップ 13
- 4 逃げどきマップの判定フロー 15
- 5 逃げどきマップの判定フロー 15
- 6 逃げどきマップの判定フロー 15
- 7 逃げどきマップの判定フロー 15
- 8 逃げどきマップの判定フロー 15
- 9 逃げどきマップの判定フロー 15
- 10 逃げどきマップの判定フロー 15
- 11 逃げどきマップの判定フロー 15
- 12 逃げどきマップの判定フロー 15
- 13 逃げどきマップの判定フロー 15
- 14 逃げどきマップの判定フロー 15
- 15 逃げどきマップの判定フロー 15
- 16 逃げどきマップの判定フロー 15
- 17 逃げどきマップの判定フロー 15
- 18 逃げどきマップの判定フロー 15
- 19 逃げどきマップの判定フロー 15
- 20 逃げどきマップの判定フロー 15
- 21 逃げどきマップの判定フロー 15
- 22 逃げどきマップの判定フロー 15
- 23 逃げどきマップの判定フロー 15
- 24 逃げどきマップの判定フロー 15
- 25 逃げどきマップの判定フロー 15
- 26 逃げどきマップの判定フロー 15
- 27 逃げどきマップの判定フロー 15
- 28 逃げどきマップの判定フロー 15
- 29 逃げどきマップの判定フロー 15
- 30 逃げどきマップの判定フロー 15
- 31 逃げどきマップの判定フロー 15
- 32 逃げどきマップの判定フロー 15
- 33 逃げどきマップの判定フロー 15
- 34 逃げどきマップの判定フロー 15
- 35 逃げどきマップの判定フロー 15
- 36 逃げどきマップの判定フロー 15
- 37 逃げどきマップの判定フロー 15
- 38 逃げどきマップの判定フロー 15
- 39 逃げどきマップの判定フロー 15
- 40 逃げどきマップの判定フロー 15
- 41 逃げどきマップの判定フロー 15
- 42 逃げどきマップの判定フロー 15
- 43 逃げどきマップの判定フロー 15
- 44 逃げどきマップの判定フロー 15
- 45 逃げどきマップの判定フロー 15
- 46 逃げどきマップの判定フロー 15
- 47 逃げどきマップの判定フロー 15
- 48 逃げどきマップの判定フロー 15
- 49 逃げどきマップの判定フロー 15
- 50 逃げどきマップの判定フロー 15
- 51 逃げどきマップの判定フロー 15
- 52 逃げどきマップの判定フロー 15
- 53 逃げどきマップの判定フロー 15
- 54 逃げどきマップの判定フロー 15
- 55 逃げどきマップの判定フロー 15
- 56 逃げどきマップの判定フロー 15
- 57 逃げどきマップの判定フロー 15
- 58 逃げどきマップの判定フロー 15
- 59 逃げどきマップの判定フロー 15
- 60 逃げどきマップの判定フロー 15
- 61 逃げどきマップの判定フロー 15
- 62 逃げどきマップの判定フロー 15
- 63 逃げどきマップの判定フロー 15
- 64 逃げどきマップの判定フロー 15
- 65 逃げどきマップの判定フロー 15
- 66 逃げどきマップの判定フロー 15
- 67 逃げどきマップの判定フロー 15
- 68 逃げどきマップの判定フロー 15
- 69 逃げどきマップの判定フロー 15
- 70 逃げどきマップの判定フロー 15
- 71 逃げどきマップの判定フロー 15
- 72 逃げどきマップの判定フロー 15
- 73 逃げどきマップの判定フロー 15
- 74 逃げどきマップの判定フロー 15
- 75 逃げどきマップの判定フロー 15
- 76 逃げどきマップの判定フロー 15
- 77 逃げどきマップの判定フロー 15
- 78 逃げどきマップの判定フロー 15
- 79 逃げどきマップの判定フロー 15
- 80 逃げどきマップの判定フロー 15
- 81 逃げどきマップの判定フロー 15
- 82 逃げどきマップの判定フロー 15
- 83 逃げどきマップの判定フロー 15
- 84 逃げどきマップの判定フロー 15
- 85 逃げどきマップの判定フロー 15
- 86 逃げどきマップの判定フロー 15
- 87 逃げどきマップの判定フロー 15
- 88 逃げどきマップの判定フロー 15
- 89 逃げどきマップの判定フロー 15
- 90 逃げどきマップの判定フロー 15
- 91 逃げどきマップの判定フロー 15
- 92 逃げどきマップの判定フロー 15
- 93 逃げどきマップの判定フロー 15
- 94 逃げどきマップの判定フロー 15
- 95 逃げどきマップの判定フロー 15
- 96 逃げどきマップの判定フロー 15
- 97 逃げどきマップの判定フロー 15
- 98 逃げどきマップの判定フロー 15
- 99 逃げどきマップの判定フロー 15
- 100 逃げどきマップの判定フロー 15

逃げどきマップ判定フロー

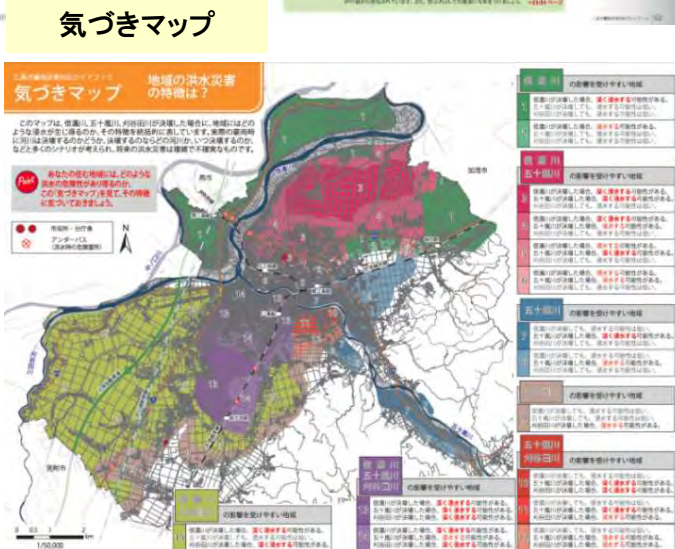


逃げどきマップ



ガイドブックに掲載されているマップ

- 1. 気づきマップ: 各河川が決壊した場合にどのような浸水が生じ得るのかをひとつの地図で示したもの
- 2. 逃げどきマップ: 自宅の場所や構造によりどのような備えや行動をとるべきかを河川ごとに地図で示したもの
- 3. 浸水想定区域図
- 4. 土砂災害危険箇所図



出典：三条市（三条市豪雨災害対応ガイドブック）HP「http://www.city.sanjo.niigata.jp/data/gyousei/heavyrainfall_hazard_guidbook/」

ハザードマップの工夫：災害時サポートガイドブック(福井県 鯖江市)

大規模な自然災害に対して、市民が自らの判断で行動できるように従来のハザードマップより一歩踏み込んだ、「災害時サポートガイドブック」を作成し、全戸配布している。**「行動指南型」のハザードマップにより、防災に関する知識が豊富でない住民の避難を促すことが期待できる。また、全戸配布しており市内の住民全員がガイドブックを受け取っている。**

市町で
実施可能

猪名川流域
での取組の発展

テレビ・現場
による情報提供

率先活動者
向けの情報

無関心層
向けの情報

鯖江地区版

鯖江市
Sabae City

常時保管
絶対に欠けないこと!!

洪水編

逃げ時 逃げ道 逃げ所

災害時サポートガイドブック
Disaster Support Guide Book

資料編

みんなでおえよう!

早めの行動
早めの避難

この冊子はあなたの家族と財産と生命を守ってくれます。
常に持ち出せる所に大切に保管して下さい。

いつ逃げるの? 逃げ時の判断

逃げ時

逃げ方

逃げ道

逃げ所

洪水編

逃げ道・逃げ所マップ (鯖江地区)

逃げ道 (避難ルート)

逃げ所

一時待避協力事業所

出典：福井県鯖江市HP「<http://www.city.sabae.fukui.jp/pageview.html?id=13524>」

大規模な自然災害に対して、市民が自らの判断で行動できるようにしていただくため、従来のハザードマップより一歩踏み込んだ、「災害時サポートガイドブック」を作成。

まるごとまちごとハザードマップの設置(猪名川流域総合治水協議会)

浸水実績の標識を設置している(平成17年度から運用開始し、H25.2時点で37箇所の標識が設置済み)。

過去の災害履歴をまちなかに表示することで、防災に関心な人にも浸水リスクを伝えることができる。

市町で
実施可能

猪名川流域
での取組の発展

テレビ・現場
による情報提供

率先活動者
向けの情報

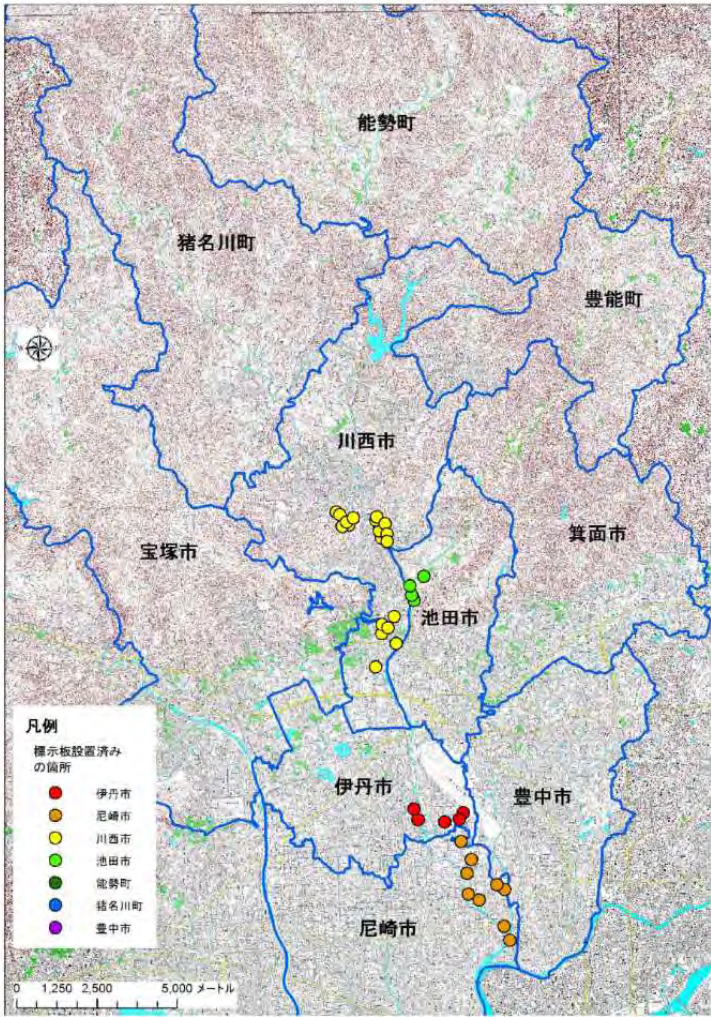
無関心層
向けの情報



実績浸水深の標識

実績浸水深の標識設置数

	S58年度			H24年度
	実績浸水深 調査箇所数 ①	実績浸水深 記録箇所数 ②	標示板設置数 ③	標示板設置数 (H25.2末現在) ④
尼崎市	10	10	9	9
伊丹市	19	19	5	5
川西市	95	94	20	19
宝塚市	7	0	0	0
猪名川町	10	2	0	0
豊中市	10	8	0	0
箕面市	10	0	0	0
池田市	13	13	5	4
豊能町	7	0	0	0
能勢町	11	3	0	0
計	192	149	39	37



表示板設置済みの位置

出典：猪名川流域総合治水協議会

まるごとまちごとハザードマップの設置：駅(民間施設)へ掲載（大山崎町）

人の集まる駅前(阪急大山崎駅)に、まるごとまちごとハザードマップを設置しており、防災に無関心な人でも現地で自然に情報が入り、過去の浸水履歴や想定浸水深を知り、浸水のイメージにつながることが期待できる。猪名川流域の市町では既に標識の設置がされているため、人が集まる場所への追加は比較的容易である。

市町で 実施可能	猪名川流域 での取組の発展	テレビ・現場 による情報提供
率先活動者 向けの情報		無関心層 向けの情報



まるごとまちごとハザードマップの広報：事務所HPで紹介(姫路河川国道事務所)

まるごとまちごとハザードマップの設置場所を事務所HPで公開しており、住民にまるごとまちごとハザードマップの取組を知ってもらう場を設けている。

取組に関する情報を広報することで、多くの人に取組を知ってもらうことが期待できる。

市町で
実施可能

猪名川流域
での取組の発展

テレビ・現場
による情報提供

率先活動者
向けの情報

無関心層
向けの情報

加古川・揖保川



経緯

- 近年局地的豪雨により、全国各地で大きな被害が発生しています。特に平成21年8月には、台風第9号に伴う局地的豪雨により、姫路河川国道事務所管内の揖保川において、甚大な浸水被害が発生しました。このため、避難行動を促すことによって局地的豪雨の被害を軽減することを目的に「まるごとまちごとハザードマップ」をすすめています。

目的

- 浸水深や避難所等洪水に関する情報を洪水関連標識として「まちなか」に表示することにより、日常から洪水への意識を高めるとともに浸水深等の知識の普及を図り、防災時には安全かつスムーズな避難行動に繋げることを目的としています。

特徴

- ① 河川が氾濫した場合の浸水深を表示しています。
- ② 加古川・揖保川の取り組みとして河川情報（水位・雨量）の情報の入手先を表示しています。
- ③ 災害時の避難場所や、避難所までの距離を表示しています。



整備箇所

まるごとまちごとハザードマップが整備された場所を地図でみるができます
「まるごとまちごとハザードマップ」はこちら

加古川・揖保川

まるごとまちごとハザードマップ

戻る 全体表示 加古川地区 小野地区 たつの地区 関賀地区 曲里地区

管理番号 : 114

設置施設名 : 加古川公民館

住所 : 加古川市加古川町寺家町12-4

全景

詳細

まるごとまちごとハザードマップの広報:HMにまるまちHM設置場所の記載(東京都 北区)

洪水ハザードマップに「まるごとまちごとハザードマップ」の設置位置を記載している。
まるごとまちごとハザードマップに関する情報を記載することで、多くの人に取組を知ってもらうことが期待できる。

市町で
実施可能

猪名川流域
での取組の発展

テレビ・現場
による情報提供

率先活動者
向けの情報

無関心層
向けの情報



“くるゾウマーク”について

くるゾウマーク

「くるゾウマーク」は、「まるごとまちごとハザードマップ」が設置された場所を示しています。「まるごとまちごとハザードマップ」とは、ハザードマップに書かれた浸水深が実際にどれくらいの深さなのかを実感できるように、浸水の深さをまちなかに標識として表示したものです。不案内なところでも避難行動が取れるよう、避難所の情報も提供しています。共通の図記号が目印です。

実際に設置された「まるごとまちごとハザードマップ」の標識

まるごとまちごとハザードマップの工夫：浸水深記入シール（庄内川河川事務所・名古屋市）

まるごとまちごとハザードマップを設置した地区に、浸水深を記入するシールを提供している。

対象地区に全戸配布することで、防災意識の低い人にも自宅の浸水深を記入するためにハザードマップを確認してもらうことが期待できる。

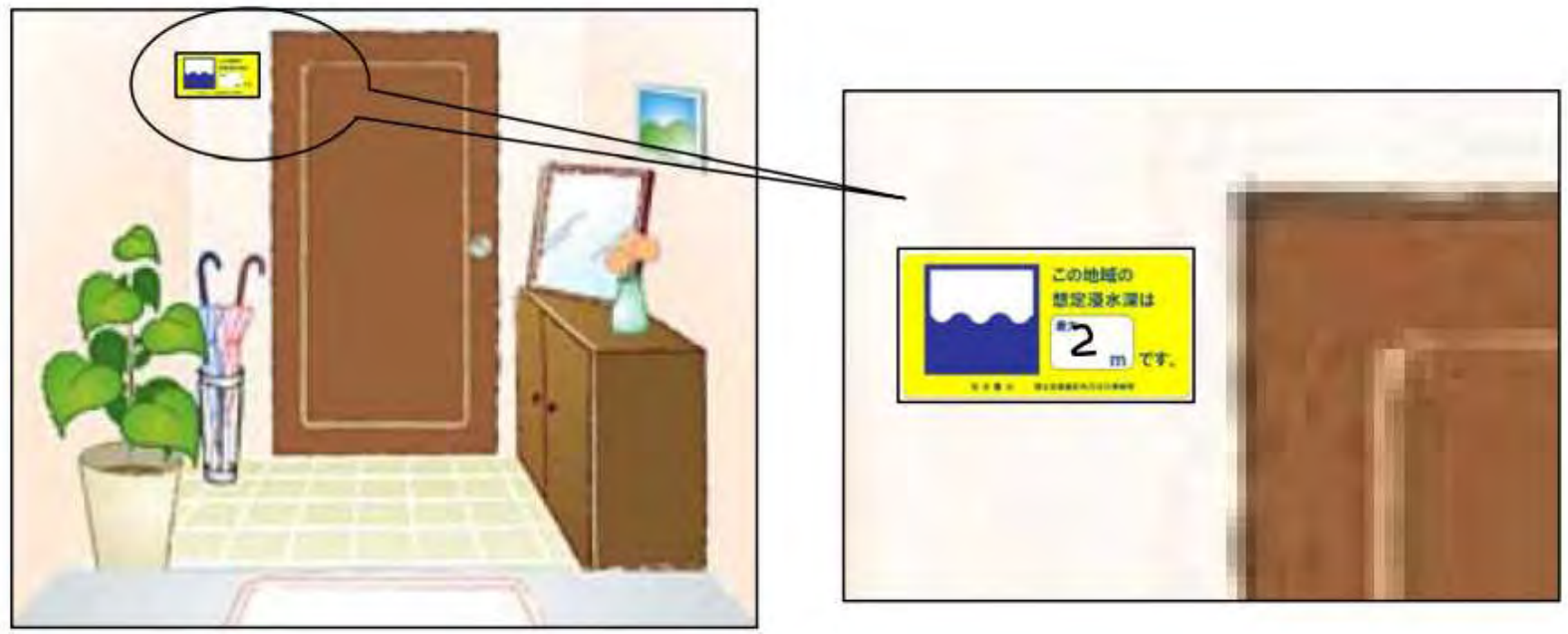
市町で
実施可能

猪名川流域
での取組の発展

テレビ・現場
による情報提供

率先活動者
向けの情報

無関心層
向けの情報



災害記録の公開:神戸市河川モニタリングカメラシステム(兵庫県 神戸市)

過去の増水時の水位上昇の様子が短時間で確認できるように公開されている。
短時間で伝わる情報はテレビ報道での活用が期待でき、防災に無関心な人への浸水リスクの伝達も期待できる。

市町で
実施可能

猪名川流域
での取組の発展

テレビ・現場
による情報提供

率先活動者
向けの情報

無関心層
向けの情報

トップページ > 過去の河川増水映像の記録

select language 言語を選択

過去の河川増水映像の記録

過去に神戸市内で起きた急激な河川増水の様子を早送りで表示しています。
映像からは、普段は穏やかな河川が豪雨によって一変する様子がわかります。
神戸市の市街地を流れる河川は、背後に六甲山がせまり勾配が急なため、上流の山間部で豪雨が降り続けると瞬く間に川が増水します。
大雨が予想されたり、雨が降り始めたりしたら、河川には絶対近づかないようにしましょう。

神戸市河川モニタリング
カメラシステム

トップページ >
カメラ一覧画面 >
カメラ一覧表 >
過去の河川増水映像の記録 >
サイトマップ >
気象・地震・津波情報 >

携帯版神戸市
河川モニタリング
カメラシステム

http://www.kobe-city-office.jp/kawa-camera/ktai.html

防災情報

神戸市
緊急・災害情報

神戸市
洪水ハザードマップ

都賀川 甲橋
(平成20年7月28日)

天上川 天上川橋
(平成20年7月28日)

山田川 西岡橋
(平成20年7月28日)

妙法寺川 上与市橋
(平成18年8月22日)

福田川 福田4丁目
(平成18年8月22日)

過去の増水の映像

インターネットサイト
出典：神戸市河川モニタリングカメラシステム「<http://kobe-city-office.jp/kawa-camera/archive.html>」

38

災害記録の公開：鬼怒川左岸堤防決壊の動画公開（関東地方整備局）

関東地方整備局のホームページでは、平成27年9月関東・東北豪雨における鬼怒川左岸堤防の決壊の動画及び静止画を公開している。
災害時の記録映像は、テレビ報道での活用が期待でき、防災に無関心な人への浸水リスクの伝達も期待できる。

市町で
実施可能

猪名川流域
での取組の発展

テレビ・現場
による情報提供

率先活動者
向けの情報

無関心層
向けの情報

国土交通省関東地方整備局

河川

道路

港・空港

都市・公園

建設産業

宮・蔵

用地

ホーム

河川

道路

港・空港

都市・公園

建設産業

宮・蔵

用地

ホーム

河川

道路

港・空港

都市・公園

建設産業

宮・蔵

用地

防災

関東地方を災害から守るため、また被害を小さくするための取り組みに関する情報のご案内です。

関東の災害対策

平成27年9月関東・東北豪雨関連情報

平成27年9月関東・東北豪雨(風水害対応)

『平成27年9月関東・東北豪雨』に係る鬼怒川の洪水被害及び復旧状況等について

→『平成27年9月関東・東北豪雨』に係る鬼怒川の洪水被害及び復旧状況等について(平成28年1月29日18:00時点)(PDF:11428KB)

【以前に掲載された資料はこちら】

応急復旧工事等に対する感謝状贈呈式 他

→ 記者発表資料

→ 次第

→ 座席表

→ 感謝状贈呈企業等一覧

→ 経過報告資料

→ 取組説明資料

→ 贈呈式等の状況写真

鬼怒川左岸21k付近の堤防決壊

下記の映像を転用する場合は「提供:国土交通省関東地方整備局」と記載してください。

→ 動画(鬼怒川左岸21k付近の堤防決壊 9月10日19時23分頃の映像)

→ 静止画(鬼怒川左岸21k付近の堤防決壊 9月10日12時53分頃の静止画)

→ 静止画(鬼怒川氾濫地点空撮写真 9月10日撮影)

出典：関東地方整備局HP「<http://www.ktr.mlit.go.jp/bousai/bousai00000091.html>」

39

災害記録の公開:過去の水害記録(東京都)

東京都で過去に発生した水害被害(昭和49年～)の状況について公開している。また、「地下空間浸水対策用浸水実績図」も区市町別に公開されており、過去の水害記録を知ること、水害リスクの存在を考えたことが無い防災に関心な住民であっても、地域の水害リスクを認知することが期待できる。

市町で
実施可能

猪名川流域
での取組の発展

テレビ・現場
による情報提供

率先活動者
向けの情報

無関心層
向けの情報

東京都建設局
The Bureau of Construction

過去の水害記録～浸水実績図～

このページは、東京都で過去に発生した水害被害の状況についてまとめたものです。

各年の水害記録 ※該当年をクリックして下さい。

各年の水害記録について検索ができます。

平成25年	平成26年	
平成24年	平成11年	昭和61年
平成23年	平成10年	昭和60年
平成22年	平成9年	昭和59年
平成21年	平成8年	昭和58年
平成20年	平成7年	昭和57年
平成19年	平成6年	昭和56年
平成18年	平成5年	昭和55年
平成17年	平成4年	昭和54年
平成16年	平成3年	昭和53年
平成15年	平成2年	昭和52年
平成14年	平成元年	昭和51年
平成13年	昭和63年	昭和50年
平成12年	昭和62年	昭和49年

事業別に見る

地下空間浸水対策用浸水実績図

平成元年～11年までの浸水実績図

平成12年～22年までの浸水実績図

東京を襲った大水害

カスリーン台風

ミズイ台風

狩野川台風

平成5年台風11号

お問い合わせ

東京都 平成24年の水害記録

水害の概要

水害の詳しい状況

災害発生日の雨量と水位

過去の水害記録
トップページに戻る



災害記録の公開:神戸の災害と戦災資料館(兵庫県 神戸市)

過去に神戸で起きた大きな水害の記録をHPで公開しており、**過去の水害記録を知ること、水害リスクの存在を考えたことが無い防災に無関心な住民であっても、地域の水害リスクを認知することが期待できる。**

市町で
実施可能

猪名川流域
での取組の発展

テレビ・現場
による情報提供

率先活動者
向けの情報

無関心層
向けの情報

神戸 災害と戦災 資料館

— 平和の尊さを次の世代へ —

◆神戸の戦災 ◆阪神・淡路大震災 ◆神戸の水害 ◆平和関連決議 ◆平和のモニュメント ◆掲載資料出典一覧

◆初めての方はこちら ◆資料ご提供のお願い ◆サイトマップ

文字サイズ変更 A A A Google 検索 WWWを検索 神戸市サイト内を検索 検索について

トップページ> 神戸の水害

神戸の水害

概要

写真から見る水害

データから見る水害

概要

写真から見る水害

データから見る水害

このページトップへ

<神戸 災害と戦災 資料館トップページへ>

神戸の戦災 | 阪神・淡路大震災 | 神戸の水害 | 平和関連決議 | 平和のモニュメント | 掲載資料出典一覧

初めての方はこちら | 資料ご提供のお願い | サイトマップ

神戸市行政局 行政監察部 庶務課

〒650-6570 神戸市中央区加藤町6-5-1神戸市役所1号館13階

Tel:078-322-5062 / Fax:078-322-6015 / E-Mail:gyousei@city.kobe.lg.jp

Copyright(C) City of Kobe, All rights reserved.

※本コンテンツに掲載している写真・図表・データ等の著作権は提供元に帰属します

※本コンテンツで使用している写真・図表・データ等の無断転用・無断転載は禁止します

写真(昭和42年水害)

神戸の水害 写真から見る水害

<昭和42年水害>



No.19

激しい暴流の川に変わった神戸市宇治川商店街。車も流木とともに押し流され立ち往生。<7月9日午後6時25分>

<神戸新聞社提供>

(Copyright:神戸新聞社)

<前の写真 | 次の写真>

No.01 No.02 No.03 No.04 No.05 No.06

神戸の水害 写真から見る水害

<昭和42年水害>



No.05

神戸市舞合区(現:中央区)市が原、ゴルフ場の崩壊(新生田川)

<毎日新聞社提供>

(Copyright:毎日新聞社)

<前の写真 | 次の写真>

No.01 No.02 No.03 No.04 No.05 No.06

水害の被害状況(昭和42年水害)

神戸の水害 データから見る水害

昭和42年水害

発生年月日	昭和42年(1967年)7月9日
雨量	1時間最大 75.80mm
総雨量	371.2mm (7日 10.1mm, 8日 41.7mm, 9日 319.4mm)
被害状況	
死者	77名
行方不明	15名
家屋倒壊流失	363戸
埋没	-
半壊	361戸
床上浸水	7,919戸
床下浸水	29,762戸

出典：神戸災害と戦災資料館HP「<http://www.city.kobe.lg.jp/safety/disaster/flood/flood01.html>」

42

災害記録の公開：震災写真アーカイブマップ(兵庫県 神戸市)

インターネットで、災害直後と現在の写真を比較することができる。また、スマートフォンをかざし、震災時の写真を確認できるアプリも公開している。水害リスクの存在を考えたことが無い防災に関心な住民であっても、ARによる被災のイメージや被災履歴により水害リスクを認知することができる。

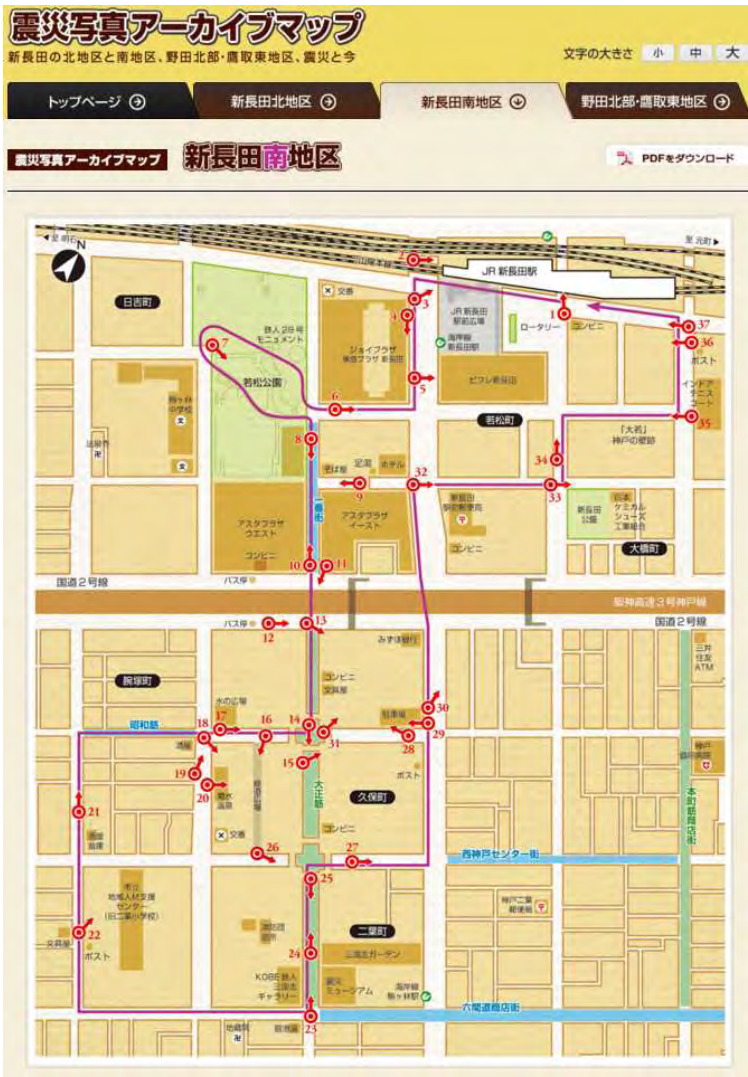
市町で
実施可能

猪名川流域
での取組の発展

テレビ・現場
による情報提供

率先活動者
向けの情報

無関心層
向けの情報



1. JR新長田駅高架

高架の両側が地盤沈下して 駅舎と線路が凹の形になっている

1-2. JR新長田駅高架

新長田駅下の高架トンネル(平成5年)

2. JR新長田駅西口

石垣が崩れかけている

3. ジョイプラザの前

ジョイプラザからJR新長田駅西口を望む(平成5年)

地点の被災直後と現在を並べて比較

スマートフォンでの情報提供

街を歩きながら、その地点の被災直後の写真が閲覧できる。

4

お持ちのスマートフォンを
外にのぞいて、「震災写真アー
カイブマップ」を探索してあ
らう。

5

ポイントの解説が現れます。「当時の写真を見る」をタップ
すると、大きな写真で震災当時の写真や震災当時の写真が
見られます。

6

画面に映し出しアイコン「エ
アタグ」が数字がされたらタ
ップしてみましょう。



←スマートフォン（アプリ）
で写真を確認

出典：震災写真アーカイブスマップ「<http://shinsai-ar.kobe-shashinkan.jp/index.html>」

災害記録の収集：四国災害アーカイブス

過去の災害に関する資料が保存、継承されていない、あるいは貴重な資料が十分に活用されていない状況に対して、インターネットにより過去の情報を収集、整理し、多くの人々に活用してもらえるように情報提供している。過去の水害記録を知ること、水害リスクの存在を考えたことが無い防災に無関心な住民であっても、水害リスクを認知することが期待できる。

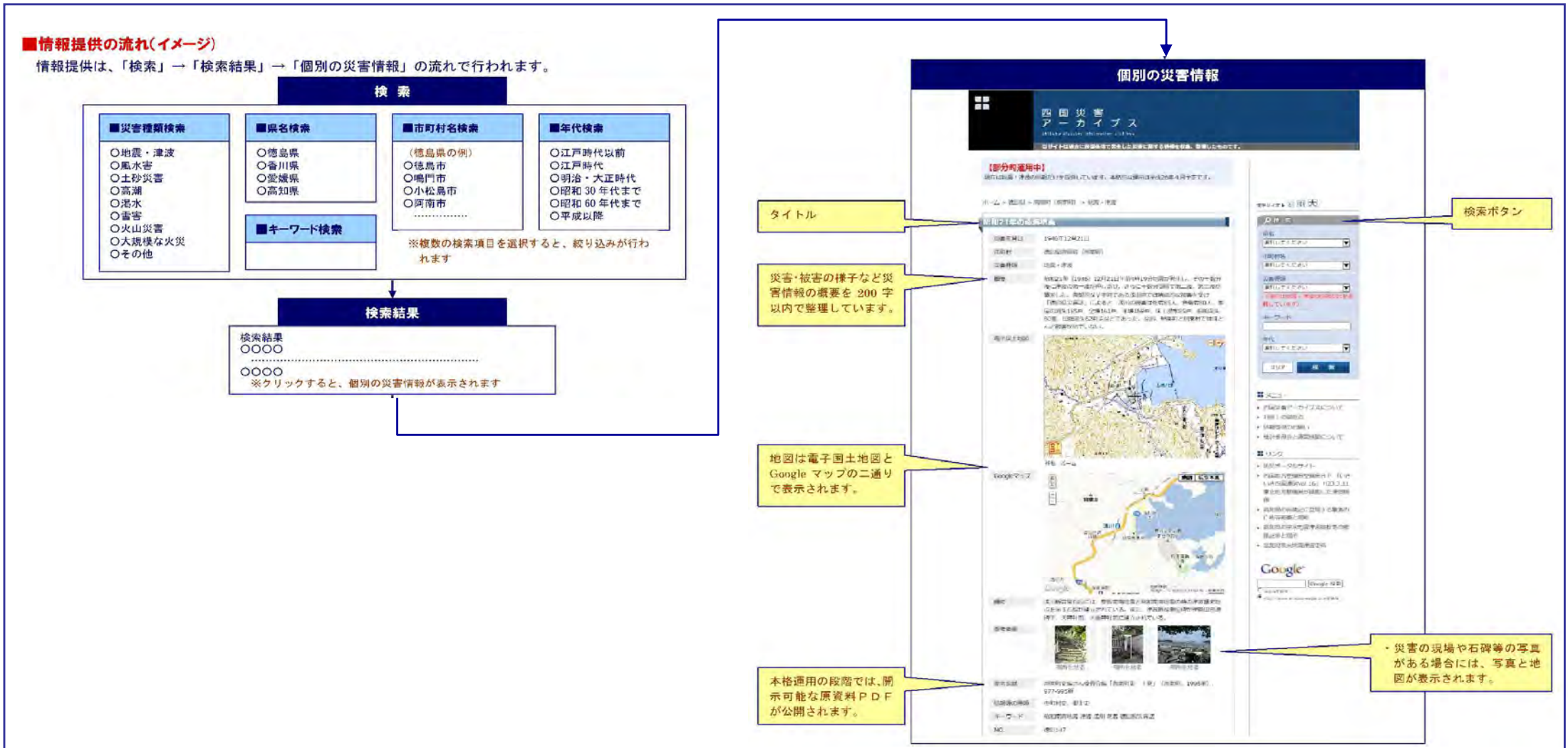
市町で
実施可能

猪名川流域
での取組の発展

テレビ・現場
による情報提供

率先活動者
向けの情報

無関心層
向けの情報



災害記録の収集：水害情報発信 ―水害の記録と記憶―（滋賀県）

地域の水害に対するリスク情報の共有を図るため、HP上で住民からの過去の被災写真の提供を募集し、被害状況を公開している。**過去の水害記録を知ることで、水害リスクの存在を考えたことが無い防災に関心な住民であっても、地域の水害リスクを認知することが期待できる。**

市町で
実施可能

猪名川流域
での取組の発展

テレビ・現場
による情報提供

率先活動者
向けの情報

無関心層
向けの情報

更新日：2013年11月18日

平成25年台風18号 被害の記録

平成25年9月15日～16日、当県に台風18号が襲来し、特別警報が発令され、県内に大きな被害をもたらしました。


地域防災力を強化するためには、まず、地域の水害に対するリスク情報の共有が必要です。今回、平成25年9月15日～16日にかけて県内に大きな被害をもたらした台風18号についても、詳細な被害の状況を記録し、今後の水害に対する対策の参考としたいと考えています。

県民の皆様からも、**台風18号にかかる水害写真等の提供をお願いしています。**

ここでは、被害の状況写真を掲載するとともに、あわせて地先の安全度マップ（時間最大雨量に近い規模の最大浸水深図）も示しています。

県民のみなさまからのご提供写真

近江八幡市六枚橋交差点付近



撮影日時・場所：平成25年9月16日 午前7時30ごろ

撮影状況等：「車が数台水没していた」とのことです。

米原市上丹生 丹生川17号上出橋付近



撮影日時：平成25年9月16日 午前10時ごろ

撮影状況等：「上流の神明神社のあたりから川があふれていた」とのことです。

京阪京津線追分駅



撮影日時：平成25年9月15日

滋賀県 Shiga Prefecture

文字サイズ 拡大 標準

サイト内検索

サイトマップ 携帯サイト

ホーム > 県政情報 > 広報 > 県政eしんぶん(報道資料) > 台風18号にかかる水害写真等の提供をお願いします

県政 eしんぶん 報道資料

公開日：2013年9月18日

台風18号にかかる水害写真等の提供をお願いします

地域防災力を強化するためには、まず、地域の水害に対するリスク情報の共有が必要です。

今回、平成25年9月15日～16日にかけて県内に大きな被害をもたらした台風18号についても、詳細な被害の状況を記録し、今後の水害に対する対策の参考としたいと考えています。「この道はずいぶん水が流れたので、通るときは注意が必要」「堤防のここであふれそうだったので、対策がいるのではない」「山や水路からこんなに水がでていた」。そんな情報も県にお寄せください。

台風18号にかかる水害写真等について県民のみなさまからのご提供をお願いします。

募集する写真・内容等

台風18号による降雨があった平成25年9月15日～16日の滋賀県内の様子。浸水した道路・街や増水した河川の様子等を写した写真をお寄せください。

写真には、以下の情報を添えてください。

- 撮影した方のお名前、ご連絡先(匿名を希望される場合はその旨をお知らせください。)
- 撮影した日時、撮影場所(なるべく具体的にお願いします。)
- 撮影した状況、水害を目の当たりにされた感想など
- 携帯電話で撮影したもので結構です。

送付先

電子メールの場合

滋賀県流域治水政策室 ryuiki@pref.shiga.lg.jp まで、画像データを添付して送ってください。

メールのタイトルは【台風18号写真】としてください。

紙媒体の場合

〒520-8577 大津市京町四丁目1-1 滋賀県土木交通部流域政策局流域治水政策室 までにお送りください。

封筒に【台風18号写真】と明記してください。

出典：滋賀県HP（平成25年台風18号被害の記録）「<http://www.pref.shiga.lg.jp/h/ryuiki/taifu18/photo.html>」

災害記録の収集：Google－未来へのキオク

震災で失われた美しい風景や、懐かしい景色、また、写真・動画などの思い出を、インターネット上の写真・動画共有サービス(Picasa / YouTube)に投稿して公開している。過去の災害記録を知ることで、水害リスクの存在を考えたことが無い防災に無関心な住民であっても、地域の水害リスクを認知することが期待できる。

市町で
実施可能

猪名川流域
での取組の発展

テレビ・現場
による情報提供

率先活動者
向けの情報

無関心層
向けの情報



東北の今を「知る」 未来へのキオク

震災前、震災直後から 2015 年までのストリートビューで、東北の被災状況とその後の歩みを知る。



場所: 宮城県宮城郡七ヶ浜町七ヶ浜七ヶ浜町
キーワード: 風景 震災前
このキオクをシェア:
G+ ツイート シェア
埋め込みコード:

セイルヨットの前の宮城からの映像。日の出前から釣を楽しんでいる人達。セイルヨットも道路が今は無くなってしまいました。

室浜に昇る天の川
震災前の2月。この時期にしか見れない天の川を撮りました。

場所: 宮城県東松島市宮戸宮戸62宮戸
キーワード: miraikoku 宮城県 東松島市 宮戸
星空 天の川 金星 風景
このキオクをシェア:
G+ ツイート シェア

(3) 円滑かつ迅速な避難に資する施設整備に関する事項

■避難行動のための情報発信等

スマホを活用した情報発信：緊急速報メールを活用した洪水情報のプッシュ型配信(国土交通省)

携帯電話事業者が提供する「緊急速報メール」のサービスを活用して洪水情報を携帯電話ユーザーへ周知するものであり、水害時に流域住民の主体的な避難を促進する取り組みとして国土交通省が実施している。**防災に関心ない人に対しても、洪水情報が自動的に入ってくる仕組みとなっており、防災の知識が少ない人でも避難行動をとることが期待できる。**

市町で
実施可能

猪名川流域
での取組の発展

テレビ・現場
による情報提供

率先活動者
向けの情報

無関心層
向けの情報

緊急速報メールを活用した洪水情報のプッシュ型配信

～平成28年9月5日から、一部の地域で洪水情報が緊急速報メールで配信されます～

国土交通省では、「水防災意識社会 再構築ビジョン」のもと、流域住民の主体的な避難を促進するため、平成28年9月5日から、国が管理する2河川（鬼怒川、肱川）の流域自治体（茨城県常総市、愛媛県大洲市）において、携帯電話事業者が提供する「緊急速報メール」を活用した洪水情報のプッシュ型配信（以下、「メール配信」という）を開始します。



洪水情報のプッシュ型配信イメージ

※今回のメール配信は、国土交通省が発信元となり、携帯電話事業者が提供する「緊急速報メール」のサービスを活用して洪水情報を携帯電話ユーザーへ周知するものであり、水害時に流域住民の主体的な避難を促進する取り組みとして国土交通省が実施するものです。

○常総市へ配信される鬼怒川の洪水情報の例

①河川氾濫のおそれ

【見本】

（件名）
河川氾濫のおそれ
（本文）
鬼怒川で氾濫のおそれ
鬼怒川の川島（筑西市）付近で、水位が上昇し、避難勧告等の目安となる「氾濫危険水位」に到達しました。堤防が壊れるなどにより浸水のおそれがあります。防災無線、テレビ等で自治体の情報を確認し、各自安全確保を図るなど、適切な防災行動をとってください。
このメールは、常総市域に配信しています。
（国土交通省）

②-i 河川氾濫発生 （河川の水が堤防を越えて流れ出ている時）

【見本】

（件名）
河川氾濫発生
（本文）
鬼怒川で氾濫発生
鬼怒川の〇〇市〇〇地先（左岸、東側）付近で河川の水が堤防を越えて流れ出しています。防災無線、テレビ等で自治体の情報を確認し、各自安全確保を図るなど、適切な防災行動をとってください。
このメールは、常総市域に配信しています。
（国土交通省）

②-ii 河川氾濫発生 （堤防が壊れ、河川の水が大量に溢れ出している時）

【見本】

（件名）
河川氾濫発生
（本文）
鬼怒川で氾濫発生
鬼怒川の〇〇市〇〇地先（左岸、東側）付近で堤防が壊れ、河川の水が大量に溢れ出しています。防災無線、テレビ等により自治体の情報を確認し、各自安全確保を図るなど、適切な防災行動をとってください。
このメールは、常総市域に配信しています。
（国土交通省）

スマホを活用した情報発信：防災メールの配信（福岡県）

住民の防災の意識を高めるため、大人にも子供にも親しまれるキャラクターを設定した、災害情報の配信サイト「まもるくん」を設立している。登録した人に対して注意報や警報、避難勧告等がメールで通知される仕組みとなっている。登録が必要となるが、台風や大雨の情報、避難情報等が送信されることで、防災意識の高い人の率先的な行動が期待できる。

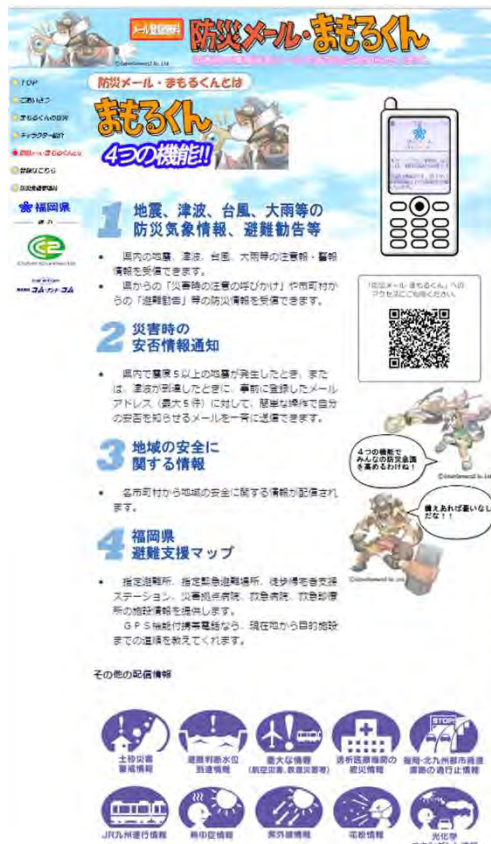
市町で
実施可能

猪名川流域
での取組の発展

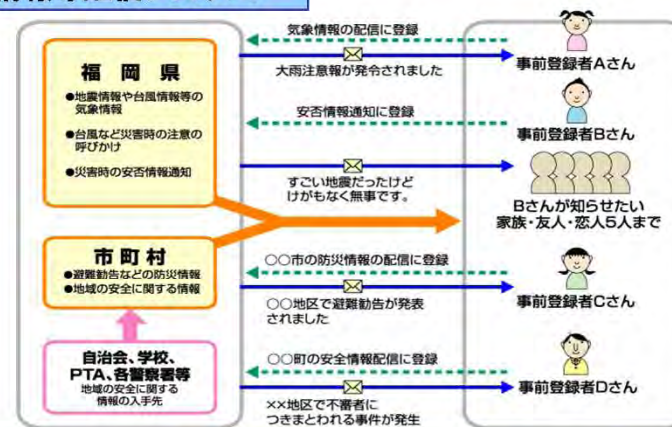
テレビ・現場
による情報提供

率先活動者
向けの情報

無関心層
向けの情報



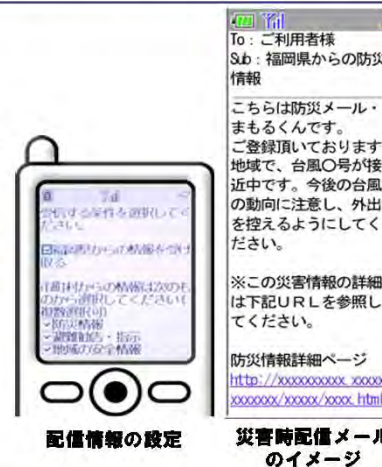
防災情報等配信システム



防災安全情報

・福岡県、福岡県内各市町村が把握、管理する情報(河川の氾濫の恐れ、土砂災害の恐れなどの自然災害情報や災害予防に役立つ情報など)を配信。

・事前に福岡県からの情報、市町村からの防災情報、避難勧告・指示、地域の安全情報から、必要な情報を選択可能。



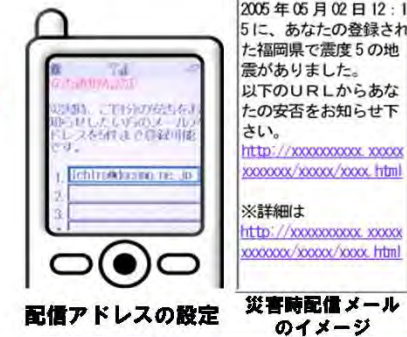
防災安全情報

・福岡県防災気象情報は、気象庁が発表する情報を日本気象協会よりオンライン接続にて配信。
・地震情報、津波情報、台風情報、注意報・警報の各情報が連携しており、必要な情報のみを受信可能。
(例えば地震情報は震度3以上、注意報情報はいらないから警報情報以上とする、などの設定が可能)



災害時の安否情報通知

- ・利用登録時にあらかじめ自信の安否を知らせたいメールアドレスを登録しておく、災害時に安否確認メールがスムーズに配信できる。
- ・輻輳により通話が困難な際に役立つシステムとしている。



※熊本県八代市においては緊急情報配信システムにて気象情報、台風情報等が携帯電話で受信できる。

スマホを活用した情報発信：防災メールの配信（熊本県 熊本市）

熊本県では、携帯電話やパソコンに気象情報や河川水位情報を配信する「熊本県防災情報メールサービス」を、熊本市でも「熊本市災害情報メール」を開始している。

登録が必要となるが、水位等の情報が送信されることで、防災意識の高い人の率先生的な行動が期待できる。

市町で
実施可能

猪名川流域
での取組の発展

テレビ・現場
による情報提供

率先活動者
向けの情報

無関心層
向けの情報

熊本県防災情報メールサービス

熊本県では、携帯電話やパソコンに気象情報や河川水位情報を配信する「熊本県防災情報メールサービス」を平成21年9月1日より運用している。

事前の登録が必要であり、登録料・情報量は無料となっている。

登録方法・特徴

- メールサービスは、事前の登録が必要です。
- 防災活動などで必要な情報を、登録者が自由に選択可能。
- 受信する情報の地域も選択可能。
- 登録後に、配信情報の変更(解除)もいつでも自由に可能。
- 登録されたメールアドレス等は暗号化して管理。セキュリティもしっかり！
- 将来的に、市町村が行う避難勧告情報や危機管理などの情報も追加予定。

配信する情報

気象警報・注意報

- 県内の警報や注意報を配信
- 種類を任意に選択できます
- 気象台から発表された時に配信

地震情報

- 県内で震度3以上の地震が発生した場合に配信されます
- 必要な震度(3～7)を選択可能

河川水位情報

- 県内の河川水位観測局で、水位が基準値を超えた時に配信
- 避難判断水位ははん濫危険水位

土砂災害警戒情報

- 土砂災害の危険性が高くなった場合に気象台から発表されます
- 情報は市町村毎に発表されます

津波情報

- 県内の沿岸地域に「津波注意報や津波警報、大津波警報」が発表された場合に配信

火山噴火情報

- 阿蘇山に噴火警報が発表された場合に配信

電巻注意情報

- 県内で電巻発生危険性が高いと予測された時に配信します
- 発表情報は、1時間有効です

《準備が整った次第配信予定》

- 避難勧告情報 → 市町村が避難勧告等を発表した場合に配信
- 危機管理などの情報 → 武力攻撃や人命などに危険がある場合に配信
- 防災に関する重大な情報 → 災害の危険性が高い場合などの事前呼びかけ等

熊本市災害情報メール

熊本市では、携帯電話などのメールを活用し、各種災害情報や気象情報などを知らせする「熊本市災害情報メール」を平成18年12月15日より運用している。

事前の登録が必要であり、登録料・情報量は無料となっている。

【配信する情報】

- 緊急防災情報
避難指示・勧告などの情報を配信する。
- 防災情報
大雨情報や避難所開設情報、光化学スモッグなどに関する情報を配信する。
- 気象情報
地震、津波、火山、台風、注意報・警報の情報（地震、火山、注意報・警報の情報は配信レベルを設定できる。）
- 消防情報
火災情報とその他の出動（救急除く）情報を配信する（火災情報とその他の出動情報をそれぞれ小学校区ごとに選択できる）。
- お知らせ情報
防災・消防等に関する平常時のお知らせ情報を配信する。

配信災害情報メールの例

緊急防災情報

防災情報

気象情報

消防情報(火災情報)

消防情報(その他の出動)

出典：熊本県防災情報メールサービス登録案内HP「<http://www.anshin.pref.kumamoto.jp/>」
熊本市防災情報メール登録案内HP「<https://www2.fastalarm.jp/kumamoto/htdocs/>」

スマホを活用した情報収集：地域住民による浸水情報収集と共有（猪名川河川事務所）

住民が携帯電話を使い浸水状況を報告して、地点登録している人にその情報をメール配信する仕組みがある。

率先活動者が現場での被災状況を報告することで地点登録者に情報が伝達され、登録者の防災行動が期待できる。

市町で
実施可能

猪名川流域
での取組の発展

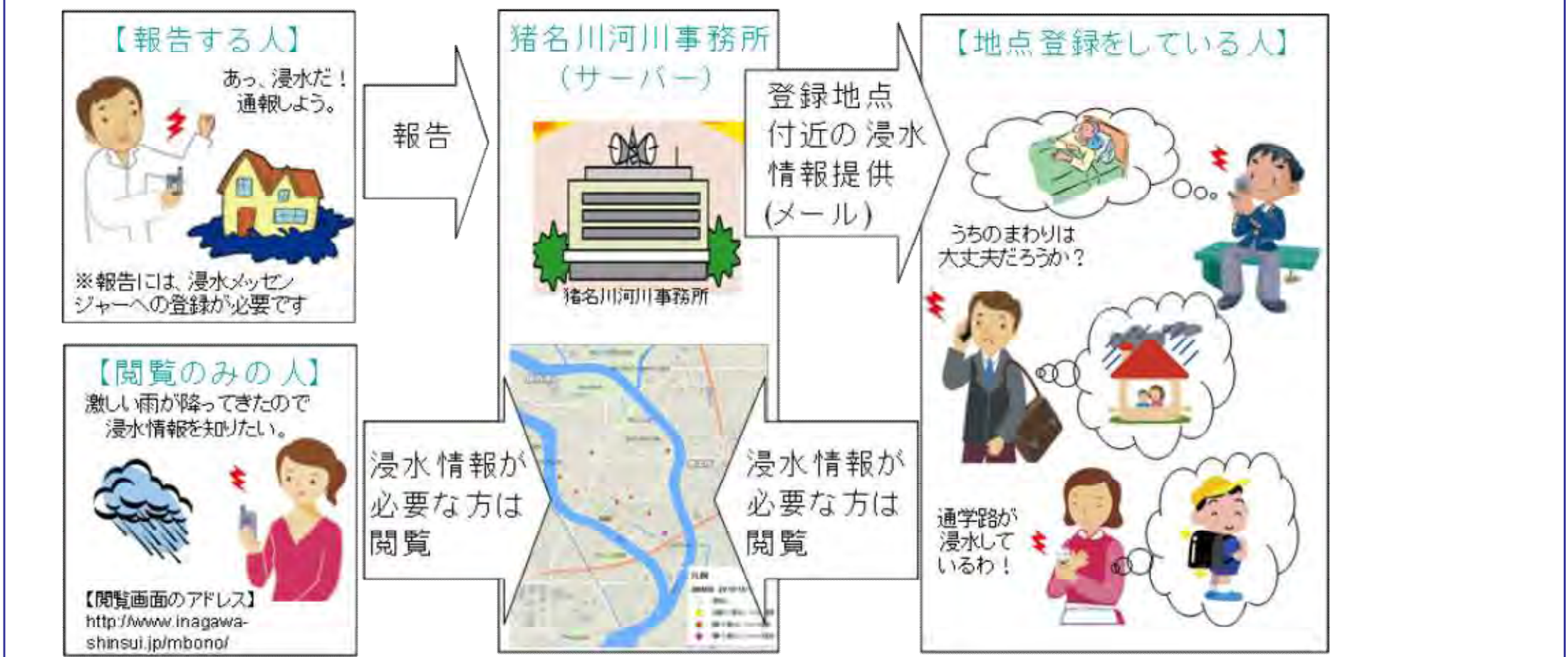
テレビ・現場
による情報提供

率先活動者
向けの情報

無関心層
向けの情報

猪名川浸水メッセンジャー（猪名川河川事務所）

従来、出水時の浸水状況は自治体・消防・警察から情報を収集していたが、行政が情報を集める視点ではなく、地域の情報を市民が自ら得るという「自助・共助」の視点で、浸水メッセンジャーのシステムを構築した。平成24年4月から運用が開始されている。



スマホを活用した情報収集:なごや減災プロジェクト(愛知県 名古屋市)

インターネット(パソコン・モバイル)で提供するコンテンツとして、①リポート(市民から寄せられた情報)の閲覧・投稿、②過去のリポートの閲覧、③減災メールの配信の三つで、無料で利用できる。防災意識に限らず、普段から気象状況を報告・確認している人々による被災現場の状況のリポートやその情報の受信により、登録者の防災行動が期待できる。

市町で
実施可能

猪名川流域
での取組の発展

テレビ・現場
による情報提供

率先活動者
向けの情報

無関心層
向けの情報



この取り組みは、名古屋市にお住まいの皆さん、市職員、ウェザーニュースの利用者によって市内で観測された情報や、気象災害時の被害情報などを共有し、市民自らが自分に必要な情報を得ることで、自助・共助活動を支援。気象災害による被害を減らす「減災」を目指しています。

※ なごや減災プロジェクトは、名古屋市とウェザーニュースが共同で推進する事業です

リポートで今の名古屋を知る

被害発生・場所の特定
日常の天気や体感、季節情報がわかる

リポートで今の名古屋を伝える

市民、市職員自ら情報発信

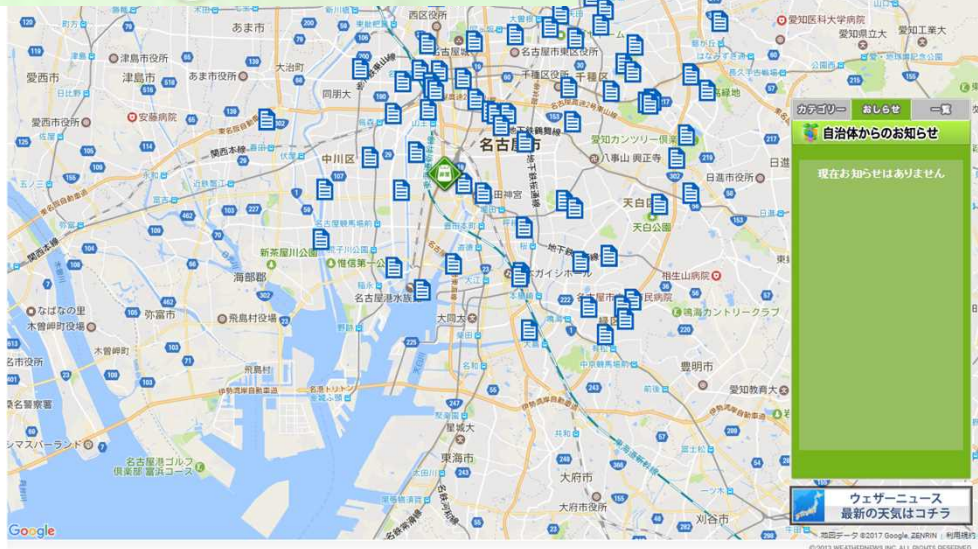
地元の過去の災害を知る

市民目録の災害事例がわかる

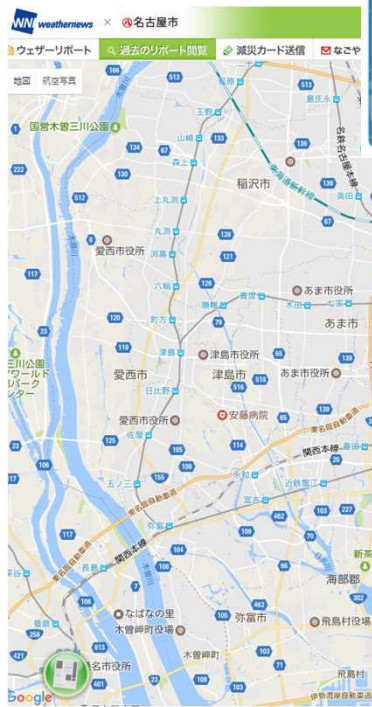
メールで今後を知る

過去の災害発生と同じ状況に
なったらメールで受ける

参加



ウェザーリポート



過去のリポート閲覧

出典：ウェザーニュース（なごや減災プロジェクト）HP「http://weathernews.jp/gensai_nagoya/#」

スマホを活用した情報収集:コンビニ・タクシーと連携した情報収集(出雲河川事務所)

斐伊川・神戸川流域において洪水時の情報をいち早く収集するために、地域のコンビニエンスストアやタクシー組合に協力を依頼し、情報収集体制を強化している。

昼夜問わず営業しているコンビニに住民が河川の異常を伝えることで河川管理者が状況を迅速に把握し、対策を講じることが可能となり、地域住民の安全を守ることに繋がる。

市町で
実施可能

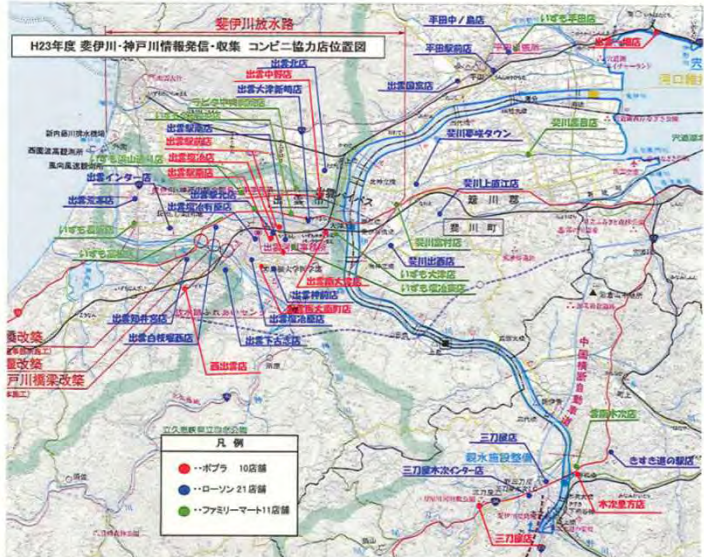
猪名川流域
での取組の発展

テレビ・現場
による情報提供

率先活動者
向けの情報

無関心層
向けの情報

- コンビニエンスストア
(平成23年度 協力店舗)
ポプラ 18店 ローソン 38店 ファミリーマート 11店
- ※店舗入口にステッカーを貼り、事務所直通の災害情報フリーダイヤルに電話してもらうことにより、きめ細かいリアルタイムの河川状況の把握を実施
- タクシー
(平成12年度～)
出雲地区旅客自動車事業共同組合
※加盟店13社
- ※タクシー乗務員に河川の洪水時における異常と思われる情報を提供してもらうことにより、リアルタイムでの河川状況の把握を実施



店舗入口にポスターを掲示



コンビニに貼ってあるポスター



タクシーに貼ってあるステッカー

出典：出雲河川事務所HP「<http://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/release/h23/files/110623kasennbousai24ji.pdf>」

Webによる情報提供の工夫:災害時のウェブサイトの簡素化及び情報管理(京都市)

京都市のWebサイト(京都市防災危機管理情報館)は、通常はさまざまな情報にアクセスできるよう多くのリンク等で構成されているが、災害時は災害情報に特化した画面に切り替わる仕組みとなっており、**災害時に必要な情報に簡易にアクセスできるように工夫されている。**

市町で
実施可能

猪名川流域
での取組の発展

テレビ・現場
による情報提供

率先活動者
向けの情報

無関心層
向けの情報



京都市危機管理情報館

災害時緊急画面

京都市災害対策本部設置中

京都市防災危機管理情報館トップページはこちら

避難情報 気象情報 警戒情報 河川情報 土砂警戒情報 通行障害情報 災害対策本部

避難情報 大雨で避難情報が出た場合は、指定避難場所又は建物の2階以上に避難してください。

地区	避難情報	避難情報発表中の地域
京都市北区	—	
京都市上京区	—	
京都市左京区	—	
京都市中京区	—	
京都市東山区	—	
京都市山科区	—	
京都市下京区	—	
京都市南区	—	
京都市右京区	—	
京都市西京区	—	
京都市伏見区	—	

気象情報 京都市内に 気象注意報・気象警報の発表はありません。

警戒情報 ただいま緊急情報はありません

河川情報 川の近くにお住まいの方はご注意ください。

土砂警戒情報 土砂災害が発生しやすくなっている行政区をお知らせします。
2016年03月18日 10時40分 現在

地区	発表
京都市北区	—
京都市左京区	—
京都市東山区	—
京都市山科区	—
京都市右京区	—
京都市西京区	—
京都市伏見区	—

通行障害情報 通行止めの情報などをお知らせします。
京都市内の主な通行止めの箇所
現在の通行止めは以下のページでご確認ください。
京都市内の主な道路の通行止めの箇所について

出典：京都市防災危機管理情報館HP「<http://www.bousai-kyoto-city.jp/bousai/index.html>」

Webによる情報提供:愛知県XバンドMPレーダ雨量情報(愛知県)

愛知県独自の「愛知県XバンドMPレーダ雨量情報」をインターネットにより公開している。流域界が表示されており、流域内での降雨が確認できる。情報を理解するためには「流域」という概念を知っている必要があるが、上流域での局地的な大雨や集中豪雨による下流域への警戒に役立てることができる。

市町で
実施可能

猪名川流域
での取組の発展

テレビ・現場
による情報提供

率先活動者
向けの情報

無関心層
向けの情報



出典：愛知県HP「<http://www2.kasen-owari.jp/xband/?map=8500230000#zoom=9&lng=136.99676513671875&lat=35.003003395277496&data=now60&time=2017-02-06-15-00&intv=5>」

Webによる情報提供：住民向けのリアルタイム水位予測情報（仙台河川国道事務所）

仙台河川国道事務所HP「五間掘川浸水情報システム」で3時間先までの浸水予測結果を提供しており、防災意識の高い率先活動者の早期行動開始が期待できる。

市町で
実施可能

猪名川流域
での取組の発展

テレビ・現場
による情報提供

率先活動者
向けの情報

無関心層
向けの情報



出典：仙台河川国道事務所HP「<http://www.thr.mlit.go.jp/sendai/shinsui/index.html>」

Webによる情報提供：猪名川ライブカメラ(猪名川河川事務所)

猪名川河川事務所HPから10分毎のライブカメラの映像が閲覧できる(現在8箇所を設置)。
災害時の河川の状況を把握することができるため、防災意識の高い率先活動者の早期行動開始が期待できる。

- 市町で
実施可能
- 猪名川流域
での取組の発展
- テレビ・現場
による情報提供
- 率先活動者
向けの情報
- 無関心層
向けの情報

猪名川ライブ

猪名川ライブカメラの映像閲覧は、ライブカメラマップのカメラ名をクリックしてください。
※画像情報は10分毎に更新されますが、機器類の点検等により表示されない場合があります。



出典：猪名川河川事務所HP「<http://www.kkr.mlit.go.jp/inagawa/live/>」

多様なメディア等を活用した情報発信：SNSによる情報発信（長野県 佐久市）

市民が発信した情報を各方面にフィードバックして拡散させて住民の行動を促しており、市が発信した情報を率先活動者が拡散することで防災意識の低い人にも情報が伝わることが期待できる。

市町で
実施可能

猪名川流域
での取組の発展

テレビ・現場
による情報提供

率先活動者
向けの情報

無関心層
向けの情報

2014年2月大雪の際、佐久市長のTwitterを使い、市民から情報収集し対策に活用



現地での情報提供:河川情報表示板(鶴田ダム管理所)

平常時には地域や学校の応援メッセージを表示している。災害時には現地でダムに関する情報を確認することができる。

市町で
実施可能

猪名川流域
での取組の発展

テレビ・現場
による情報提供


率先活動者
向けの情報

無関心層
向けの情報

情報表示板のあり方



鶴田ダム管理所では、これまで情報表示板等の施設を用いて警察や消防から依頼があった場合、「交通安全週間」や「人権問題啓発週間」といった表示を行ってきました。今年度からの取り組みとして、**地域の皆様に情報表示板をより身近に感じて頂くため、地域や学校のイベント等への応援メッセージを表示しています。**

【盈進小学校】 持久走大会応援メッセージ



川内川の国を豊かに
溢して進む盈進小
持久走大会

【湯田地区】 足湯発掘プロジェクト



みやんじは温泉
足湯
プロジェクト

足湯発掘で
宮之城温泉街を
PR

これからも情報表示板を活用し、「そこに鶴田ダムの情報表示板がある」ことを認識して頂くため、地域貢献を行う一つの形として活動いきます。

現地での情報提供: 荒川の水位をリアルタイムで点灯表示(東京都 江戸川区)

荒川の水位をリアルタイムで観測し水害に備えることを目的に、国土交通省荒川下流河川事務所と江戸川区が協力し、江戸川区役所前に「荒川河川水位表示塔」が設置されている。河川から離れた場所でも水位情報をリアルタイムで知ることができる。また、人が集まる区役所前に設置することで、防災に関心な人に河川について知ってもらうことが期待できる。

市町で
実施可能

猪名川流域
での取組の発展

テレビ・現場
による情報提供

率先活動者
向けの情報

無関心層
向けの情報



水位表示塔

江戸川区

Home 音声読み上げ・文字拡大 Multilingual 携帯サイト サイトマップ

検索について 検索

くらし・手続き 子育て・教育 健康・福祉 環境・まちづくり 産業・しごと 施設ガイド 地域情報 区政情報

現在のページ トップページ 地域情報 街の話題(ホットニュース) 平成21年 荒川河川水位表示塔、区役所前に設置

荒川河川水位表示塔、区役所前に設置

更新日: 2013年8月30日

荒川の水位をリアルタイムで点灯表示

三方を荒川・江戸川・東京湾に囲まれ、陸地の7割がゼロメートル地帯である江戸川区。ひとたび堤防が決壊すると、区内のほぼ全域が水没すると予測されています。そこで、荒川の水位をリアルタイムで観測し水害に備えることを目的に、国土交通省荒川下流河川事務所と江戸川区が協力し、江戸川区役所前に「荒川河川水位表示塔」を設置しました。

本区は水害に対する区民の意識を啓発しようと、平成17年度から、小中学校の校舎や公園、堤防など区内174か所に「潮位標示板」を設置してきました。この標示板には、本区へ水害をもたらした昭和24年のキティ台風の最高潮位などが示されています。

また昨年には、江戸川・利根川・荒川が氾濫した場合の、浸水が予測される地域を示した「洪水ハザードマップ」を全戸に配布するなど、絶えず洪水や高潮といった「水の脅威」にさらされていることを区民に知らせてきました。

今回設置された「荒川河川水位表示塔」は、平成19年に開催された「全国川サミットin荒川」を機に、同河川事務所と本区が協力して設置することを決定。同河川事務所が設置し、本区が今後の維持管理を行います。表示塔の設置は、他の川や海を表示塔も含めて、本区で初めてです。

表示塔は幅60センチメートル、奥行90センチメートル、高さ7.12メートルです。光ケーブル配線で、同河川事務所とつながれており、リアルタイムで荒川の現状水位が電光掲示板に青いランプの点灯で示されるようになっています。点灯の間には電光掲示板に「大雨・洪水・暴風警報」など気象情報などを知らせることもできます。

同河川事務所とつないだ光ケーブル配線は、同時に本庁舎の中にある区防災センターにもつなぎ、これにより防災センターでも常に荒川の水位を観測できるようになったほか、区と同河川事務所とを結ぶ光ケーブル配線のテレビ電話がひかれ、災害時に有効な通信手段の確保ができました。

また、表示塔は区内175か所目となる「潮位標示塔」も兼ねており、塔には6本のラインが引かれています。

一番下の青いラインは、大潮の干潮位であるA.P.プラスマイナス0メートル(A.P.:アラカワレベル、荒川の水位の基準としている単位)、その上の水色のラインは大潮時の満潮位A.P.プラス2.1メートルです。

その上の3本のラインは過去に本区へ被害をもたらした台風などの潮位を表しています。黄色のラインは昭和24年のキティ台風の最高潮位、オレンジ色のラインは昭和54年の台風20号の最高潮位、紫のラインは大正6年の大津波、高潮の最高潮位です。

表示塔の最も高い位置にある赤いラインは、現在の高潮対策の基準となっているA.P.プラス5.1メートルを示し、これは昭和34年9月に名古屋地方に最大の被害をもたらした伊勢湾台風と同程度の台風が、最悪のコースで襲来した場合の高潮の潮位を想定したものです。

今日10日には、多田正見江戸川区長、田島進江戸川区議会議員、佐々木淑充荒川下流河川事務所長が立ち会ひの下、表示塔の点灯式が行われ、区議員や区民など約200人が参加しました。

多田区長は「江戸川区は常に水に対して備えをしておかなければならない土地です。これまで多くさんの区民の皆さんのご協力の下、堤防の強化や街づくりなどが行われてきました。今後も表示塔を大いに役立てて水害対策に努めていきたいと思います。」と挨拶しました。その後「3・2・1・・・」とカウントダウンが行われ、3人が同時に点灯スイッチを押すと、表示塔の約170センチメートルの位置まで青いランプが点灯しました。

(1) 情報伝達、避難計画等に関する事項

- 役割分担を明確にしたタイムラインの策定・活用等
- 広域避難への対応について
- 各市連携した情報共有を図っていく

情報の読み取り方：常総市でマイ・タイムライン検討会を実施(鬼怒川・小貝川減災対策協議会)

検討会では、「マイ・タイムラインノート(教材)」に沿って「地区のリスクを知る～洪水時の情報を知る」などのステップを踏み、参加者自身にあったタイムラインを考えている。

災害時に、率先活動者がタイムラインに沿った早い段階での防災行動をとることで、周辺住民への早期行動が波及することが期待できる。

市町で
実施可能

猪名川流域
での取組の発展

テレビ・現場
による情報提供

率先活動者
向けの情報

無関心層
向けの情報

検討会の進め方

ステップ1 自分たちの住んでいる地区の洪水リスクを知る

過去の水害を知る
地形の特徴を知る
水害リスクを知る

ステップ2 洪水時に得られる情報を知り、タイムラインの考え方を知る

洪水時に得られる情報とその読み解き方を知る
タイムラインの考え方を知る
洪水時の自らの行動を想定

ステップ3 マイ・タイムラインの作成

一人ひとりのタイムラインを作成

これで、逃げる
タイミングが
わかったわ！

マイタイムラインノート

常総市 地区 家 鬼怒川マイ・タイムライン

作成年月日 年 月 日

3日前

行政情報
(黒:気象・水害情報 青:下館河川事務所 緑:常総市)

○台風予報
○台風に関する栃木県、茨城県気象情報(随時)

○テレビの天気予報を注意

○家族全員の今後の予定を確認

○マイ・タイムラインを確認
○防災グッズの準備(不足があれば買い出しへ)

○1週間分の薬を病院に受け取りに行く

○家の周りに風で飛ばされないようなものは確認

○テレビ、インターネット、携帯メール等で雨や川の様子に注意

○家族全員の今後の予定を再確認

○携帯電話の充電

2日前

○大雨注意報・洪水注意報

○台風に関する今後の見通し

○大雨警報・洪水警報

上流域(日光等)での大雨特別警報

水防団待機水位到達

はん雲注意水位到達

洪水予報(はん雲注意情報)発表

○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認

○隣町の親戚の家に家族みんなで避難することを電話

○携帯電話の充電

○川の水位をインターネットで確認

○通行止め情報がないかインターネットで確認

○隣町への避難の開始を判断

○携帯メール等で避難準備・高齢者等避難開始の受信

1日前

○避難準備・高齢者等避難開始を発令

○避難所の開設

○避難中に情報を収集できるように、携帯電話等の充電をしておきましょう。

○避難を開始する前に、交通情報や渋滞情報、地域の浸水情報などを収集しましょう。

○避難する場所が遠い場合は、早めに避難行動を開始することも考えましょう。

移動中も市からの情報を

半日前

○避難準備・高齢者等避難開始を発令

○避難所の開設

○避難中に情報を収集できるように、携帯電話等の充電をしておきましょう。

○避難を開始する前に、交通情報や渋滞情報、地域の浸水情報などを収集しましょう。

○避難する場所が遠い場合は、早めに避難行動を開始することも考えましょう。

移動中も市からの情報を

マイ・タイムライン ノート

名前

住所

氏名

年齢

性別

家族構成

家族一人ひとりが自分自身の行動を記入

これで、逃げる
タイミングが
わかったわ！

目次

各段階のテーマ	項目	ページ
STEP 1 自分たちの住んでいる地区の洪水リスクを知る	1. 地区の特性	2~3
	2. 過去の洪水から学ぶ	4~5
	3. 地形の特徴から学ぶ	6~9
	4. 過去の川の増水と被害	10~11
STEP 2 洪水時に得られる情報を知り、タイムラインの考え方を知る	5. 「浸水想定区域図」で鬼怒川が氾濫したら	12~21
	6. 洪水時に得られる情報と読み解き方	22~25
	7. タイムラインの考え方	26~29
	8. 洪水時の自らの行動を想定	30~37
STEP 3 マイ・タイムラインの作成	9. マイ・タイムラインの作成	38~40

情報の読み取り方:災害・避難カード モデル事業(内閣府・モデル自治体(岐阜県安八町))

内閣府では、地域の避難場所を住民自身があらかじめ認識しておくための仕組みとして「災害・避難カード」を推奨しており、平成27年度から全国でモデル地区を選定し、カード作成の支援等を行っている。

平時・災害時の災害・避難カードの確認により、適切な行動をとることが期待できる。

市町で
実施可能

猪名川流域
での取組の発展

テレビ・現場
による情報提供

率先活動者
向けの情報

無関心層
向けの情報

はじめに 「災害・避難カード」とは？

■ 自然災害による被害の軽減のためには、
住民自身による適時適切な避難がきわめて重要！

■ 避難すべき場所などをあらかじめ認識しておくための
仕組みとして「災害・避難カード」を作成する！

過去の
災害情報

避難場所
までの経路

避難経路
上の
危険箇所

必要な
防災対策
(要配慮者
対応など)

これらの情報を、水害・土砂災害等 災害種別毎に整理

● 災害・避難カード(●●地区XX)

災害種別ごとに避難行動の
内容と避難の合図について
整理した「タイミング表」

災害	避難先・場所	避難の合図
土砂災害	A小学校 (ここまで逃げられない 場合は避難場所)	土砂災害警戒情報
X川のはん濫	C市民会館	はん濫危険情報

※災害に巻き込まれないために、日頃からどのような情報に注意すればいいのかわかるように！

出典：「土砂災害から身を守る！」パンフレット（内閣府（防災担当））

作成した「災害・避難カード」は、

- * 自宅の冷蔵庫など普段、目にとまる場所
- * 財布の中に入れて持ち歩く

1. 「災害・避難カード」の作成手順

ステップ1 まずは取組の進め方を
確認しましょう
⇒P.3

・進め方やアウトプットについて、意見交換
・自治体、自治会・町内会の防災対策の現状と課題を共有

ステップ2 身のまわりにどんな災害リスクが
あるか考えましょう
⇒P.5

・防災関係機関からの情報提供
・過去の災害での避難行動、現状の防災対策等について意見交換

ステップ3 実際にまち歩きをして
確認してみましょう
⇒P.6

・災害の危険箇所、頼りになる場所、避難経路を地図上で確認
・上記等をまち歩きで確認、気づいたことを地図上に記入

ステップ4 「災害・避難カード」を
つくってみましょう
⇒P.7

・まち歩きで確認した内容、災害時に提供される情報をもとに、各自がどのタイミングで、どこに避難するのか検討

ステップ5 「災害・避難カード」を
使ってみましょう
⇒P.9

・「災害・避難カード」を活用した避難訓練を実施
・家族や地区の方々に「災害・避難カード」を普及させる

※これは、進め方のモデルであり、地区の実情や取り組むべき課題を踏まえながら検討します

西結中組区（岐阜県安八町）

地区の概要

○人 □：438人
(男性：210人 女性：228人)
○世帯数：140世帯
○高齢化率：23.3%
○取組背景：
・昭和51年9月洪水による浸水被害を経験
・町内は全区域が浸水想定区域になっており、河川氾濫による洪水による被害を受けやすい
・洪水に対する住民の危機意識が低いことから、防災に対する意識付けが必要。また、避難行動の基盤づくりが必要となっておりモデル事業に取り組む

取組概要

◆「自然災害から命を守る！ワークショップ」を全3回開催し、地区の避難行動ルールを作成
◆平成28年4月に地区の避難行動ルールに基づき避難訓練を実施予定

第1回 ワークショップ
・過去の水害、平成27年9月関東・東北豪雨の概要、ハザードマップ等に基づき水害の危険性を共有化
・国土交通省、岐阜県、安八町の風水害対策の現状について共有化

第2回 ワークショップ
・地区の災害危険性、避難場所や避難経路についてまち歩きを通して確認
・避難行動のあり方や仕組みについて意見交換

第3回 避難訓練
・まち歩きや意見交換の結果を踏まえた避難行動のルールづくり
・避難対策の面、今後、取り組む施策を検討

まち歩きの様子
意見交換の様子
まち歩きを踏まえ地図に感じたことを記載

避難行動ルール(案)に基づきグループワークを実施

避難行動ルール → は4月以降に全戸配布予定

取組のポイントなど

◆ 初回に国土交通省、岐阜県、安八町にレクチャーしてもらい水害の危険性を勉強
◆ 全3回を通して、地区の避難行動のルールをとりまとめるとともに、今後、西結中組区として取り組むべきことを検討

西結中組区長から一言
➢ 純小学校の校歌にも「水と戦い、水を治め」という歌詞があるように、水害はこの地域の宿命である。
➢ 区民の共通認識を固め、引き続き、水害に対する取組を進めていく。

マイ防災マップ作成:NHKぼうさいマップを作ろう(NHK)

グループでホームページに登録し、マイ防災マップを作成している。(登録料、利用料無料)
作成したマイ防災マップはインターネットで閲覧できる。
率先活動者がマイ防災マップを作成する際に、他地区の活動状況を参考にすることができる。


市町で
実施可能

猪名川流域
での取組の発展

テレビ・現場
による情報提供

率先活動者
向けの情報

無関心層
向けの情報



NHK ぼうさいマップを作ろう

登録～ホームページ公開までのながれ

STEP 1

登録
～ホームページ公開

登録手続きが済んだら、プロフィールと活動ブログを作成。所定の内容が揃ったら、ホームページに公開します。

>> 詳しいガイドはコチラ

STEP 2

まち歩きに出発！

歩くエリアやコース、集めたい情報の種類、チーム内での役割分担などを決めたら、いよいよまち歩きに出発です！

STEP 3


情報の整理
～マップ作成

集めた情報や写真を整理し、webマップに入力します。活動ブログも作成しておく、行動の記録になります。

STEP 4

ホームページの更新

マップや活動ブログなど、新しい情報を入力して、内容を更新。皆さんの取り組みをどんどん発信してください！



「姫路市立城北小学校防災マップチーム」が作成したぼうさいマップ。

チームを選択する

富士才町の橋 (大雨)

川のほとりを歩くために「さき」と「かべ」があつてこづいを助ける。さらに、しょうかまをイメージしてつくつてある。でも大雨のとき川の水が多いから注意しよう。

(姫路市立城北小学校防災マップチーム)

印刷用ページを表示
別ウィンドウが開きます

出典：NHKHP「<http://www2.nhk.or.jp/bousaimap/>」

64

マイ防災マップ作成:地域版防災マップ(兵庫県 三田市)

地域版の防災マップ作りを推進しており、HPでは、作成事例や既に作成した地域による作成の流れなどを紹介しており、率先活動者が地域版防災マップの作成の参考とすることができ
る。

市町で
実施可能

猪名川流域
での取組の発展

テレビ・現場
による情報提供

率先活動者
向けの情報

無関心層
向けの情報

ホームページ(地域の防災マップを作ってみませんか?)

防災マップの作成の手順

STEP1 自分たちのまちを歩く(まち歩き)

災害が起こった時に危険になるであろう場所、安全な場所を確認しましょう。



【point】できるだけ多くの人が参加することで、多くの情報がもたらされるため、より良い防災マップに仕上がります。

地域が広い場合は数回に分けて歩き回っていきましょう。

→まち歩きスケジュール(PDF:47KB)

→まち歩きチェックポイント(地図版、両面紙、A4用紙) (PDF:11KB)

STEP2の結果を踏まえて災害が起こった時に危険になるであろう場所、安全な場所を各自に書き込んでいきます。



【point】まち歩きの記憶が新しいうちに書き込みをしましょう。(河川が変更的)

→第1回ワークショップスケジュール(PDF:19KB)

→書き込み用紙(PDF:130KB)

STEP3 地域にふさわしい安全対策を考える

STEP2の結果で明らかになった地域の課題に対して、避難場所・避難経路・安全対策を考え、必要情報を掲載しましょう。

【point】地震のとき、風水害のときなど状況に応じて地域で必要な対策を話し合ってみましょう。

STEP4 防災マップをデータ化する

手書き地図を見やすくするために、ずーりしましょう。

【point】地域住民の方々に印刷し、配布することや、持ち帰ることを希望して、イラストレーターなどでデータ化して配布と便利です。

(印刷業者に依頼することもできます。)

→地域版防災マップの事例紹介ページへリンク

STEP5 防災マップを更新する

最新情報を提供するためにも定期的に防災マップの内容を更新しましょう。

【point】出来上がった防災マップを用いて防災訓練を行うことにより、内容の改善や地域の危険場所が増えたなど、状況の変化に合わせて内容を更新しましょう。

事例(三輪区1班)

出典：三田市HP「<http://www.city.sanda.lg.jp/anzen/bousai/tiikimap/index.html>」

65

住民勉強会：住民勉強会や図上訓練(DIG)を支援(猪名川河川事務所)

住民説明会や図上訓練(DIG)については、平成21年～24年で年1回、約200人が参加して、水害にどのように備えるかについて学んで頂いた。これまで実施した結果は、マニュアル案という形で他の市町にも展開できるように整理している。DIGの実施の他に基調講演やクロスロードゲーム実施等により防災リーダー(率先活動者)となり得る人材育成が期待できる。

市町で
実施可能

猪名川流域
での取組の発展

テレビ・現場
による情報提供

率先活動者
向けの情報

無関心層
向けの情報

実施状況

年度	日時	対象	内容	参加人数
平成 20 年度	平成 21 年 1 月 31 日	流域の自主防災リーダー等 (自治体防災担当者、自主防 災組織の方、ボランティアの 方)	防災ワークショップ (基調講演、DIG)	講演会参加者:21人 DIG参加者:19人
平成 21 年度	平成 22 年 3 月 14 日	豊中市庄内南校区自主防災 会	図上訓練(DIG)	地域住民:62人
平成 22 年度	平成 23 年 3 月 12 日	池田市民	防災講習会(クロス ロードゲーム)	地域住民:29人
平成 23 年度	平成 23 年 11 月 6 日	伊丹市神津小学校区自主防 災組織	図上訓練(DIG)	地域住民:110人 (主催者・支援者:30 人)
平成 24 年度	平成 24 年 10 月 14 日	池田市地域防災リーダー育成 講座	クロスロードゲーム	地域住民:32人



平成24年度池田市
クロスロードゲームの実施状況

その他:黄色いハンカチ作戦(大阪府 箕面市)

大地震の後、家にいる家族が全員無事だったら(救助などの必要がない状況だったら)、黄色いハンカチ(大きく目立つ黄色い布)を玄関先に掲げて、ご近所さんに「うちの家族は大丈夫!」と知らせる目印とする。
災害時に、地域の防災リーダーが避難状況を把握できる。

市町で
実施可能

猪名川流域
での取組の発展

テレビ・現場
による情報提供

率先活動者
向けの情報

無関心層
向けの情報

「うちの家族は大丈夫!」黄色いハンカチ作戦

大地震の後、家にいる家族が全員無事だったら(救助などの必要がない状況だったら)、黄色いハンカチ(大きく目立つ黄色い布)を玄関先に掲げてください。
ご近所さんに「うちの家族は大丈夫!」と知らせる目印です。

「黄色いハンカチ」を準備しよう

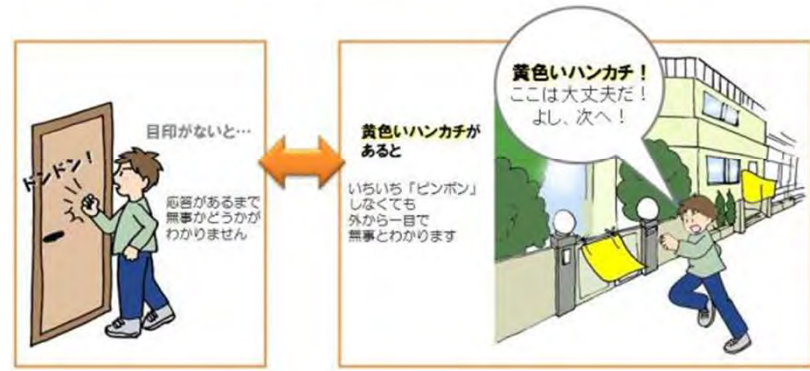
大きく目立つ黄色い布ならなんでもOK!

「黄色いハンカチ」は、ハンカチでなくてもかまいません。タオルやTシャツなど、家にあるものでOK!
大きく目立つ黄色い布を用意してください。



黄色いハンカチが安否確認をスピードアップ!

黄色いハンカチの役割は、自治会などでおこなう安否確認をスピードアップすることです。



黄色いハンカチがあると、いちいちインターホンを押したり、ドアを叩いたりしなくても、外から一目で無事とわかり、すぐに次のところに安否確認に走れます。
もしも目印が何もなかったら、中から応答があるまで無事かどうか分かりません。また、応答がない場合、一時的に留守にしているだけなのか、救助が必要な状態で倒れているのか判断できません。

自主防災組織において実施する防災訓練に対して補助金として交付している。
率先活動者を中心とした自主防災組織の防災活動の活発化が期待できる。

市町で
実施可能

猪名川流域
での取組の発展

テレビ・現場
による情報提供

率先活動者
向けの情報

無関心層
向けの情報

兵庫県加古郡

稲美町

Inami Town Official Website

文字サイズ

標準

拡大

サイト内検索

HOME

暮らし

まちの情報

行政情報

事業者の方へ

各課のページ

HOME

暮らし

「目的」で探す

安全・安心対策

防災

自主防災組織補助事業について

[2016年5月20日]

自主防災

自主防災組織の育成と防災体制の充実を図るため、次の補助を行なっています。

※対象は、自主防災組織として町に届け出た組織とします。

防災訓練助成事業

自主防災組織が実施する防災訓練に対して上限2万円を補助金として交付します。

※自主防災訓練運営に要する経費の補助を目的としています。

(補助対象経費例)

- ・訓練に使用する物品購入費
- ・パンフレット等印刷費
- ・スタッフ、参加者用お茶及びお弁当代

補助金手続きの流れ

1.補助金の申請

自主防災訓練を計画し補助金の交付を受けようとするときは、次の書類を事業開始1カ月前までに提出してください。

(1) 補助金等交付申請書

(2) 自主防災訓練計画書

(3) 補助を受けようとする当該年度の自主防災組織役員名簿

(4) 補助金振込先口座届出書

→ 審査等の結果、補助金を交付すべきものと認めたときは、補助金等交付決定通知書により通知します。

様式

補助金等交付申請書 (ファイル名: inami-jishubosaihojokinyoshiki01.pdf サイズ: 145.26KB)

自主防災訓練実施計画書 (ファイル名: inami-jishubosaihojokinyoshiki01-1.pdf サイズ: 100.51KB)

補助金振込先口座届出書 (ファイル名: inami-hojokinfurikomisakikozatodokedesho.pdf サイズ: 178.36KB)

出典：兵庫県稲美市HP「http://www.town.hyogo-inami.lg.jp/contents_detail.php?co=cat&frmId=387&frmCd=1-2-8-2-0」

その他：ひょうご防災リーダー講習会の受講に関する助成（兵庫県 播磨町）

ひょうご防災リーダー講座の受講に対する助成をしている。
講座受講の経費を負担することで防災リーダー（率先活動者）となり得る人材育成が期待できる。

市町で
実施可能

猪名川流域
での取組の発展

テレビ・現場
による情報提供

率先活動者
向けの情報

無関心層
向けの情報

域防災の担い手を一人でも多く育成するため、講座受講に必要な経費の一部を助成。

兵庫県 播磨町
Harima Town

Google カスタム検索

検索

検索方法について

ホーム > 防災・安全 > 防災 > 播磨町ひょうご防災リーダー育成助成金

いいね！ ツイート 更新日：2016年12月16日

播磨町ひょうご防災リーダー育成助成金

播磨町では、地域防災の担い手を一人でも多く育成するため、兵庫県が開設している「ひょうご防災リーダー講座」の受講に必要な経費の一部を助成する事業を行っています。

申請対象者

次に掲げる各号を全て満たす方が申請できます。

1. 町内に在住又は通勤もしくは通学されている方

2. 平成26年4月1日以降に、兵庫県が実施するひょうご防災リーダー講座（以下「対象講座」という。）を受講し修了証を授与されてから1年以内の方

3. 防災士資格試験に合格した方

4. 自発的に、又は町の要請に応じ、地域防災に関する啓発活動及び防災訓練の実施等地域防災力の向上に協力することに同意いただける方

補助金額

一人当たり20,000円とし、予算の範囲内で助成します。

提出資料

・ 播磨町ひょうご防災リーダー育成助成金交付申請書

・ 播磨町ひょうご防災リーダー育成助成金交付請求書

・ 「ひょうご防災リーダー講座」を修了したことを証する書面の写し

・ 防災士資格試験に合格したことを証する書面の写し

・ 町内に通勤又は通学していることを証する書面の写し（町外在住者のみ）

申請様式

・ PDF 播磨町ひょうご防災リーダー育成助成金交付申請書（PDF：45KB）

・ Word 播磨町ひょうご防災リーダー育成助成金交付申請書（ワード：18KB）

・ PDF 播磨町ひょうご防災リーダー育成助成金交付請求書（PDF：79KB）

・ Word 播磨町ひょうご防災リーダー育成助成金交付請求書（ワード：71KB）

要綱

・ PDF 播磨町ひょうご防災リーダー育成助成金交付要綱（PDF：62KB）

イベントカレンダー

施設案内

関連機関リンク

未来につなげる
みんなのまちづくり

出典：兵庫県播磨町HP <https://www.town.harima.lg.jp/kikikanri/bosai/bosai/bosaileader.html>

(2) 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

■防災教育

防災教育副読本の作成(姫路河川国道事務所・宍粟市)

平成21年8月の台風第9号による局地的豪雨により、浸水被害が発生したことを契機に、特に被害が甚大であった宍粟市域において防災教育・啓発の試みとして平成25年度に作成した。内容は、**宍粟市教育委員会が監修した**。低学年用と高学年用の2種類の教材を作成し、宍粟市小学校児童全員に配布。**小学校の防災教育として総合学習に活用できる。**

市町で
実施可能

猪名川流域
での取組の発展

テレビ・現場
による情報提供

率先活動者
向けの情報

無関心層
向けの情報



もくじ

- わたしたちの町を流れる「損保川」「千種川」ってどんな川？ 3
- 河原をのぞいてみよう 4

1 川の歴史

- ずっと昔から続く、川と人との結びつき 5
- なぜだろう？ 川と古墳との関係 6

2 川と災害

- 大きな山津波！ 宍粟市一宮町につたわる「我山伝説」 7
- わたしたちの町で起きた「災害」 9
- 雨の強さと降り方 10
- 「治水事業」と川づくり 11
- 川にたずさわる仕事 12
- 今の人と川との結びつき 13
- もっと知りたい！ 「川」の生き物 14

3 川の防災・減災

- よりもっといい明日へ 15
- これからの人と川・防災 15
- 早めの避難を！ 16
- これから起きる「もしも...」のために、自分の家は自分で守ろう 17

出典：

71

川内川水防災河川学習プログラム(川内川河川事務所)

1年生～6年生の各学年において、理科、社会科、家庭科、生活科等の各教科に 水防災視点を盛り込み、関連付け、発達段階に応じて水防災知識や災害における判断力を身に付けていくことができる体系的な学習プログラム・教材を開発している。小学校からの体系的な防災教育により将来の防災リーダー(率先活動者)となり得る人材育成が期待できる。

市町で
実施可能

猪名川流域
での取組の発展

テレビ・現場
による情報提供

率先活動者
向けの情報

無関心層
向けの情報

凡例1

生活科

社会科

理科

家庭科

特別活動等

凡例2

学習プログラム

学習プログラム

ワンポイント教材・ワークシート

凡例3

生活に関わる単元

災害のメカニズムに関わる単元

災害伝承に関わる単元

関連

関連付ける単元

	1 学期					2 学期				3 学期		
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
第 1 学年			なつともだち (生活科) 時期: 6～7月 ワンポイント ○水遊びの注意点									
第 2 学年		まちはたからばこ (生活科) 時期: 4～5月 ワンポイント ○まるとまちごとハザードマップ										さつま町において過去に被災した場所
第 3 学年			わたしのまちみんなのまち (社会科) 時期: 4～7月 ワンポイント ○ハザードマップ									避難場所
第 4 学年		くらしを守る (社会科) 時期: 4～6月中 ワンポイント ○ハザードマップ		水はどこから (社会科) 時期: 6月中～7月下 ワンポイント ○川内川流域について								流域の空間概念を理解
第 5 学年			かたづけよう身の回り (家庭科) 時期: 6月中～7月下 ワンポイント ○台風の前の備え			台風と天気の変化 (理科) 時期: 9月下～10月上 学習プログラム ※平成24年度に実施中の 2クラスで試行授業	流れる水のはたらき (理科) 時期: 10月中～11月上 学習プログラム ※平成24年度に実施中の 2クラスで試行授業	情報化した社会と わたしたちの生活 (社会科) 時期: 12月中～2月上 ワンポイント ○防災情報		自然災害を防ぐ (社会科) 時期: 3月中 学習プログラム ※平成24年度に実施中の 2クラスで試行授業		地域の災害危険箇所
第 6 学年			暑い季節を快適に (家庭科) 時期: 6月中～7月下 ワンポイント ○避難所生活での工夫			大地のつくりと変化 (理科) 時期: 9月下～10月下 ワンポイント ○川内川流域について		考えよう これからの生活 (家庭科) 時期: 11月中～12月上 ワンポイント ○災害への備え				ワンポイント ○防災学習のふりかえり (特別活動等・総合学習) 関連

川内川

水防災河川学習プログラム

学習教材 (単式・複式学級)

概要版

国土交通省 九州地方整備局 川内川河川事務所
さつま町教育委員会

本教材の構成

川内川水防災河川学習プログラム教材

付属DVD: 川内川水防災河川学習プログラム教材データ集

<収録内容>

学習プログラム (理科)
学習教材 (理科)
学習プログラム (社会科)
学習教材 (社会科)
学習プログラム (家庭科)
学習教材 (家庭科)
学習プログラム (生活科)
学習教材 (生活科)
学習プログラム (特別活動等・総合学習)
学習教材 (特別活動等・総合学習)

川内川水防災河川学習プログラム 学習教材 目次

川内川水防災河川学習プログラムの方針 1

本教材の構成 5

本教材の使い方 6

小学校 5 年生理科「台風と天気の変化」学習プログラム 14

小学校 5 年生理科「流れる水のはたらき」学習プログラム 17

小学校 5 年生社会科「自然災害を防ぐ」学習プログラム 27

体系的な教材集 37

複式学級に活用した教材集 38

その他の教材 40

さつま町にある小学校での取り組み事例の紹介 43

検討委員会名簿 44

学習プログラム・教材の体系化

学習プログラム概要版 (抜粋)

出典: 川内川河川事務所HP (川内川水防災河川学習プログラム) 「<http://www.qsr.mlit.go.jp/sendai/program/2index.html>」

(2) 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

■防災広報の取組

既存広報誌の効果的な活用(兵庫県 尼崎市)

各機関が発行している広報誌を活用して広報活動をしている。

広報誌による防災情報の伝達により、防災に対して無関心な人にも情報を伝えることができる。

市町で
実施可能

猪名川流域
での取組の発展

テレビ・現場
による情報提供

率先活動者
向けの情報

無関心層
向けの情報



3 市報 あまがさき 平成26年6月号

市報あまがさき（平成26年6月号）

出典：猪名川流域総合治水協議会

市報あまがさき（尼崎市）HP「<http://www.city.amagasaki.hyogo.jp/25518/25519/index.html>」

既存広報誌の効果的な活用(新潟県 三条市)

毎年6月に行われる「水害対応総合防災訓練」前には、広報に大きく取り扱う。
広報誌による防災情報の伝達により、防災に対して無関心な人にも情報を伝えることができる。

市町で
実施可能

猪名川流域
での取組の発展

テレビ・現場
による情報提供

率先活動者
向けの情報

無関心層
向けの情報



11月号 2012 6/1

水害に備える！
自分を守るために必要なこと



水害に備える！
自分を守るために必要なこと



水害に備える！
自分を守るために必要なこと



水害に備える！
自分を守るために必要なこと



水害に備える！
自分を守るために必要なこと




水害に備える！
自分を守るために必要なこと




水害に備える！
自分を守るために必要なこと


広報さんじょう（平成24年6月1日号）




水害から身を守る




水害から身を守る




水害から身を守る




水害から身を守る



水害から身を守る



水害から身を守る



水害から身を守る

広報さんじょう（平成25年6月1日号）

広報さんじょう（平成27年6月16日号）
出典：広報さんじょう（三条市）「<http://www.city.sanjo.niigata.jp/category00000168.html>」

その他:地下鉄でのタイムライン広報(荒川下流河川事務所)

タイムラインや首都圏の水害リスクを多くの方に知ってもらうため、東京メトロの車両を丸ごと借り切って広報活動を行うとともに、駅構内や公共施設へ啓発ポスターを掲示した。
人が集まる場所や通勤電車への防災情報の掲示により、防災に対して無関心な人にも情報を伝えることができる。

市町で
実施可能

猪名川流域
での取組の発展

テレビ・現場
による情報提供

率先活動者
向けの情報

無関心層
向けの情報

荒川の浸水想定区域内に在住、通勤・通学している方を中心に、荒川の破堤等の水害リスクや関係機関が協力して進めているタイムライン等の取り組みについて知っていただくとともに、水害に対する備え（情報収集手段の確認、避難行動の準備など）を知り、具体的な行動に移せるよう、防災意識の高揚を図る。

【ポスター】

【車内広告】



出典：荒川下流河川事務所HP「<http://www.ktr.mlit.go.jp/arage/arage00385.html>」

その他：防災ギャラリー（三重県 鈴鹿市）

鈴鹿市役所内の防災ギャラリーにて、防災関連資料を公開している。
人が集まる公共施設への防災情報の掲示により、防災に対して無関心な人にも情報を伝えることができる。

市町で 実施可能	猪名川流域 での取組の発展	テレビ・現場 による情報提供
率先活動者 向けの情報		無関心層 向けの情報



その他：水防学習館（新潟県 三条市）

水害の記録を学び、怖さを体験する施設を設立している。

防災に関する知識が少ない人でも過去の災害履歴等により、地域の水害リスクを認知し、被災をイメージすることができる。

市町で
実施可能

猪名川流域
での取組の発展

テレビ・現場
による情報提供

率先活動者
向けの情報

無関心層
向けの情報

過去の水害の記録、消防救助作戦地図などにより水害を学んだり、ドア水圧体験装置により水害の怖さを体験出来る。

[illegible]

出典：新潟県三条市HP「<http://www.city.sanjo.niigata.jp/eigyo/page00166.html>」

その他：ハザードマップの展示(三井住友信託銀行塚口支店)

銀行の店舗内にてハザードマップを掲示している。
人が集まる場所へのハザードマップの掲示により、防災に対して無関心な人にも情報を伝えることができる。

市町で
実施可能

猪名川流域
での取組の発展

テレビ・現場
による情報提供

率先活動者
向けの情報

無関心層
向けの情報



**三井住友信託銀行**
SUMITOMO MITSUI TRUST BANK

WithYou支店ブログ

塚口支店

当店は阪急塚口駅北口徒歩約1分に位置。お隣のスーパーでのお買い物
ついでにお立ち寄り下さるお客さまも多くいらっしゃいます。



トップ > 塚口支店 > 尼崎市の洪水ハザードマップを掲示しています！

塚口支店

2015/09/30

いいね！ 0

ツイート

尼崎市の洪水ハザードマップを掲示しています！

こんにちは。塚口支店の宮城です。

当店では9/28(月)から、ロビーに尼崎市の「洪水ハザードマップ」を掲示しています。

これは、最近、台風による局地的な大雨や河川の氾濫、土砂災害等による被害のニュースを目にする事が多くなり、皆さまにも防
災の意識を高めていただこうと企画したものです。



洪水ハザードマップには、猪名川・瀬川・武庫川の氾濫時を想定し、浸水が予想される区域・深さ、避難場所を示しています。

「尼崎市防災ネット」の登録に関するチラシも設置しておりますので、ご来店の際はお手にとってご覧ください。

万が一に備えて、ご自宅やご家族の勤務先近隣の避難所の確認に役立てていただければ幸いです。

今後も、皆さまのお役に立てるよう努めます。

支店プロフィール

〒661-0002
兵庫県尼崎市塚口町1丁目15番地1
TEL：06-6423-1101(代表)



支店ブログ新着記事

2017/02/20

横浜支店

遠征・相談個別相談会を開催しました！

2017/02/20

横浜新横浜支店

遠征・相談個別相談会を開催しました！

2017/02/20

横浜支店

「2017年 春の資産運用セミナー」を開催
しました！

2017/02/17

京阪枚方支店

支店の入口が華やかになりました！

2017/02/17

枚方支店

支店の入口が華やかになりました！

2017/02/17

2017/02/17

出典：三井住友信託銀行支店ブログ「<https://branchblog.smtb.jp/kinki/except-osaka/tsukaguchi/>」

その他:ハザードマップの展示(愛知県 豊橋市)

豊橋市の複合施設(市民館、図書館、行政窓口センター)の地域情報ひろばにてハザードマップが掲示されており、図書館では隣接する市のハザードマップが閲覧可能となっている。
人が集まる場所へのハザードマップの掲示により、防災に対して無関心な人にも情報を伝えることができる。

市町で
実施可能

猪名川流域
での取組の発展

テレビ・現場
による情報提供

率先活動者
向けの情報

無関心層
向けの情報



出典：豊橋市図書館ブログ「<http://ameblo.jp/toyohashi-city-library/entry-12051471421.html>」

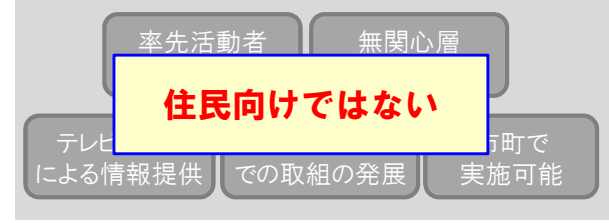
(2-4)取組方針の具体化事例集(タイムライン)

(1) 情報伝達、避難計画等に関する事項

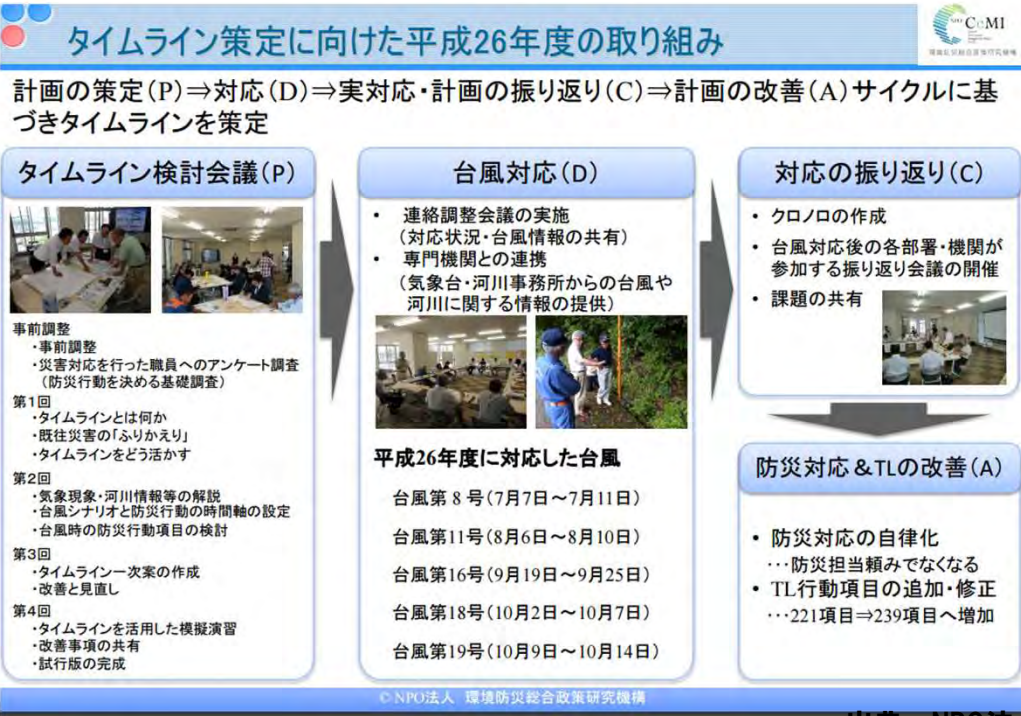
- 役割分担を明確にしたタイムラインの策定・活用等
- 広域避難への対応について
- 各市連携した情報共有を図っていく

タイムライン策定(三重県 紀宝町)

紀宝町では、全国に先駆け2014年2月に「紀宝町台風等水害に備えた事前防災行動計画(タイムライン)策定検討部会」を立ち上げ、米国の概念を取り入れた紀宝町版タイムラインの策定に取り組んだ。



タイムライン策定に向けた紀宝町における取組み ver.2



全国初のタイムライン連携協定締結！
～平成27年2月21日締結式～

平成27年2月21日に「紀宝町における台風等風水害に備えた事前防災行動計画(タイムライン)の連携に関する協定」を紀宝町、近畿地方整備局紀南河川国道事務所、中部地方整備局紀勢国道事務所、津地方気象台で締結しました。



2011年9月台風12号での教訓を踏まえ、紀宝町では、全国に先駆け2014年2月に「紀宝町台風等水害に備えた事前防災行動計画(タイムライン)策定検討部会」を立ち上げ、米国のタイムラインの概念を取り入れた紀宝町版タイムラインの策定に取り組まれてきました。

この計画策定にあたっては、台風等の事前防災行動を実施するうえで、重要となる気象、河川、道路情報を発信する津地方気象台や紀南河川国道事務所、紀勢国道事務所の他、16組織が参加し、議論を重ねてきました。今回、計画策定を契機として、紀宝町と上記3機関で連携協定を締結しました。

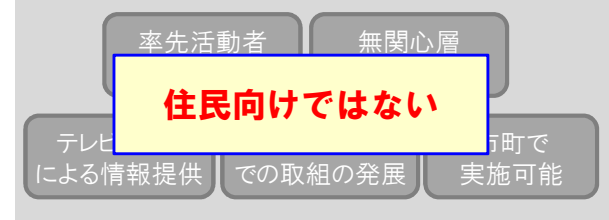
タイムラインとは、2012年10月に発生した大型ハリケーン「サンディ」がアメリカニュージャージー州を襲った際、事前に作成していた「タイムライン」に沿って行われた迅速な防災行動が注目されたものです。

ハリケーンの上陸予想時刻を0時間とし、そこからさかのぼって36時間前に州知事が避難勧告を発表し、12時間前には逃げ遅れた人に緊急の避難を呼びかけるというように、「いつ」「誰が」「何を」するかをあらかじめ決めておくものです。

【問い合わせ先】
国土交通省 近畿地方整備局
紀南河川国道事務所 調査第一課
〒646-0003 和歌山県田辺市中万呂142
TEL 0739-22-4813

タイムライン策定(本明川流域減災対策協議会)

本格的なタイムライン策定の取り組みは長崎県内では初めてとなる、「本明川タイムライン検討会」を設置した。本明川のように急激な水位上昇が起こる急流河川でのタイムライン策定は、全国初の試みである。



全国のタイムラインに携わっている松尾一郎（座長）氏などから、取組の重要性やその効果等を学び、その後、災害リスクや防災行動について考えるワーキングを行い、各機関の現状と課題について知る機会となった。

【発足式】

- ・宮本諫早市長挨拶
- ・本明川タイムライン検討会の今後の進め方
- ・松尾座長の講演
『タイムラインを学ぶ』
- ・村中アドバイザーの講演
『豪雨災害を防ぐ～タイムラインの取組～』

【第1回検討会】

- ・設置要綱について
- ・松尾座長挨拶
- ・水災害について学ぶ
『本明川の水害とその特徴』
『グループワーク』～タイムラインを知る。
それぞれのリスクと防災行動を考える。～

聴講には、県内市町村の防災担当者が多数参加

宮本諫早市長の挨拶による開会

座長である松尾一郎氏の講演

災害リスクや防災行動について考えるワーキングの状況①

災害リスクや防災行動について考えるワーキングの状況②

タイムライン発足式・第1回検討会の状況

タイムライン策定(荒川下流河川事務所)

荒川下流域では、東京都北区、板橋区、足立区をモデルエリアとして、平成26年8月から全国に先駆けて検討を行い、平成27年5月に全国初の本格的なタイムライン(試行案)をとりまとめた。その後も、運用及び机上演習の結果等を踏まえ、検討会やワーキンググループによる検討を行い、平成28年3月に荒川下流タイムライン(試行版)をとりまとめた。現在、このタイムライン(試行版)を台風の際に運用している。

率先活動者

無関心層

住民向けではない

テレビによる情報提供

での取組の発展

町で実施可能

荒川下流タイムライン検討の経緯

- 平成26年8月から北区・板橋区・足立区をモデルエリアとして、3区に加え、警察・消防、鉄道事業者や電気通信事業者など多様な主体が参画し、タイムラインの検討を開始
- 平成28年3月に「荒川下流タイムライン(試行版)」を作成し、運用を開始
- 平成28年9月より浸水想定区域内全ての市区を対象としてタイムラインの検討を開始

【荒川下流タイムライン(試行版)の対象エリア】
沿川の北区・板橋区・足立区



荒川下流タイムライン(試行版)のイメージ

	気象情報等	荒川下流河川事務所	北区・板橋区・足立区	東京都・東京消防庁・警視庁	交通事業者 ライオン事業者	住民避難WG 【足立区・千住】	要支援者施設WG 【板橋区・高島平】	交通の運行状況WG 【北区・赤羽周辺】
5日前	○台風情報 ○今後の見通し	○TL運用体制の構築 ○河川管理施設の点検 ○外部への広報 (HP等)	○TL運用体制の構築	○TL運用体制の構築	○TL運用体制の構築			
3日前		○資機材の確認・準備 ○河川区域内の状況確認 ○外部への広報 (HP等)	○資機材の確認・準備 ○都立特別支援学校の休校の検討	○資機材の確認・準備	○資機材の確認・準備		○福祉施設等からの避難の事前調整(受け入れ可能施設との事前調整等)	
2日前	○大雨注意報	○雨量・水位観測情報のHP掲載 ○外部への広報 (HP等)	○雨量・水位観測情報の確認 ○休校・休園の措置の決定	○雨量・水位観測情報の確認	○雨量・水位観測情報の確認 ○公共交通機関の運行管理体制の準備・確認		○福祉施設等からの避難の支援準備(移動手段の確保・手配等)	
1日前	○大雨警報	○外部への広報 (HP等)			○鉄道事業者間の運行調整の実施 ○運行状況の利用者への周知		○福祉施設等の避難支援の実施	
半日前	○はん濫注意情報(治水橋) ○はん濫注意情報(岩瀬水門(上))	○岩瀬水門開閉する前の河川監視 ○外部への広報 (HP等)	○家屋倒壊危険ゾーンへの注意喚起 ○避難所の開設 ○避難準備(情報)の発表 ○道路・交通規制の発表 ○地下街等への避難方法・手段・場所の案内 ○交通規制情報の収集 ○交通規制情報の発表 ○家屋倒壊危険ゾーンへの避難指示の発表 ○報道機関への協力依頼 ○避難指示の発表 ○垂直避難の実施	○避難状況の把握 ○避難状況の把握	○アンダーパス等、道路利用者への注意喚起 ○地下鉄・地下街等の避難対策 ○交通規制情報の収集 ○交通規制情報の発表 ○避難状況の把握 ○避難状況の把握 ○施設保全		○福祉施設等の避難支援の実施	
0時間	○はん濫発生情報 ○はん濫発生情報	○排水機場の運転停止 ○外部への広報 (HP等) ○関係対策の検討	○避難状況の把握 ○今後の見通し ○外部への広報 (HP等) ○関係対策の検討	○避難状況の把握 ○今後の見通し ○外部への広報 (HP等) ○関係対策の検討	○避難状況の把握 ○今後の見通し ○外部への広報 (HP等) ○関係対策の検討		○避難状況の把握 ○今後の見通し ○外部への広報 (HP等) ○関係対策の検討	

庄内川タイムライン検討会は平成26年に設置され、台風等による風水害に備えた事前防災行動計画(タイムライン)を検討している。

率先活動者

無関心層

住民向けではない

テレビによる情報提供

での取組の発展

町で実施可能

庄内川タイムライン検討会の概要

- タイムラインにおけるリーディング・プロジェクトとして、地下施設を有する企業とともに庄内川が決壊し名古屋駅周辺地区が浸水することに備えたタイムラインの検討を実施
- 今年度、庄内川決壊対応タイムライン検討案を取りまとめ、次年度以降も引き続き改善にむけた検討会を実施予定

構成員

座長：松尾一郎氏（C e M I 環境・防災研究所副所長）
アドバイザー：関 克己氏（京都大学客員教授）
市澤成介氏（元気象庁予報課長）
山崎 登氏（NHK解説主幹）

構成員：庄内川河川事務所、名古屋地方気象台、愛知県、愛知県警察、名古屋市、名古屋駅地区街づくり協議会、名古屋駅地区防火・防災管理協議会

オブザーバー：中部運輸局、中部地方整備局

【検討対象範囲】庄内川流域の名古屋駅周辺



平成26年6月4日(水)「第1回 事前防災行動計画検討会」開催の様子

検討会の開催状況

平成26年6月4日「庄内川タイムライン検討会」を設置

平成26年7月24日「第2回 検討会」
平成26年8月26日「第3回 検討会」

H26出水期に実際の台風(台風第18号、第19号)にて、**情報・危機感共有の実施**

平成26年10月22日「第4回 検討会」
平成26年11月28日「第5回 検討会(図上訓練)」
平成27年 2月3日「第6回 検討会」

庄内川決壊対応タイムライン検討案をとりまとめ

庄内川の堤防が決壊した場合の想定最大浸水深



歩道から約2mの浸水深

（ハザード）
➢ 名古屋直撃型の台風を想定
➢ 観測値1/200の降雨
➢ 庄内川左岸が決壊

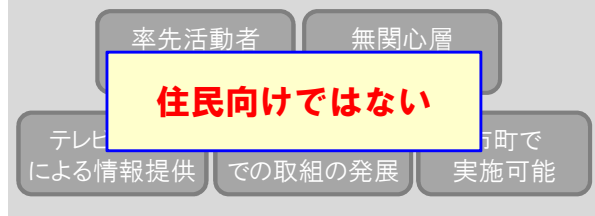
平成26年度 庄内川決壊対応タイムライン検討案
(名古屋駅地区の浸水を想定)

- ◆ 本検討案は、確率規模1/200の降雨に伴い、庄内川左岸が決壊し、名古屋駅周辺が約2m浸水する被災シナリオに基づき作成したものである。
- ◆ 本検討案は、検討途上であるため、主たる項目を記載したものであり、各機関が行う行動を網羅的に整理したものではない。
- ◆ 対応時間は、1つの想定台風シナリオに基づいて、名古屋最接近からの逆算したものであり、実際の台風速度、降雨パターンにより台風毎に変化する可能性がある。
- ◆ 本検討案は、現段階において地域防災計画などの既存の計画を補完するためのチェックリストとして活用するものであり、各機関の行動・タイミングを規定したものではない。
- ◆ 本検討案は、降雨による水位上昇、堤防決壊を想定した時系列にて防災行動を整理したものであり、暴風により行動のタイミングは変化することがある。

何時(いつ)		行動 (なにを)	機関・組織・団体 (だれが)					
気象(台風)等の推移	目安となる 対応時間	防災行動項目	◎：行動の中心になると考えられる主体、情報等の発信元と想定される主体 ○：行動を補助・支援するなど連携が考えられる主体、情報等を直接受信し伝達すると想定される主体 △：情報を間接的に受け取り、判断や行動に活用する主体					
			庄内川河川事務所	名古屋地方気象台	名古屋市	愛知県	地下施設を 有する企業	住民・利用者
平常時		日常の維持管理	◎		◎	◎		
台風が発生した時	～120h以前	台風発生情報の発表と伝達	○	◎	○	○	○	△
台風が近づいている時	～120～72h	台風の進路等の発表と伝達	○	◎	○	○	○	△
台風による 日本への影響が予想された時	～72～48h	日本への影響の可能性等の台風情報の発表と伝達	○	◎	○	○	○	△
		防災施設の点検・点検	◎		◎	○		
		防災資機材の点検・確認	◎	◎	◎			
		地下施設に係る営業方針の検討					◎	
台風による 影響が名古屋圏で予想された時	～48～24h	名古屋圏への影響の可能性等の台風情報の発表と伝達	○	◎	◎	○	○	△
		人員配置・応援体制の事前確認	◎	◎	◎	◎	◎	
		河川関連施設・危険箇所の点検・点検	◎		◎	○	◎	
		防災資機材の確認・準備	◎	◎	◎		◎	
		道路の通行規制の事前確認	◎		◎	◎		
		休校・休業に向けた事前確認			◎	○	◎	
台風が名古屋直に接近し、降雨が予想された時、 もしくは雨が降り始めた時		防災気象情報(大雨注意報)の発表と伝達	○	◎	○	○	○	△
大雨注意報が発表されるような状態になった時		大雨注意報発表に伴う防災体制の構築・確認	◎	◎	◎	◎	◎	

広域避難:江東5区大規模水害避難等対応方針(東京都江東5区(墨田区・江東区・足立区・葛飾区・江戸川区))

東京東部低地帯に位置する墨田区・江東区・足立区・葛飾区・江戸川区は、住民への情報伝達や広域避難などの課題を明らかにし、具体的方針と対策を講ずるために「江東5区大規模水害対策協議会」を平成27年10月に設置しました。協議会では、想定し得る最大規模の水害に対する避難対策を、江東5区が一体的かつ主体的に講じ、犠牲者ゼロの実現に向けて避難対応の理想像や現段階における対応方針について取りまとめた。



江東5区大規模水害避難等対応方針

- 1 想定する大規模水害**

長雨などによる荒川の洪水と東京地方への伊勢湾台風級（中心気圧930hPa）以上の台風の襲来による東京湾の高潮が同時期に発生することによって、荒川の両岸を含む対象地域の広範囲に浸水被害が生じる事態を想定する。
- 2 大規模水害による犠牲者ゼロに向けた広域避難の推進**

江東5区の全域が浸水する様な大規模水害に対して、発災前の安全な段階で浸水区域内の全ての区民が広域避難することを理想とし、大規模水害による犠牲者ゼロの達成に向けて、江東5区が連携して広域避難を基本とした避難対応を推進する。
- 3 広域避難に向けた江東5区共同による検討の実施**

大規模水害の発生3日前を目安として、江東5区のいずれかの区長が必要と判断した場合に、江東5区が共同で広域避難に向けた検討を実施する。
※「関係機関の情報などから、概ね72時間後に荒川が氾濫する恐れがある場合、または概ね72時間後に930hPa程度の勢力を持つ台風の東京地方への直撃が予想される場合」を原則とし、他の関連情報も踏まえて判断する。
- 4 広域避難に対応した江東5区独自の避難情報の発表**

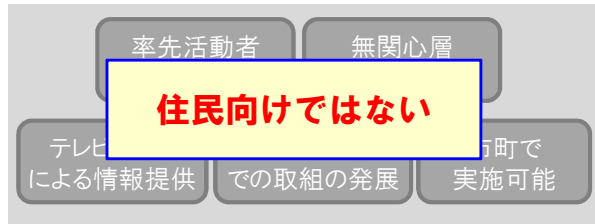
大規模水害の恐れがある場合は、共同検討における判断に基づいて、区民に対して大規模水害の可能性を伝えるとともに、全ての区民を対象に自主的な広域避難の実施を呼び掛けることで、早い段階での区民の主体的な避難行動を促す。
また、さらなる広域避難の実効性を高めるために、大規模水害が発生する概ね1日前において「広域避難勧告」を発表することを目指して、江東5区が連携して広域避難に関する対応の具体化を図る。そのために必要な支援を関係機関に対して求めていく。
- 5 垂直避難者の発生を踏まえた被害低減策の推進**

大規模水害に対して全ての区民が広域避難することが理想ではあるものの、現段階においては様々な理由から垂直避難者の発生が不可避であることから、それを最小限にとどめるよう努める。併せて平素より、浸水域での縦域避難への対応のための自己備蓄と避難時の携帯の徹底や、目力による脱出のための準備（ボートの確保等）、避難所の拡充の継続、救出に向けた関係機関との連携強化といった垂直避難者の被害の低減に向けた対策に取り組む。
- 6 大規模水害対応の理解促進に向けた区民とのコミュニケーションの実施**

江東5区における大規模水害のリスクと早期段階における広域避難の重要性に関し、広く地域住民の理解を得られるよう、一連のプロセス（（1）大規模水害に関する問題の認識、（2）広域避難の必要性の理解、（3）広域避難の実現に向けた課題の認識、（4）垂直避難を避けれない現実の認識、（5）垂直避難の困難さの理解、（6）全てを踏まえた上での広域避難の重要性の再認識）に基づき、課題と適切な対応の理解促進・普及啓発を実施する。
- 7 広域避難の実効性の強化に向けた協議会の立ち上げ**

広域避難の促進に向けては、その判断や避難先の確保、避難行動支援など、国や都等の関係機関との連携によって初めて対応が可能となる課題が数多く存在する。そこで今後、「江東5区広域避難推進協議会」を立ち上げ、広域避難の具体化に向けた検討を加速する。

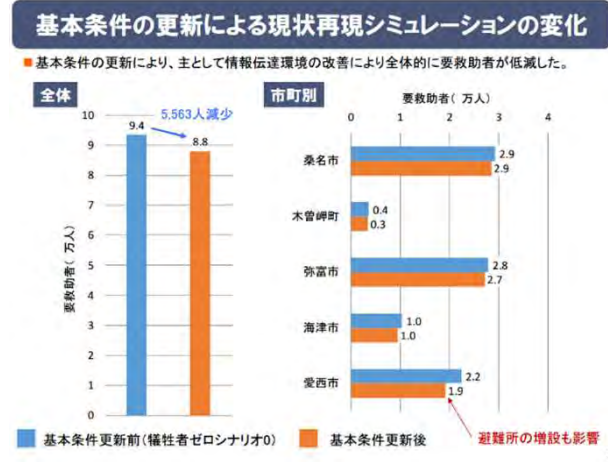
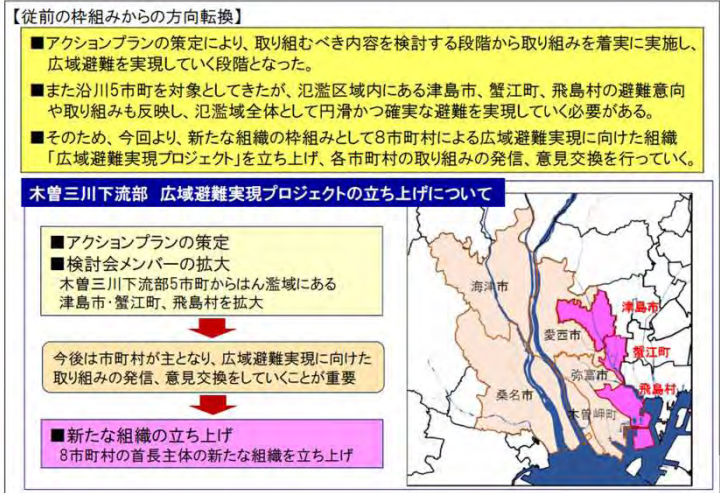
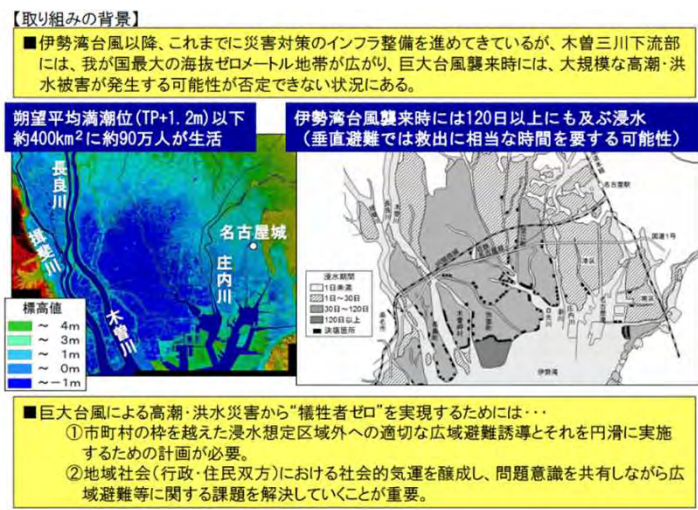
広域避難実現に向けた組織「木曽三川下流部 広域避難実現プロジェクト」を設立し、地域社会における社会的気運の醸成を図りつつ、適時・的確な広域避難誘導の実現に向けた計画策定を進めている。



木曽三川下流部高潮・洪水災害広域避難検討会
【「木曽三川下流部 高潮・洪水災害広域避難計画策定に向けたアクションプラン」の策定



木曽三川下流部広域避難実現プロジェクト
【広域避難誘導の実現に向けた計画】の策定を目標



各市町の取り組み状況に応じたシミュレーションの分析結果について